

579

365



0033435015

0033435-015

579-365

(366.2-To467)(第17輯)

社会調査資料

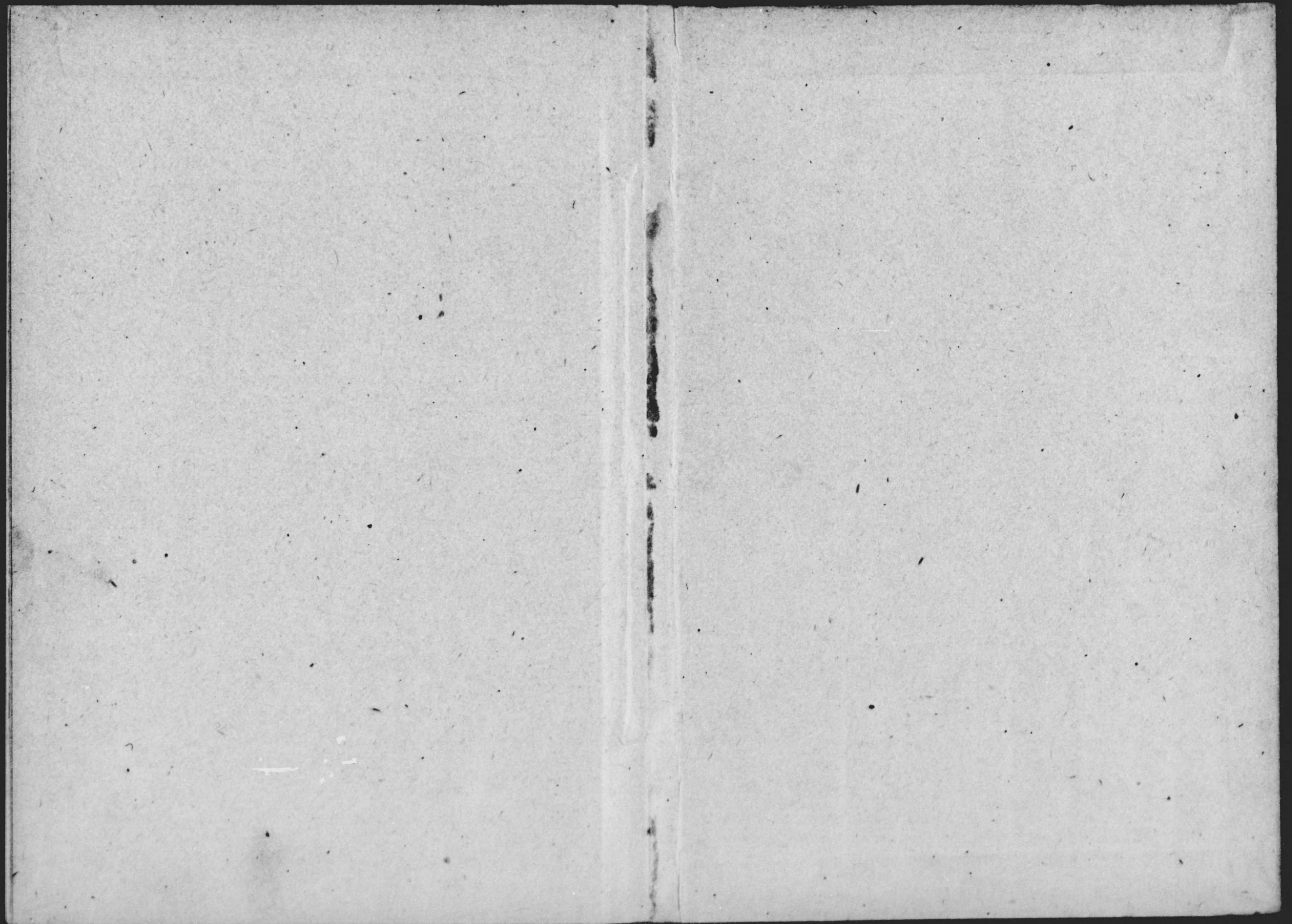
東京府学務部社会課・〔編〕

東京府学務部社会課

第4-13, 15-19, 21, 23-24
. 27輯

昭和3-11

AGA



東京府學務部社會課編



の生活現狀

219

579-365



凡 例

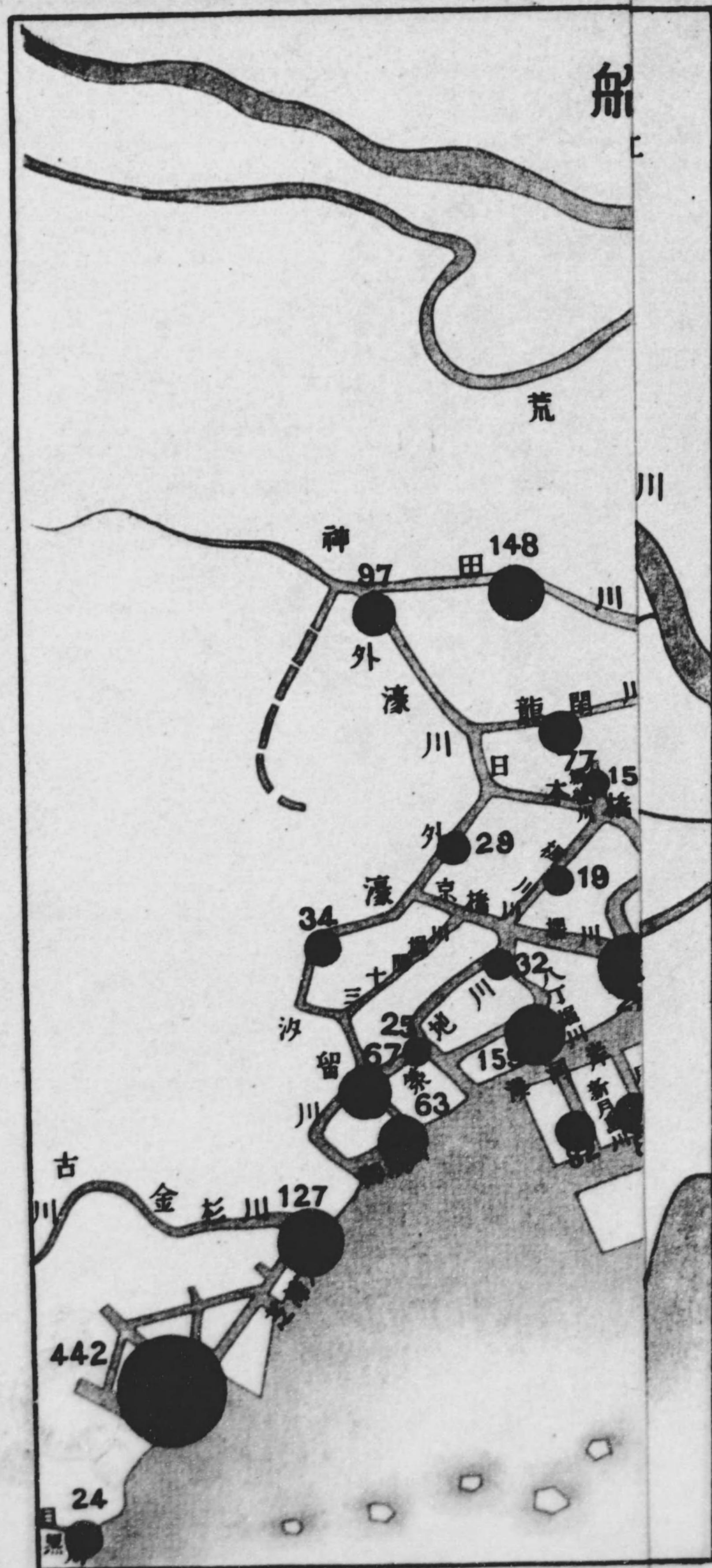
- 一、本調査は、水上に於て労働に従事する船頭、舸子(水夫)水上行商人、土砂採取運搬人、糞尿
汲取運搬人等三、七七六世帯の労働及び生活状況に就て調査せるものである。
- 一、本調査は昭和七年十月廿五日以降約一ヶ月の時日を費し、府下六三筋の大小河川及び臨海地
域に浮動せる船舶を直接訪問し、尋問調査を行つたものであるが、現居住を船舶に有する
のは三、二〇〇世帯で、陸上に有するものは五七六世帯である。
- 一、本調査施行に當り東京水上警察署の多大なる援助を受けた事に對し茲に厚く感謝の意を表す
る。

昭和八年四月 日

東京府學務部社會課

發行所寄贈本



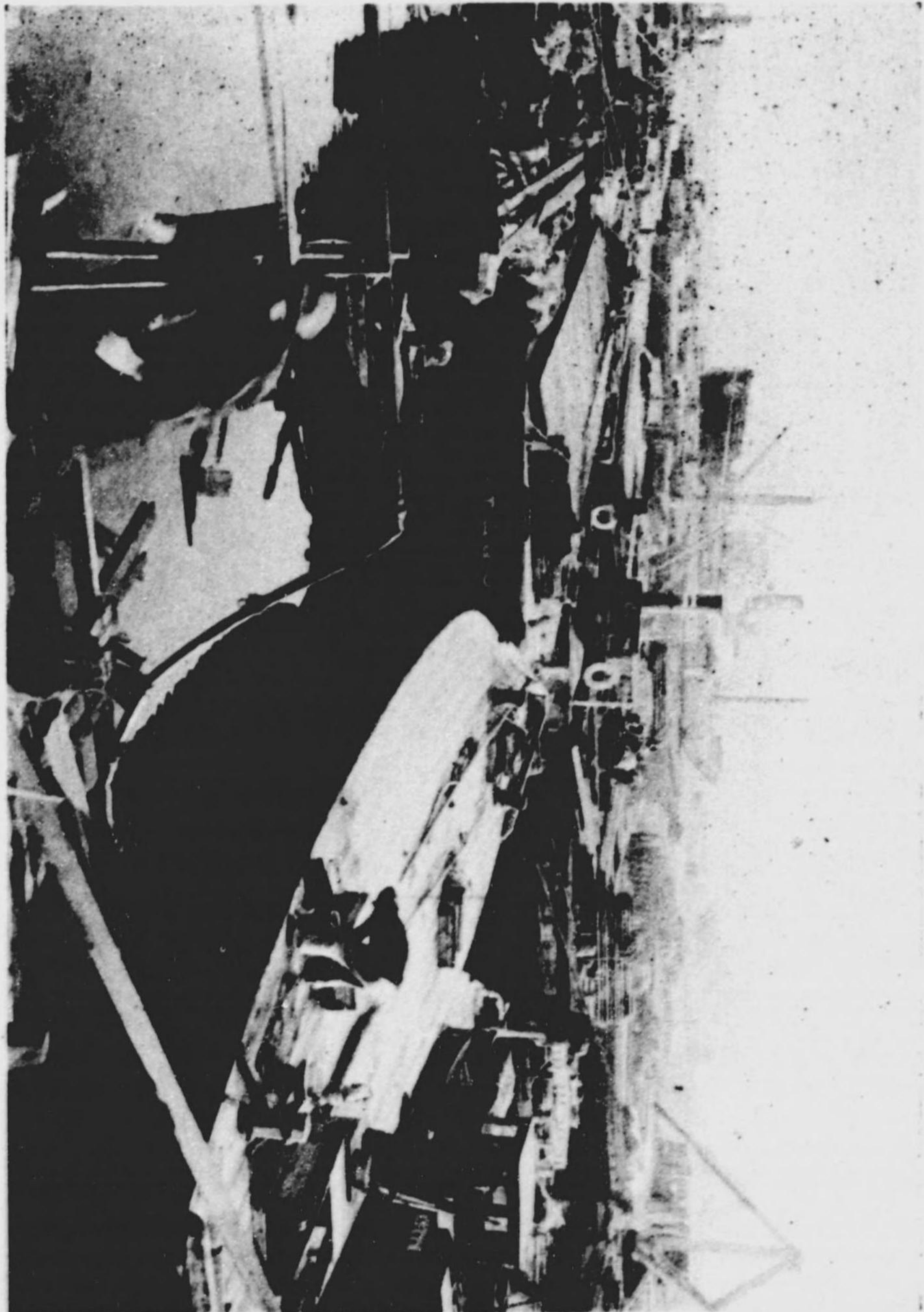


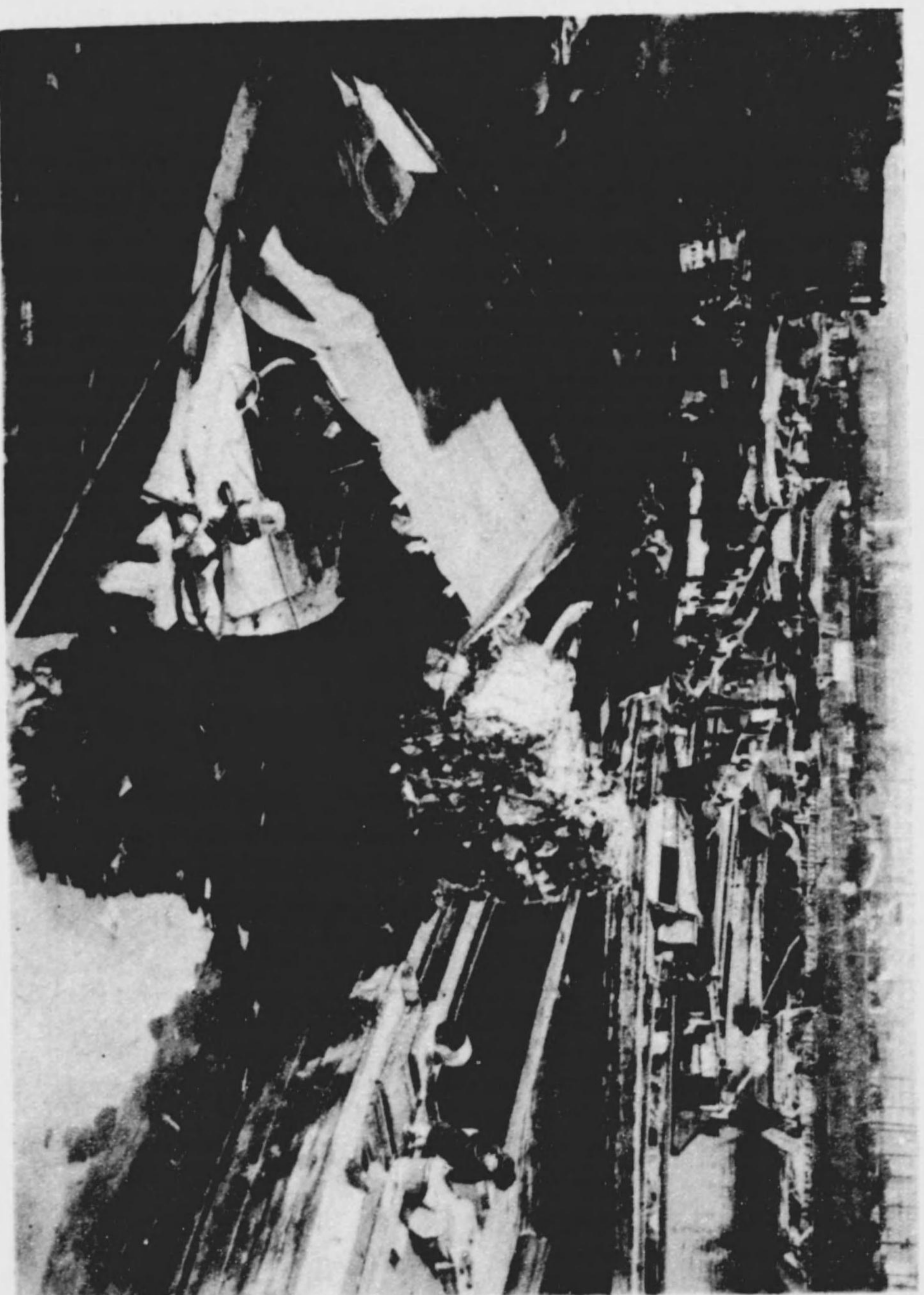
大正
 十一年
 三月
 十日
 東京
 府
 工部局
 測量課
 編
 製

芝 浦

(日出橋上より撮影)

此の附近は空浦に繋留する本船よりの荷揚げ荷下しに来る
静船の主たる繋留地である。前列右より発動機の設定ある給
水船、次は専ら曳船によつて曳航される給水船である。給水船
は船中水を以て充しポンプを用ひて給水をなすものである。
百廿四號と標示せられたる船は遠陸船の一種で船腹は鐵板を
以て覆はれてゐる。その左側にある俵を積んでゐるのは高瀬
船である。

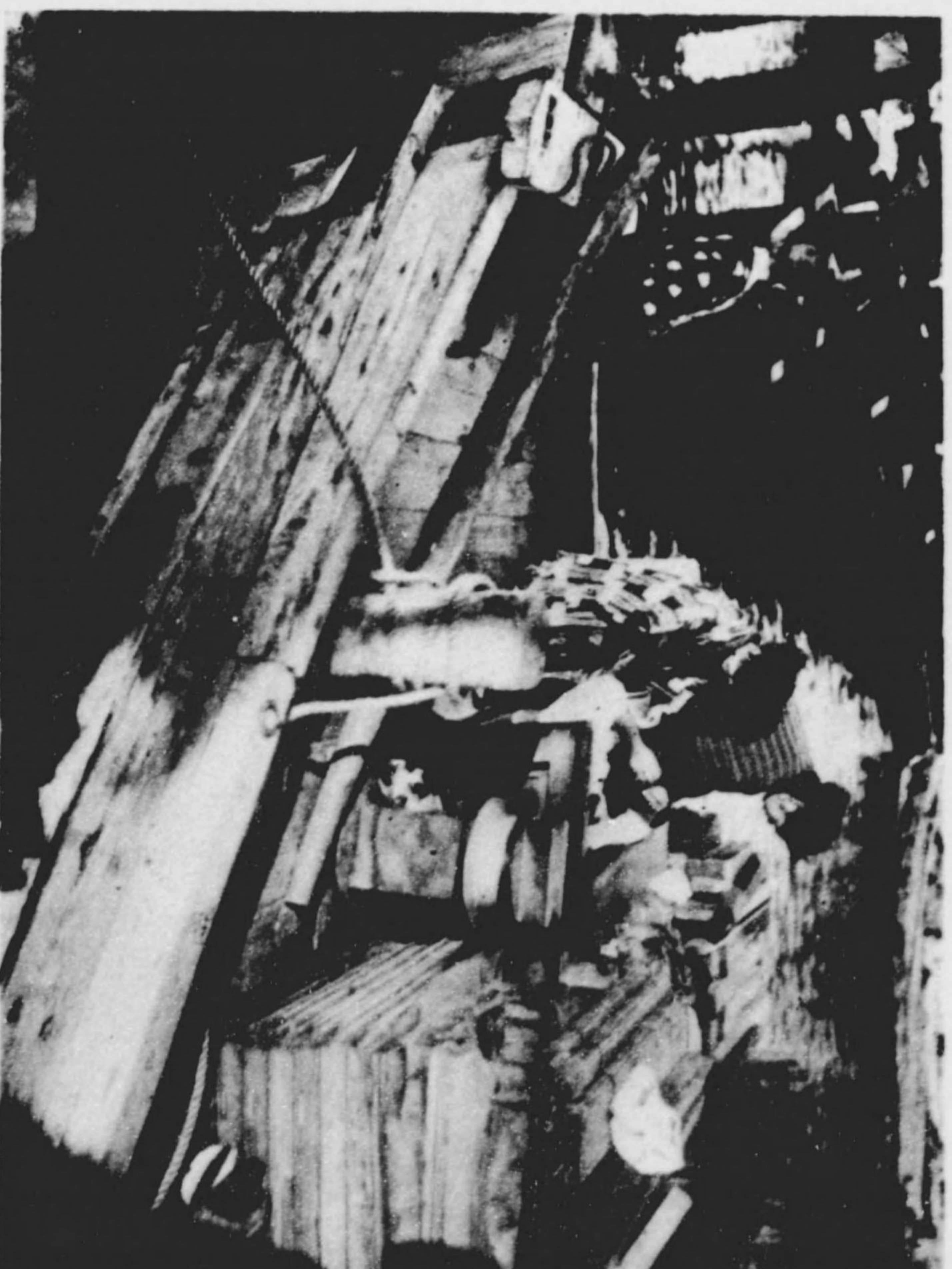




左方に見ゆるは東京市芝浦塵芥処分所である。前方に見える
 数隻の船舶は達摩船で塵芥積込の作業中である。後方にある衣
 服おしめ等を干してゐる船は傳馬船であつて何れも東京市の所
 有船である。

(南濱橋上より撮影)

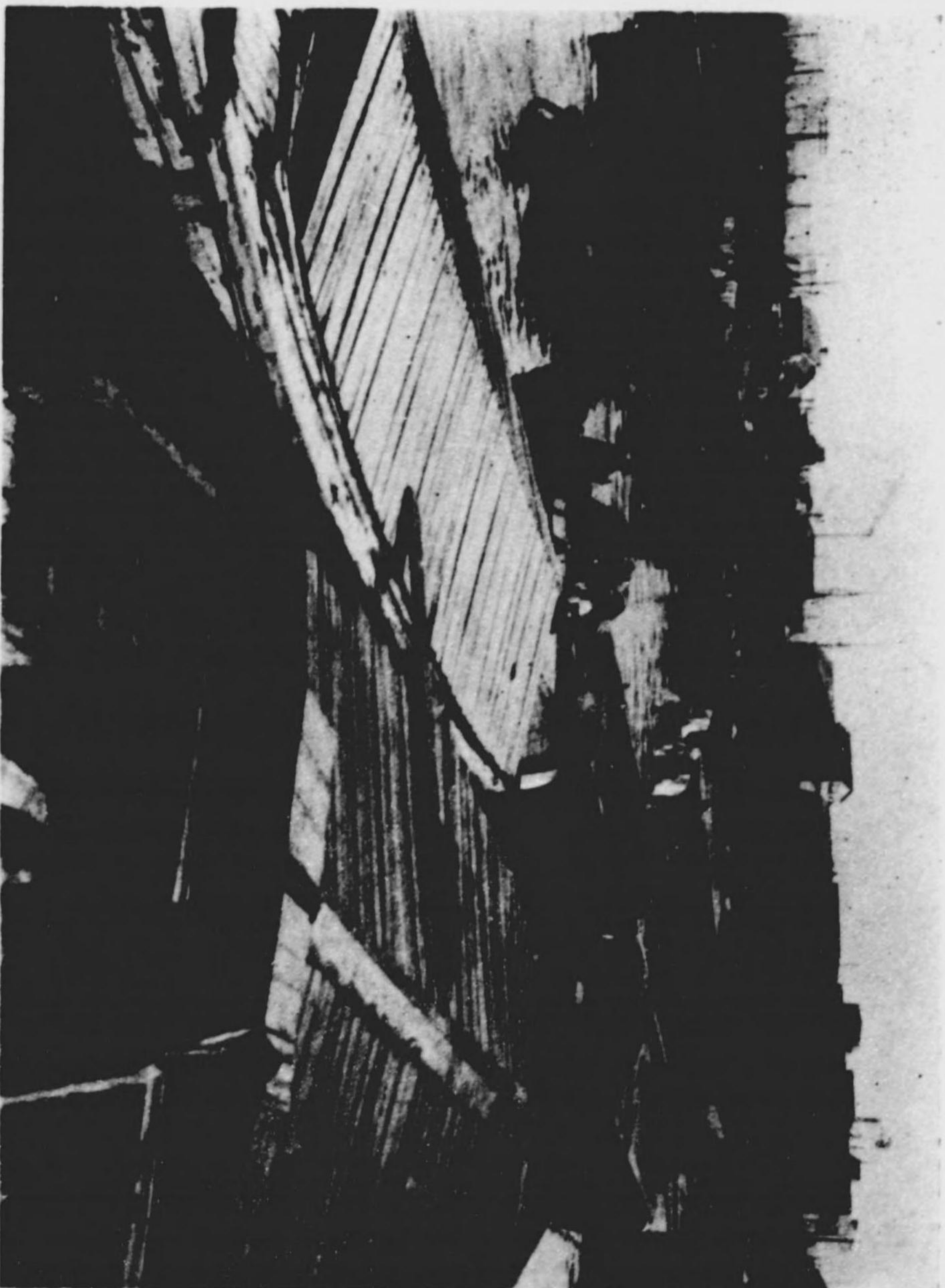
芝 浦



芝 浦

(日田橋附近より撮影)

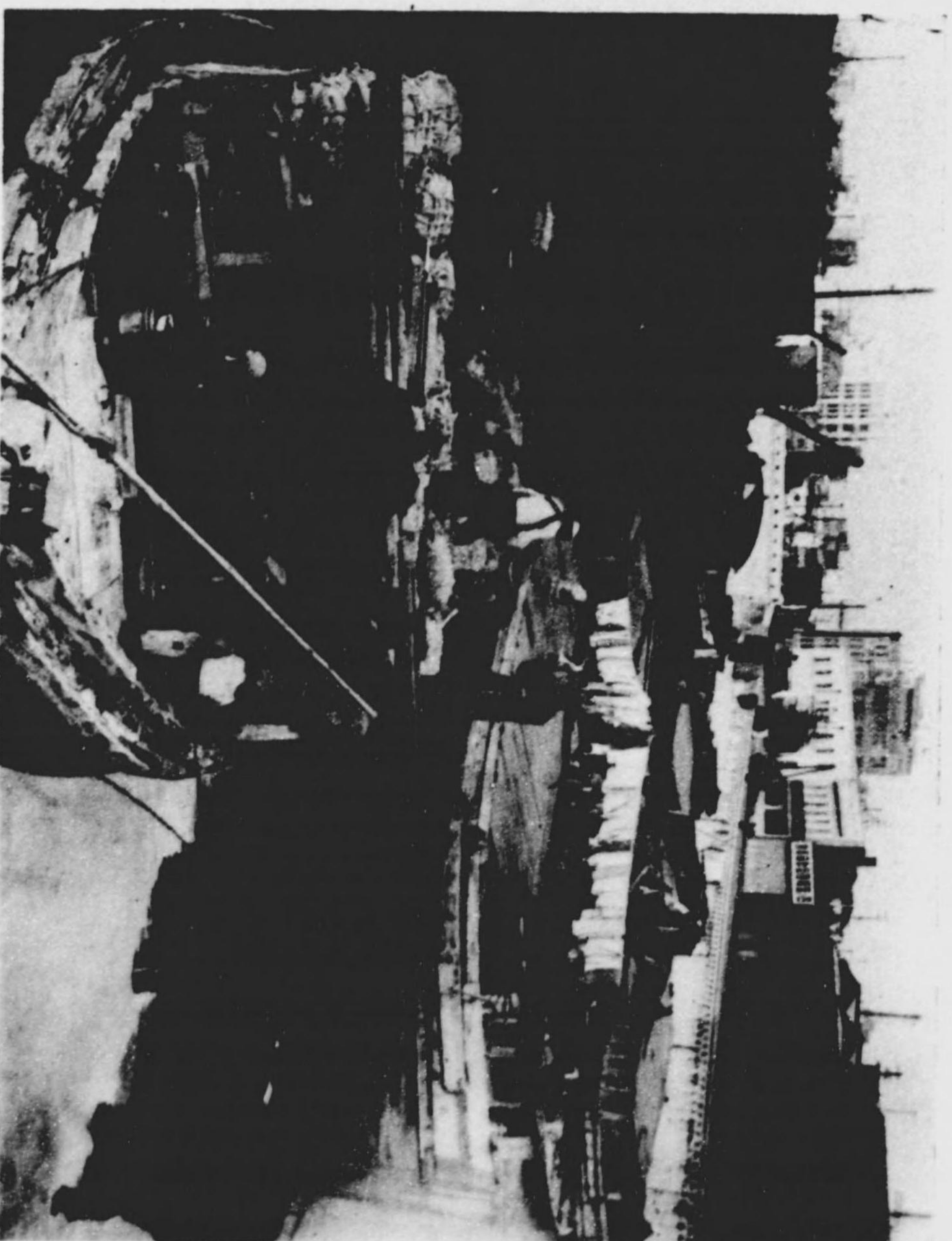
達摩船の居住室入口を示す。居住室は船の軸又は艦の部分
 にあり中央部は専ら積荷の收容に充てらる。而も居室は船の
 五分一乃至十分一を用ひ三尺四方位の出入口より下方の階段
 を以て一間四方乃至一間半四方位の居室に出入するものであ
 る。ユアロンを掛けたる女子の居る處が出入口であるが炊事
 は主としてこの軸又は艦の出入口の邊に於て行はれ七輪を以
 てなされる。



この溜りは京橋区内に於ける主たる定葬地の一である。主として俣馬船であつて船の上に屋根の如く板を葺いてあるは普通積荷の少量なるときか或は無いつ時に降雨を防ぎ船體を保護するために葺くもので尙降雨の續くとき等にはこの上をシートの如きもので覆ふのである。

(南明橋上より撮影)

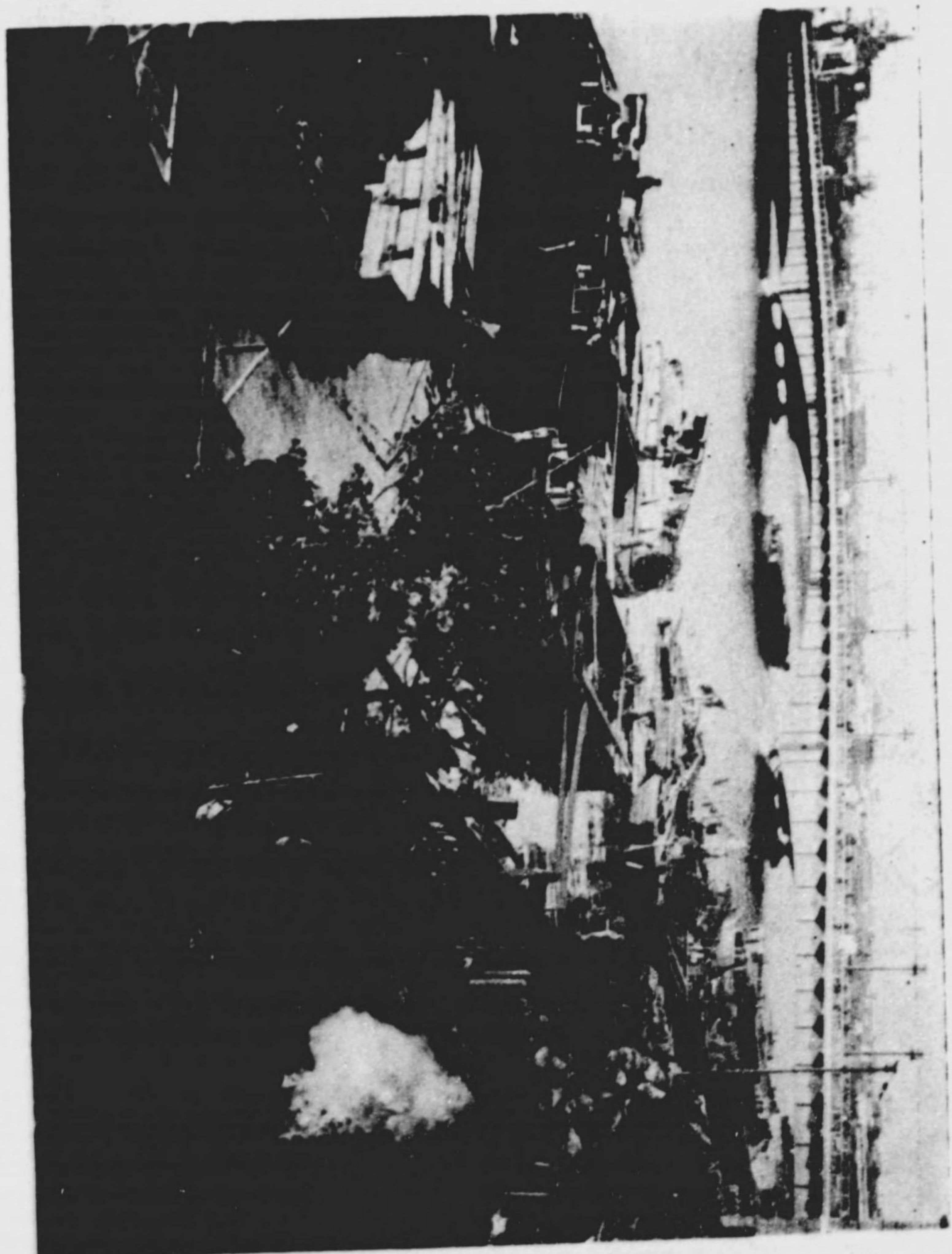
京橋區明石町河岸



汐留川汐留置構内

(遙かに新橋方面を望む、達摩船米俵の荷揚並に小兒の遊戯状況)

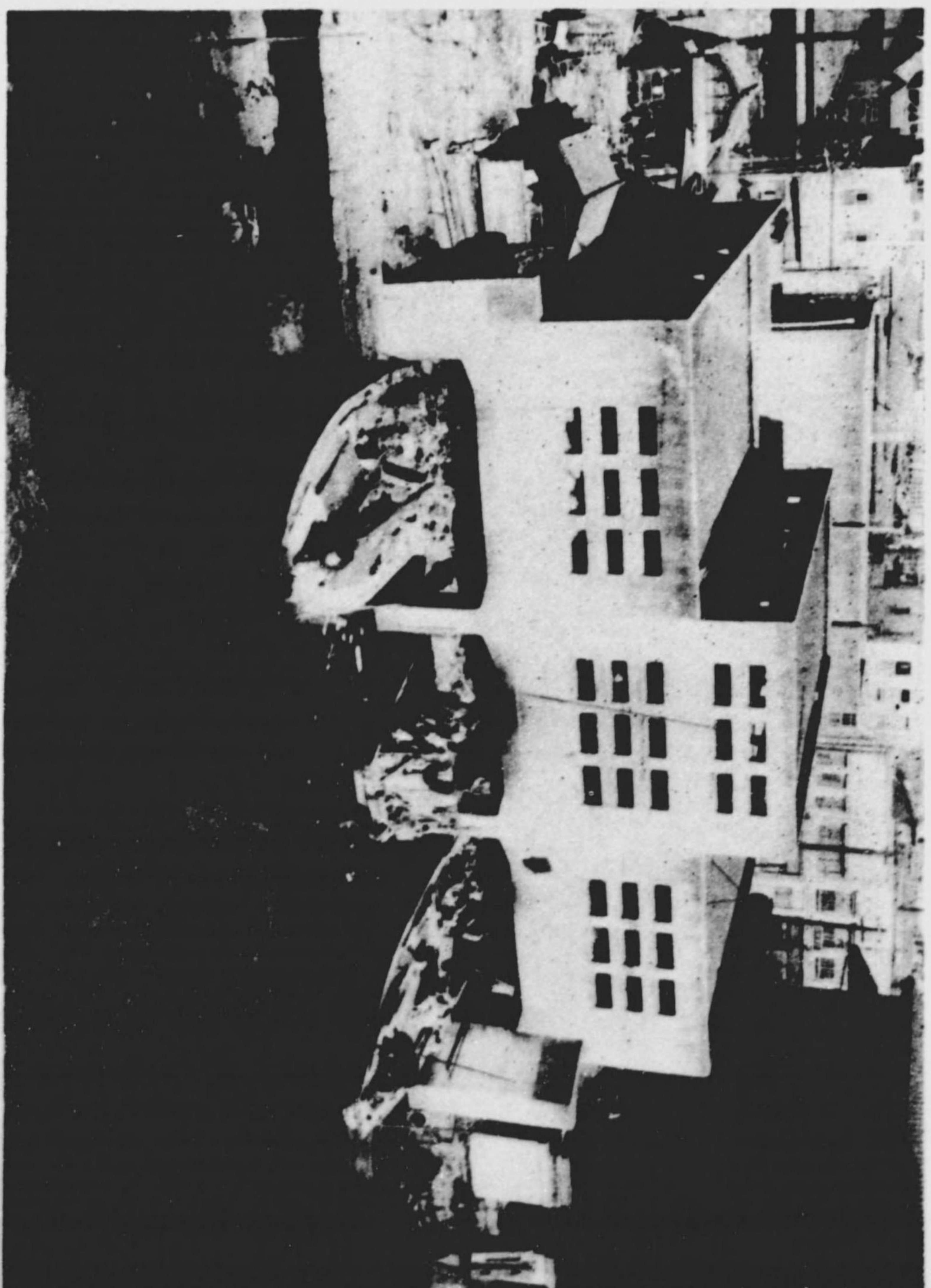
前方は居住室入口でその上に積んである板は前述の船板であるが荷揚げ後には之を葺くものである。最右方に見える箱の如き船は矢張り達摩船で石炭土砂の如きものを積む場合にこれが崩落を防ぐ爲めに設備されるものである。



右方は鐵屑、古鐵(所謂スク)の蒐集場であつて積込作業を行ひつゝある達摩船の状況である。
 尙陸上と船との間にかけてある長い板はアユミ(渡り)と稱するもので他船との間にもかけ渡して相互の通路となすものである。

階より撮影兩國橋を望む。
 (東京市土木局兩國出張所二)

本所區兩國橋附近



神田區神田川

(萬世橋驛ホームより撮影)

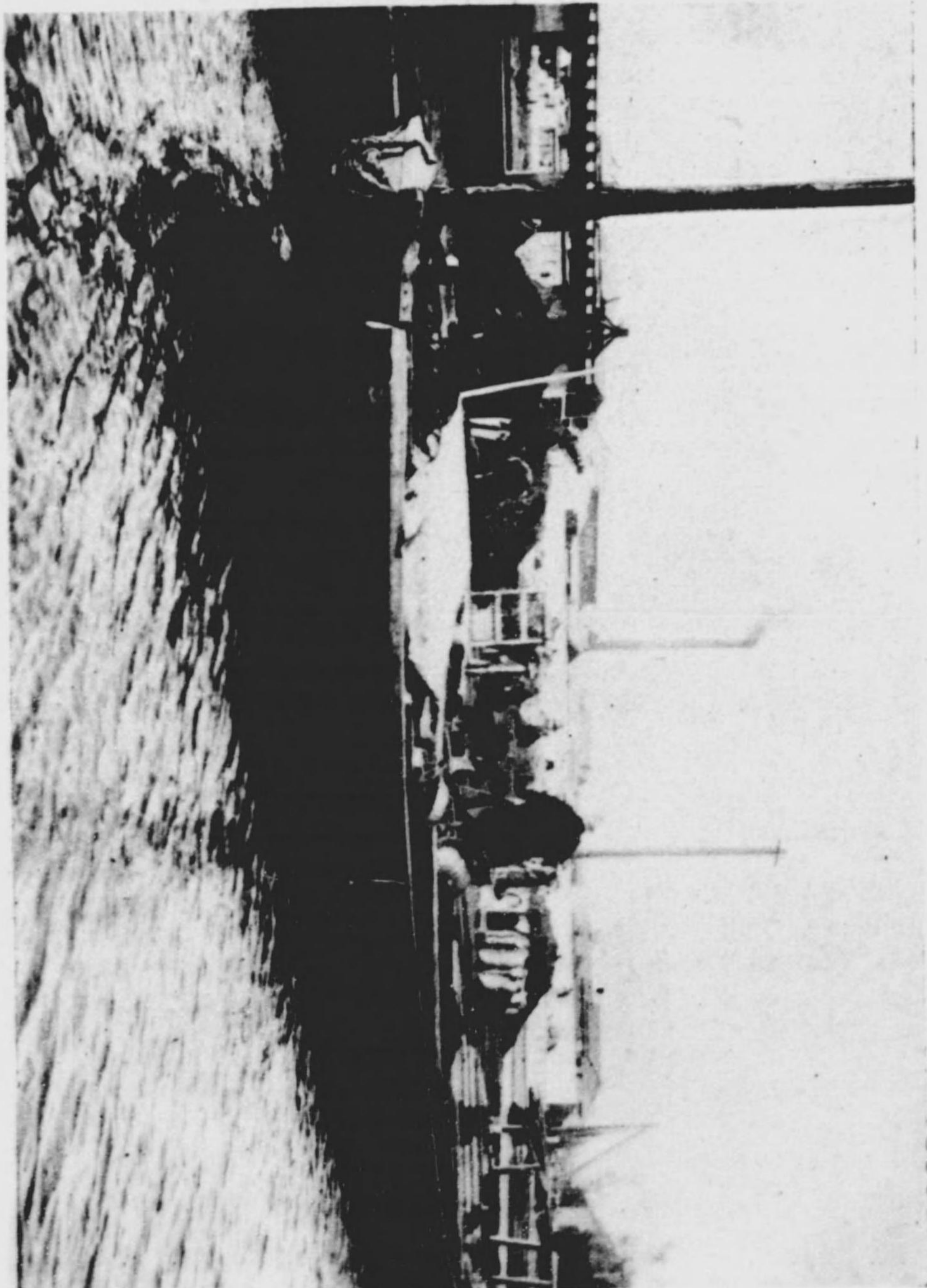
前方に見える建物は東京市藤芥處分所であつて何れも藤芥積込作業中の傳馬船である。



あつて船夫は陸上にあつて糞尿樽の處置をなしてゐる状況である。
 砂の荷揚状況である何れも傳馬船で右方に見える四隻は糞尿船で

(萬世橋驛ホリアより撮影)

神田區神田川

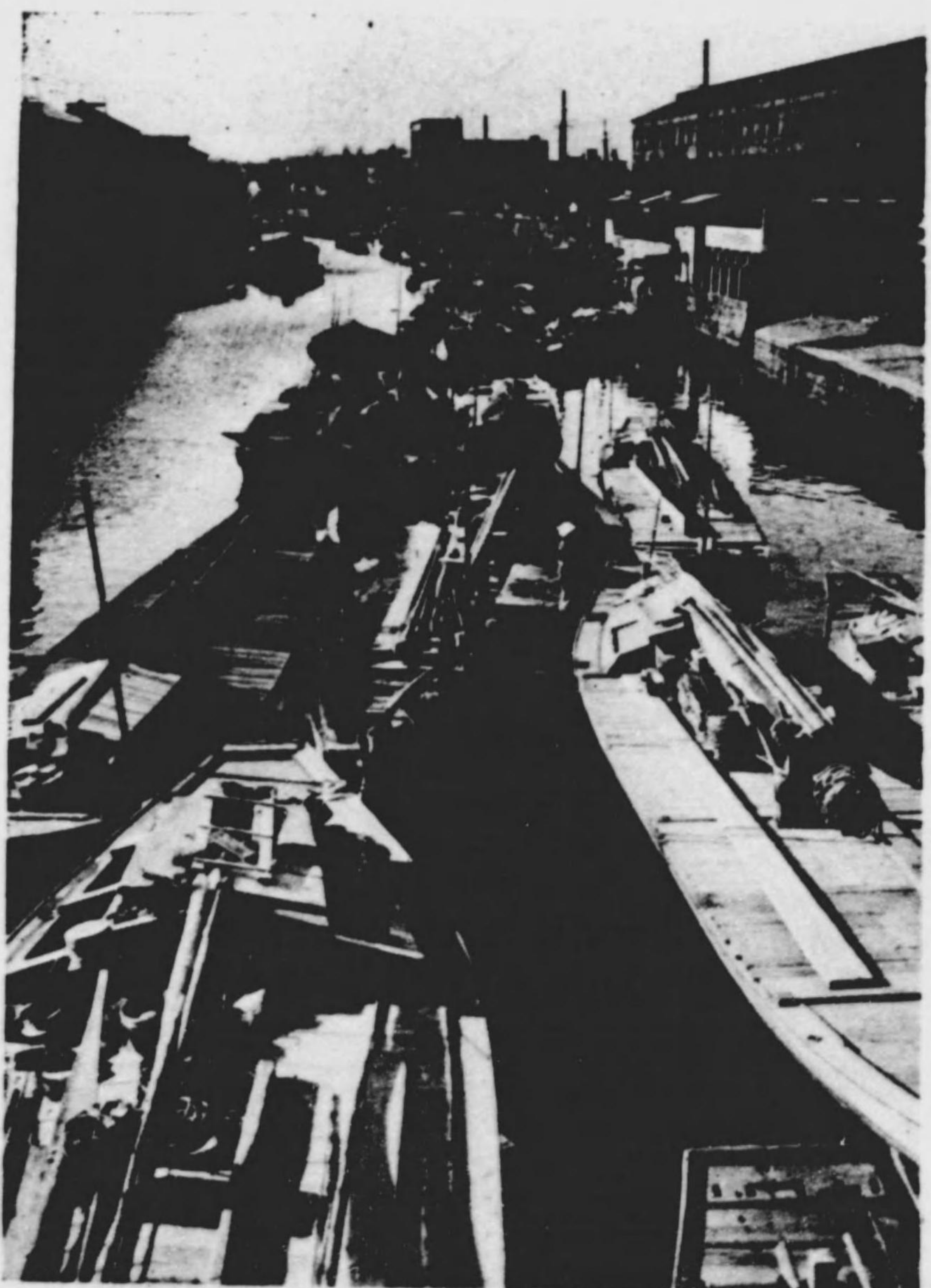


荒川區隅田川驛棧内

(同棧内石炭荷揚状況)

こゝは荒川區内第一の船隻集泊地であつて平日に於ては二百
 隻以上の數を見ることが出来る、尙この地は瓦斯會社其他工場
 の集泊地であるため石炭船の數が最も多い。

小石川區神田川（小石川橋上より撮影）



川端右方のコンクリート小建築物は東京市の糞尿處分所であつて後方にある船は作業中である。尙建物より出
 ゐてる管數本は糞尿注入管で
 ある。こゝに見ゆる船は殆ど
 全部糞尿船であつて長船と稱
 する傳馬船である。この種の
 船は穢物の取扱ひをなすにも
 不拘概して他の種の船に比し
 て船體並に居室は清潔に保た
 れてゐる。然し船體が狭小で
 あるから此の居室も亦至極狭
 隘で一疊敷程度の處に數人雜
 寢するものが稀でない。しか
 も達摩船の如く特に出入口と
 稱すべきものはなく居室の屋
 根板を取除いて出入するので
 ある。

水上生活者の生活現狀

目次

| | |
|-------------------|----|
| 一、序 | 二 |
| 二、水上生活者並びに船舶の一般狀況 | 五 |
| 1、世帯並びに人口 | 六 |
| 2、河川筋に依る世帯人口 | 六 |
| 3、船舶種類別に依る世帯 | 一〇 |
| 三、世帯構成狀態 | 一三 |
| 1、調査世帯の總數 | 一四 |
| 2、年齢並びに男女別世帯員數 | 一九 |
| イ、世帯主年齢 | 二〇 |
| ロ、世帯構成員年齢 | 二五 |

| | |
|-----------------|----|
| 3、世帯人員に依る世帯構成状況 | 三 |
| 4、世帯構成(地位に依る)状況 | 三五 |

四、雇傭制度並びに労働状態概観

| | |
|------------------|----|
| 1、船の所有関係 | 四〇 |
| 2、雇傭関係 | 四二 |
| イ、仕込制度 | 四二 |
| ロ、仕込の種類と他の所得制度 | 四三 |
| ハ、歩合制度 | 四七 |
| 3、勞資關係と負債問題 | 四九 |
| 4、現在の職業及び以前の職業経験 | 五一 |
| 5、就勞日數及び航行時間 | 五二 |

五、經濟生活の内容概観

| | |
|--------------|----|
| 1、收入及び支出状況 | 七四 |
| イ、種類別に依る收支内容 | 七四 |

| | |
|---------|----|
| ロ、收入對支出 | 七六 |
|---------|----|

| | |
|-----------|----|
| ハ、收支過不足關係 | 七六 |
|-----------|----|

| | |
|------|----|
| 2、收入 | 七八 |
|------|----|

| | |
|--------|----|
| イ、收入内譯 | 七八 |
|--------|----|

| | |
|----------------------|----|
| A、世帯人員別による一世帯當り平均收入調 | 七八 |
|----------------------|----|

| | |
|-----------------|----|
| B、收入種類別による平均收入調 | 七八 |
|-----------------|----|

| | |
|-------------------|----|
| C、收入階級に依る世帯人員別世帯調 | 七八 |
|-------------------|----|

| | |
|------|----|
| 3、支出 | 八〇 |
|------|----|

| | |
|--------|----|
| イ、支出内譯 | 八〇 |
|--------|----|

| | |
|----------------------|----|
| A、世帯人員別による一世帯當り平均收入調 | 八〇 |
|----------------------|----|

| | |
|-----------------|----|
| B、支出方面別による平均支出調 | 八〇 |
|-----------------|----|

| | |
|-------------------|----|
| C、支出階級による世帯人員別世帯調 | 八〇 |
|-------------------|----|

| | |
|-------------|----|
| 4、經濟生活内容の一例 | 八三 |
|-------------|----|

| | |
|--------|----|
| イ、船住世帯 | 八三 |
|--------|----|

| | |
|--------|----|
| ロ、陸住世帯 | 八六 |
|--------|----|

六、住居並びに生活狀況

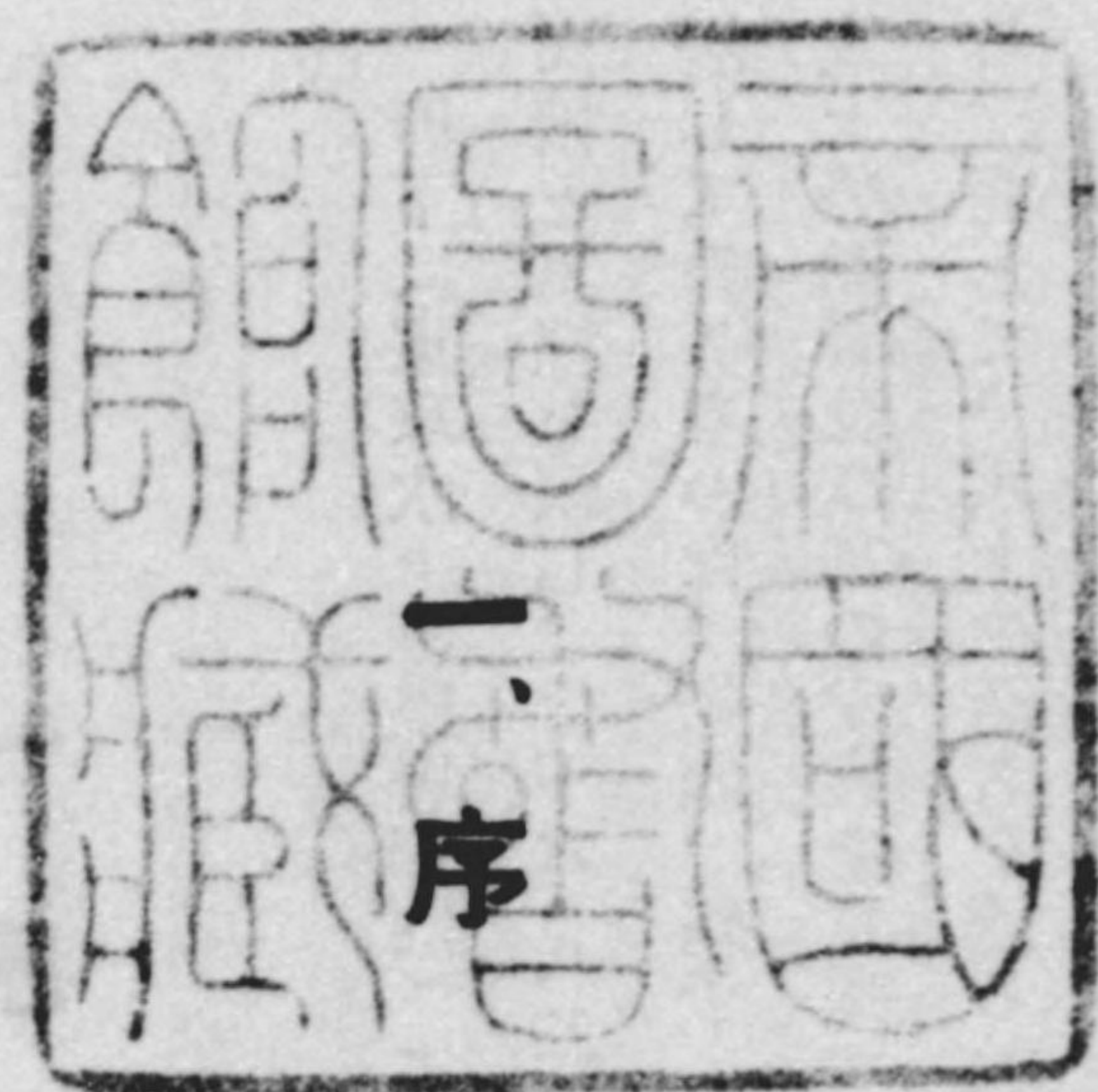
| | |
|---------------|----|
| 1、現居住地 | 二二 |
| 2、出生地 | 二二 |
| 3、水上生活年限 | 二九 |
| 4、健康狀況 | 二三 |
| 5、教育程度並びに就學狀況 | 二五 |
| イ、世帯主 | 二〇 |
| ロ、世帯構成員就學狀況 | 二〇 |
| ハ、學齡兒童の就學狀況 | 二二 |
| ニ、半途退學並に不就學狀況 | 二四 |
| ホ、就學事情の一般的問題 | 二五 |
| 6、信教狀況 | 二七 |
| 7、趣味、嗜好、娛樂 | 二八 |
| イ、趣味、嗜好、娛樂、樂調 | 二四 |

七、結 語

| | |
|----------------|-----|
| ロ、趣味嗜好娛樂調 | 二四九 |
| 8、室並に疊狀況 | 二五〇 |
| 9、司法及び保安に關する資料 | 二五 |
| イ、港内船舶出入狀況 | 二四 |
| ロ、犯罪被害並に檢舉件數 | 二四 |
| ハ、變死體檢視數 | 二四 |
| ニ、交通事故狀況 | 二五 |
| ホ、營業者狀況 | 二五 |
| ヘ、夏季水泳場設置數其他調 | 二六 |
| 結 語 | 二七 |

附

調査票並びに調査關係用紙



水... ..

...

水上生活者の生活現状

二

一、序

府下（東京水上警察署管内）に於ける水上の總面積は約一二二平方里河川の延里程は一七一哩に達する廣範な面積と里程を領し、目下六、八二六世帯、一六、六一〇名の人口が水上に於て生活を営むでゐる状態で、船舶に住居してゐるものは、船頭、舸子（水夫）水上行商人等の水上労働者及びその家族である。故に、水上生活者とは水上労働者及び其の家族を意味するもので此等労働者が一面水上運輸交通の社會的利便を支配して居る現状である。而して、水上生活者を繞る社會的諸問題の中心を爲すものは、水上労働者の生活及び労働問題の二つに局限されて居る。

あらゆる意味に於て民衆生活と、切つても切れぬ立場にある水上生活者の現状に就いて、各方面から觀察を下げば、從來社會的、政治的諸制度は、彼等に對して、餘りにも疎遠であり、等閑視過ぎた嫌ひがある。即ち、その生活の最高手段たる雇傭制度並びに労働條件に於て、生活の文化的問題乃至陸上労働者との不均等的諸點に於て、又は社會的、政治的保護制度等に於て、特に注意を喚起する必要が多々あることを斷言して憚らぬものである。

工場、鑛山に働く労働者は、工場法又は鑛夫勞役扶助規則等により、屋外に働く仲仕、土木建築労働者等は労働者災害扶助法其の他に依つて不充分とは云ひ乍ら、それ／＼社會的に法的保護を加へられてゐるが、獨り水上労働者、即ち、船頭、舸子等は社會的關心乃至保護の埒外に放置されたのみか、今以て選舉權はおるか、その生活實狀に關する一編の調査物さへ未だ出来ない事は、誠に遺憾とする處である。

斯くの如き現状にある水上労働者の生活は、その不遇なる環境が支配する事由以外に、一般社會の無關心に作用されて醸成する不自然な弊害と、不利益を暗々に蒙りつゝあることをも無視することは出来ぬのである。茲に於て、彼等の生活程度が一般文化水準より遅れ、又その眞の利益を享有し得ないことは理の當然であり、生活の全支配權を掌握せる雇傭制度及び労働條件等も、その長短に對する論議は暫く之を別としても、未だ封建的桎梏の域を脱せず、その爲めに勞資間の軋轢、紛争等の不祥事を招致することは、獨り水上労働者の不幸に限るものでなく、同一水上運輸回漕業者は勿論、一般社會的經濟組織に賣らす明日の損失を物語るものである。

水上労働者は、現今に於ける雇傭制度に飽き足らず、多くの不平不満を内抱しつゝも不文律的ではあるが最底生活の保障、即ち、仕込制度の存続に依りその日の生計を保持してゐる。不況と失業の悲境に喘ぎつゝある一般陸上労働者の欠食生活状態に較べると曲りなりにも生計を持続してゐるが、その悲惨なる真相たるや陸上のそれに増して劣るものでない。喰ふことのみを人生最高の理想とし、幸福と爲すものならば、水上生活者は幸福を贏ち得た者の一人であり、幸福そのものゝ存在であるかも知れぬ。けれ共、板一枚を生命線となして、時には荒れ狂ふ暴風雨と闘ひ、時には愛兒の溺死に遭ひ、粗衣、粗食、何等の文化的享樂の恩恵にありつく機會さへ有らず、人生の春を暗に暮す様な生活環境にある以上、新米の舸子や青春期の若者の不平、不満、鬱憤の爆發等は必

三

ずしも彼等自身のみ罪となすことは出来ぬ。又その盛年期にある水上労働者の銅色に焦げた顔色や、無氣味に光る瞳、生活に疲れた瘦人同様の存在を見受けるが、だが吼えざる獅子の全貌をそこに見出さずにはゐられないものである。

本調査は、一般水上労働者の労働及び生活實狀の探究を主たる目的として昭和七年十月廿五日より約一ヶ月の時日を費し、府下大小六三筋の河川及び臨海地域に散在する船舶三、七七六世帯（中陸住五七六世帯）一一、〇九二名に就いて調査せるものである。その詳細な點は別項に於て之を具體的に述べることとするが、本調査が現今水上労働者の生活上焦眉の急務とされてゐる水上方面委員制度、學齡兒童の育英施設、巡回公設市場及び金融機關、巡回醫療機關等の設備と共に、岸壁に面した場所に飲料水の給水設備等を爲す上に於て多少の参考となり、又その拍車ともなり得れば幸甚である。

二、水上生活者並びに船舶の一般狀況

二、水上生活者並びに船舶の一般状況

1 世帯並びに人口

東京府下（東京水上警察署管内）に於ける水上の総面積は約一二二平方里であり、河川の里程は一七一哩、沿岸の延長里程は二六哩に及んでゐる。

而してその水面に浮動して生活を営む者の世帯（船舶）及び人口数は左の通りである。（船舶に於て生活をせぬ小船、動力船、其他のものは本調査の対象でない故に勿論本調査数字に這入つてゐない。）

| 年 別 | 世帯（船舶） | 人 口 |
|-------|--------|--------|
| 昭和五年末 | 七、一七八 | 一七、四一五 |
| 昭和六年末 | 六、八九七 | 一六、八八一 |
| 昭和七年末 | 六、八二六 | 一六、六一〇 |

右に依ると、水上生活者は、年次的に減少する傾向を示してゐる。之は近時陸上に於ける運輸、交通機關の急速的發達の影響を受け、水上生活者の轉業並に廢業の事實に依り自然減少を來したものであると考へられるのである。

2 河川筋に依る世帯人口

然らば、水上生活者の船舶は如何なる状態に分布してゐるか。府下大小六三筋の河川別に之を見ると、昭和六

年十二月末現在の分布状態は、左の通りである。

河川別世帯數並びに人口數

（東京水上警察署調）

| 河川名 | 世帯數 | 百分比 | 人 口 | | 計 | 百分比 |
|------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| | | | 男 | 女 | | |
| 荒川 | 一、二五四 | 一八・一八 | 二、一六一 | 九二九 | 三、〇九〇 | 一八・三〇 |
| 築地川 | 一〇四 | 一・五一 | 一五六 | 九〇 | 二四六 | 一・四六 |
| 三間川 | 三三 | 〇・四八 | 四八 | 一八 | 六六 | 〇・三九 |
| 外濠川 | 一七八 | 二・五八 | 二八三 | 一六三 | 四四六 | 二・六四 |
| 沙留川 | 五八 | 〇・八四 | 九四 | 四二 | 一三六 | 〇・八一 |
| 御濱川 | 九四 | 一・三六 | 一五五 | 九六 | 二五一 | 一・四九 |
| 龜島川 | 一一八 | 一・七一 | 一五三 | 九五 | 二四八 | 一・五八 |
| 京橋川 | 七二 | 一・〇四 | 一二五 | 四二 | 一六七 | 〇・九四 |
| 佃島川 | 五六 | 〇・八一 | 九四 | 五五 | 一四九 | 〇・八八 |
| 新月川 | 五三 | 〇・七七 | 七一 | 六三 | 一三四 | 〇・七九 |
| 新月島川 | 六三 | 〇・九一 | 六四 | 三五 | 九九 | 〇・七一 |
| 新島川 | 三二 | 〇・四六 | 四七 | 三五 | 八二 | 〇・四一 |
| 新本橋川 | 二三八 | 三・四五 | 四二二 | 一八八 | 六一〇 | 三・六一 |
| 日本橋川 | 六六 | 〇・九六 | 一二四 | 五二 | 一七六 | 一・〇四 |
| 龍閑川 | 九 | 〇・一三 | 二〇 | 一 | 二一 | 〇・一四 |
| 箱崎川 | 一〇七 | 一・五五 | 二〇九 | 八七 | 二九六 | 一・七五 |
| 堀留川 | 二三 | 〇・三三 | 三六 | 九 | 四五 | 〇・二七 |

| 河川名 | 世帯数 | 人口 | | 百分比 |
|-----|-------|--------|-------|--------|
| | | 男 | 女 | |
| 沿海 | 一〇四 | 一九三 | 九二 | 一・六九 |
| 合計 | 六、八九七 | 一一、六四六 | 五、二三五 | 一〇〇・〇〇 |

3 船舶種類別に依る世帯

府下の沿海及び各河川に浮動してゐる船舶の種類に就て見ると、汽機船、汽帆船、傳馬船、達摩船、高瀬船、荷足船、五大力船、團平船、其他雜船等に分類する事が出来るがその名稱は種々雜多を極め一定することは誠に困難である。今各船舶について大體の説明を左に述べて置く。

『傳馬船』——關東に多く使用される船舶の一種で、他の船舶に比して小型であり、獨漕力も早く、また少量の荷物の運搬に適するを以て近海及び河川の運輸船として重んぜられ糞尿運搬に多く用ひられてゐるのも一つの特長である。

『達摩船』——一名胴船とも稱せられ、胴が膨らみ舳船中の大型船である。船自體の獨漕力で航行するものよりもその多くは、他の曳船によつて大量の荷物を運搬するに用ふ。

『高瀬船』——傳馬船に類似してゐるが、獨漕力の機能に長じ、船底平く船丈の浅い船の一種である。

『團平船』——連潮の時は獨漕し、逆潮のときは曳船の力を借りて航行する船體の細長いものを云ふ。多く關西地方に見る船であるが積荷としては石炭が主であり、關東では、土砂運搬に用ひてゐる。而して

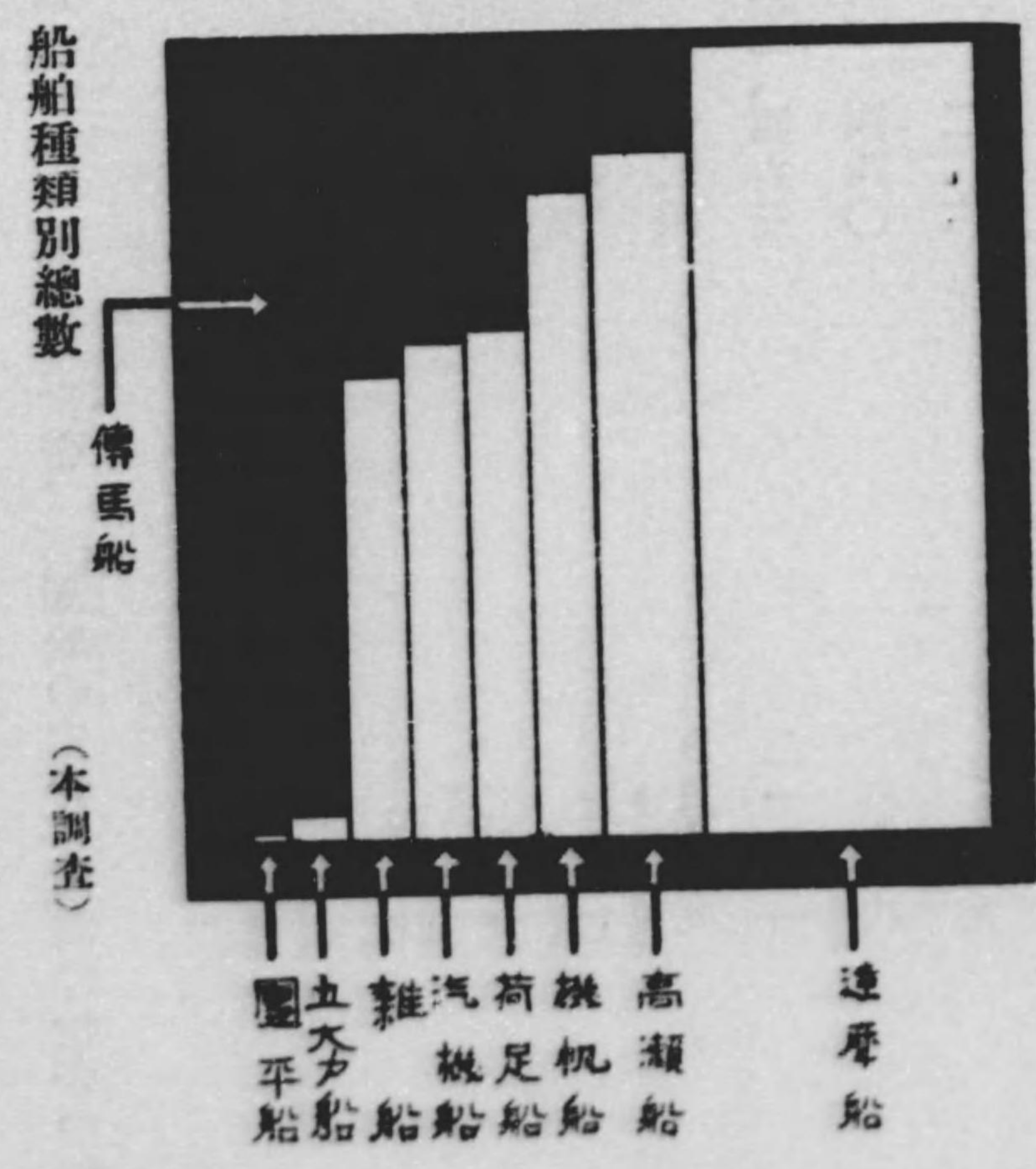
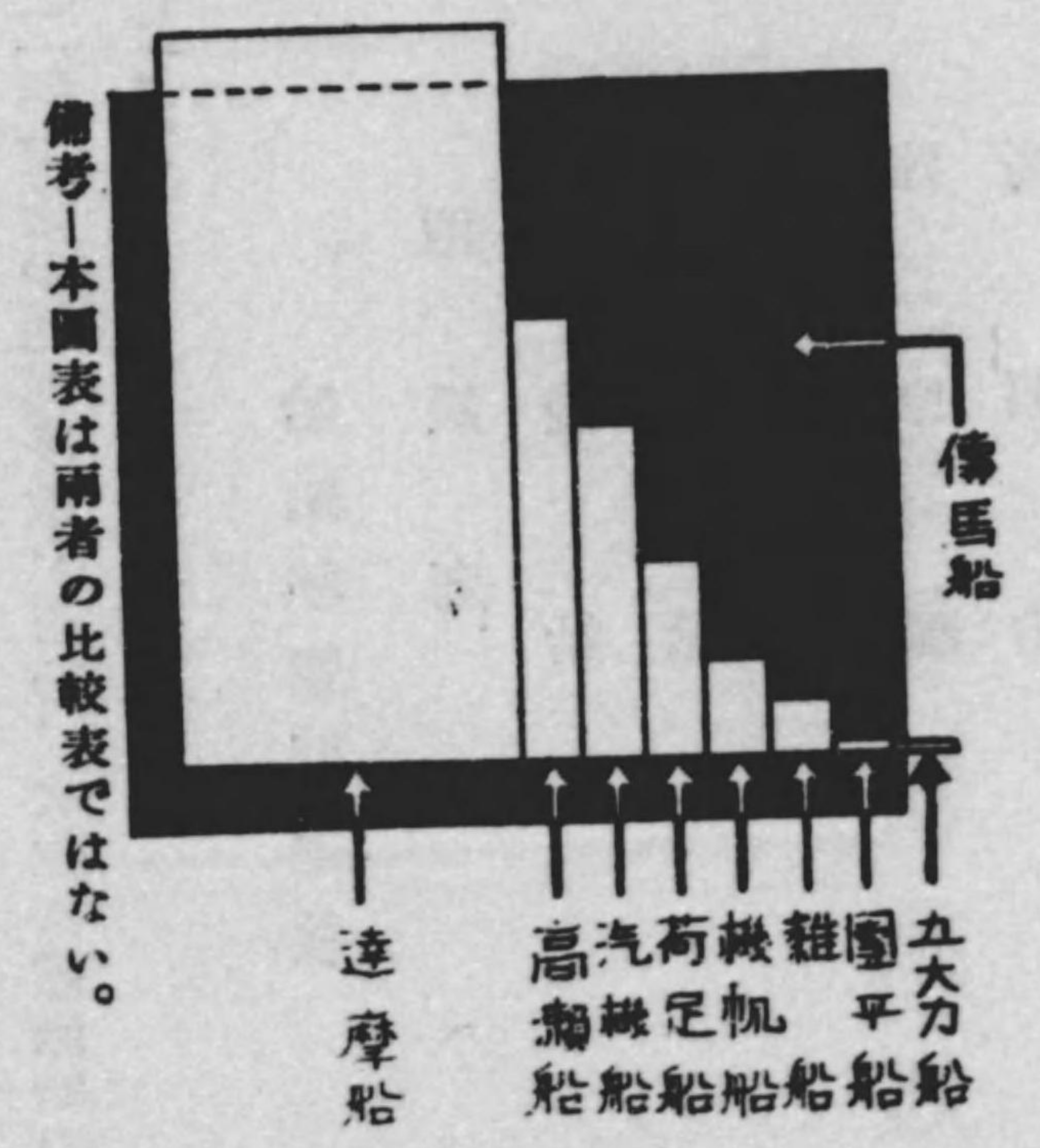
船舶に敷いてある板の上下に依つて下團平、中團平、上團平の稱をもつてゐる。

『五大力船』——達摩船に類似した船舶であるが、それよりも大型のものが多く大量荷物の運搬に使用され小

河川の運航には不適當である。

『荷足船』——船型と積載量は傳馬船及び達摩船の中間的なものであるが大、中河川並びに沿海の航行に使用されてゐる。

船舶種類別總數 (水上署調)



備考—本圖表は兩者の比較表ではない。

船舶種類別總數 (本調査)

四、一二四世帯の絶対多数を占め、次位は達摩船の二割一分、一、四六三世帯、高瀬船の六分、四四〇世帯の順位を示してゐる。

| 種別 | 船舶種類別總數 | 總數 | 百分比 |
|------|---------|-------|--------|
| 汽機船 | 二〇一 | 二〇一 | 二・九一% |
| 帆馬船 | 二六〇 | 二六〇 | 三・七七 |
| 傳馬船 | 四、一二四 | 四、一二四 | 五九・七九 |
| 達摩船 | 一、四六三 | 一、四六三 | 二一・二一 |
| 高瀬船 | 四四〇 | 四四〇 | 六・三八 |
| 荷足船 | 二〇六 | 二〇六 | 二・九九 |
| 五平力船 | 一三 | 一三 | 〇・一九 |
| 團平船 | 三 | 三 | 〇・〇四 |
| 雜船 | 一八七 | 一八七 | 二・七二 |
| 合計 | 六、八九七 | 六、八九七 | 一〇〇・〇〇 |

(昭和六年十二月末現在
東京水上警察署調査)

三、世帯構成状態

三、世帯構成状態

1 調査世帯の總數

本調査は左記地區河川に於ける三、七七六の船舶に就て之を施行せるものであるが、調査世帯中五七六は船舶居住者でなく陸上に住居を有する者で嚴密に言へば該世帯は水上労働者であるに稱する方が適當である。陸上に住居を有する世帯は概ね糞尿船で、糞尿汲取り及び運搬中以外は陸上に居住するものであるため本調査に於ては特に之を陸上居住者として取扱つた次第である。

水上生活者調査區域別船數

| 地區別 | 調査河川名 | 調査船數 | 接續區名 |
|------|-------|------|---------------------|
| 神田區 | 龍閑川 | 三三二 | 日本橋、淺草、麴町、本郷、小石川、牛込 |
| | 神田川 | 七七 | |
| | 外濠川 | 一四八 | |
| 日本橋區 | 日本橋川 | 九七 | 京橋、麴町、神田、淺草 |
| | 日本橋川 | 一六二 | |

京橋區

| | |
|---------|-----|
| 久松川 | 八六 |
| 堀留川 | 一五 |
| 楓川 | 一九 |
| 外濠川 | 二九 |
| 濱町川 | 一七 |
| 月島及佃島川 | 八四 |
| 月島川 | 二二 |
| 佃島川 | 一一 |
| 新月島川 | 二二 |
| 靈岸川 | 二七 |
| 荒川、京橋川 | 七六 |
| 新川 | 一五 |
| 明石町河岸 | 九 |
| 港河川 | 一五九 |
| 築地川 | 二五 |
| 八丁堀、越前堀 | 三二 |
| 汐留川 | 六七 |
| 外濠川 | 三四 |
| 芝區 | 六三二 |

麴町、芝、日本橋

京橋、麴町、品川、麻布

| 品川區 | 荒川區 | 王子區 |
|-------|----------|-------|
| 大川筋一帶 | 荒川 | 荒川 |
| 小名木川 | 隅田川驛構内 | 荒川 |
| 仙臺堀川 | 目黒川及八ツ山下 | 荒川 |
| 大横川 | 五間堀川 | 荒川 |
| 横十間川 | 六間堀川 | 荒川 |
| 二十間川 | 木場附近 | 荒川 |
| 十間川 | 芝、大森、 | 荒川、板橋 |
| 木場附近 | 淺草、王子、足立 | |
| 六間堀川 | | |
| 五間堀川 | | |
| 二四 | | |
| 二二 | | |
| 八 | | |
| 一九 | | |
| 一二 | | |
| 一四 | | |
| 五八 | | |
| 六〇 | | |
| 九六 | | |
| 七四 | | |
| 一〇七 | | |

| 地區別 | 淺草區 | 本所區 | 深川區 |
|-------|----------|-------|-------|
| 調查河川名 | 神田川下流 | 大川筋一帶 | 深川 |
| 調查船數 | 荒川 | 大横川 | 本所、城東 |
| 御濱川 | 山谷堀川 | 横十間川 | |
| 六三 | 源森川、北十間川 | 兩國川 | |
| 一二七 | 曳舟川 | 兩國川 | |
| 四四二 | | | |
| 二二〇 | | | |
| 七〇 | | | |
| 一二九 | | | |
| 二二 | | | |
| 四三二 | | | |
| 四四 | | | |
| 七二 | | | |
| 六二 | | | |
| 八八 | | | |
| 一一三 | | | |
| 三三 | | | |
| 二二 | | | |
| 四六〇 | | | |

一六
區
名

| 地区別 | 調査河川名 | 調査船數 | 接 続 区 名 |
|-----|-------|------|--------------|
| 足立區 | 荒川 | 二二 | 向島 |
| | 荒川放水路 | 一三 | |
| 向島區 | 綾瀬川 | 六 | 城東、本所、足立 |
| | 荒川 | 四 | |
| | 荒川放水路 | 一〇七 | |
| | 梅若堀川 | 八 | |
| | 綾瀬川 | 一九 | |
| 城東區 | 曳舟川 | 一八 | 本所、深川、向島、江戸川 |
| | 北十間川 | 四七 | |
| | 小名木川 | 一一七 | |
| | 中川 | 四〇 | |
| | 放水路 | 二七 | |
| | 堅川 | 一一 | |
| 合 計 | 三、七七六 | | |

江戸川區

| | |
|-------|----|
| 中川 | 六 |
| 荒川放水路 | 三 |
| 江戸川 | 二 |
| 合 計 | 一一 |

葛飾、城東、足立、向島、江戸川

2 年齢並びに男女別世帯員數

水上生活者の年齢を世帯主及び世帯構成員別に依つて見ると、世帯主三、七七六人は凡て男子であつてその年齢階級は二〇歳迄が五七人總數の百分之一・五、二一歳以上二五歳迄が二六九人總數の七・二、二六歳以上三〇歳迄が六一三人總數の百分之一・六、三一歳以上三五歳迄が六三九人總數の百分之一・九、三六歳以上四〇歳迄が六三二人總數の百分之一・六、四一歳以上四五歳迄が五一五人總數の百分之一・三、四六歳以上五〇歳迄が四二六人總數の百分之一・二、五一歳以上五五歳迄が三一〇人、總數の八・二、五六歳以上六〇歳迄が一八五人總數の四・九、六一歳以上六五歳迄が八九人總數の二・三、六六歳以上が四一人で總數の百分之一・〇九を占めてゐる状態である。

水上生活者の労働者としての年齢は相當高齢者に多いと見てよい。即ち、陸上に於ける自由労働者が三〇歳前後に多率を占めてゐるに反し、水上労働者は三〇歳から四五歳乃至五〇歳迄の年齢者が相當多い。そしてその最低年齢は一六歳であり、最高年齢は八〇歳である。之を年齢別に詳記すれば左の通りである。

イ、世帯主年齢調

年齢別
 一六歳以下
 一七歳
 一八歳
 一九歳
 二〇歳
 小計
 二一歳
 二二歳
 二三歳
 二四歳
 二五歳
 小計
 二六歳
 二七歳

世帯主
 一
 一
 六
 二五
 二四
 五七
 三七
 三八
 四六
 五六
 九二
 二六九
 一〇九
 一〇七

百分比
 〇・〇三
 〇・〇三
 〇・一五
 〇・六六
 〇・六四
 一・五一
 〇・九八
 一・〇〇
 一・二二
 一・四八
 二・四四
 七・一二
 二・八九
 二・八三

二八歳
 二九歳
 三〇歳
 小計
 三一歳
 三二歳
 三三歳
 三四歳
 三五歳
 小計
 三六歳
 三七歳
 三八歳
 三九歳
 四〇歳
 小計
 四一歳

一五三
 一二三
 一二二
 六一三
 一三四
 一三一
 一二七
 一三〇
 一一七
 六三九
 一三八
 一一七
 一三六
 一三六
 一三六
 一〇五
 六三二
 九六

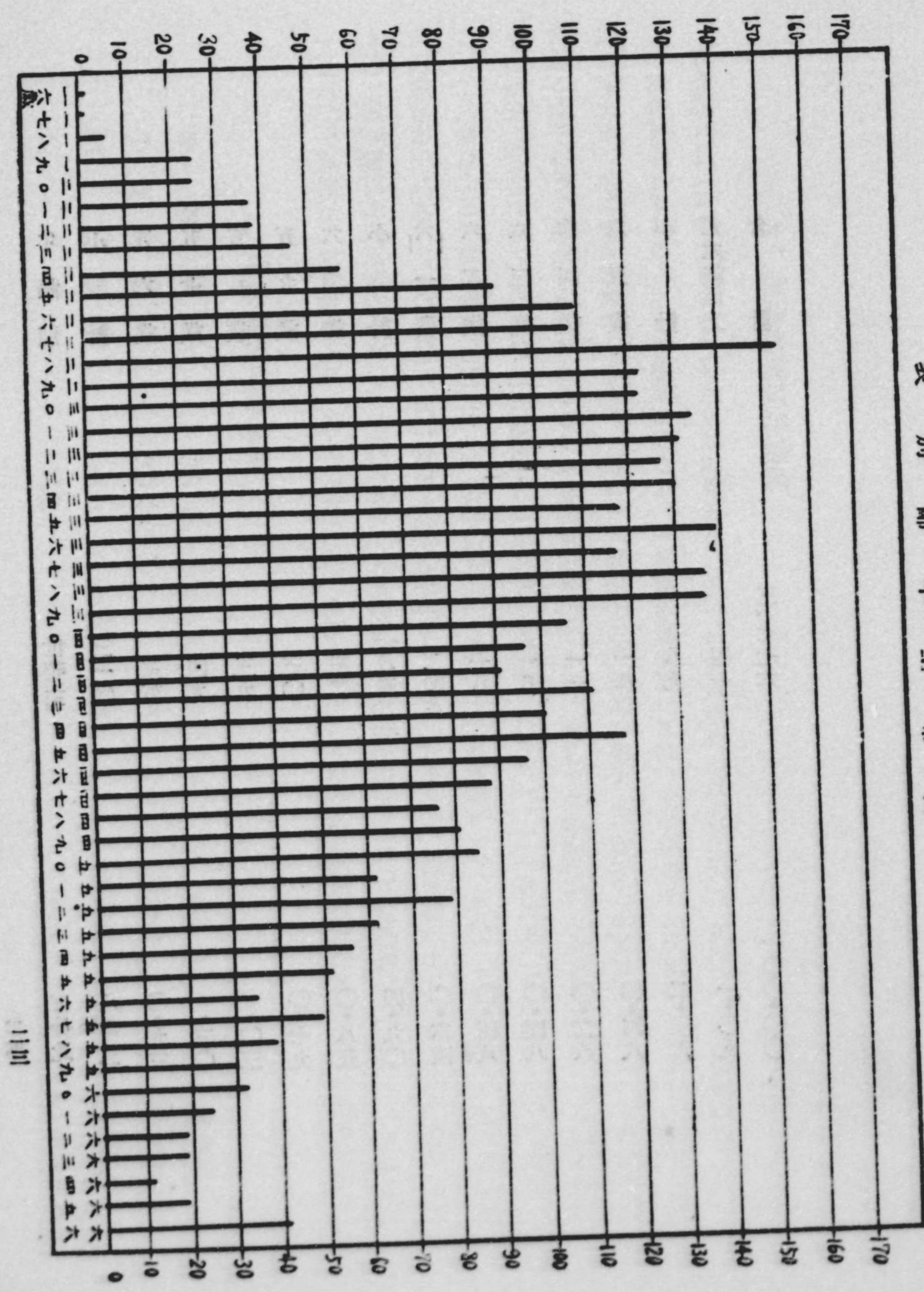
四・〇五
 三・二三
 三・二三
 一六・二三
 三・五五
 三・四七
 三・三六
 三・四四
 三・一〇
 一六・九二
 三・六五
 三・一〇
 三・六〇
 三・六〇
 二・七九
 一六・七四
 二・五四
 二二

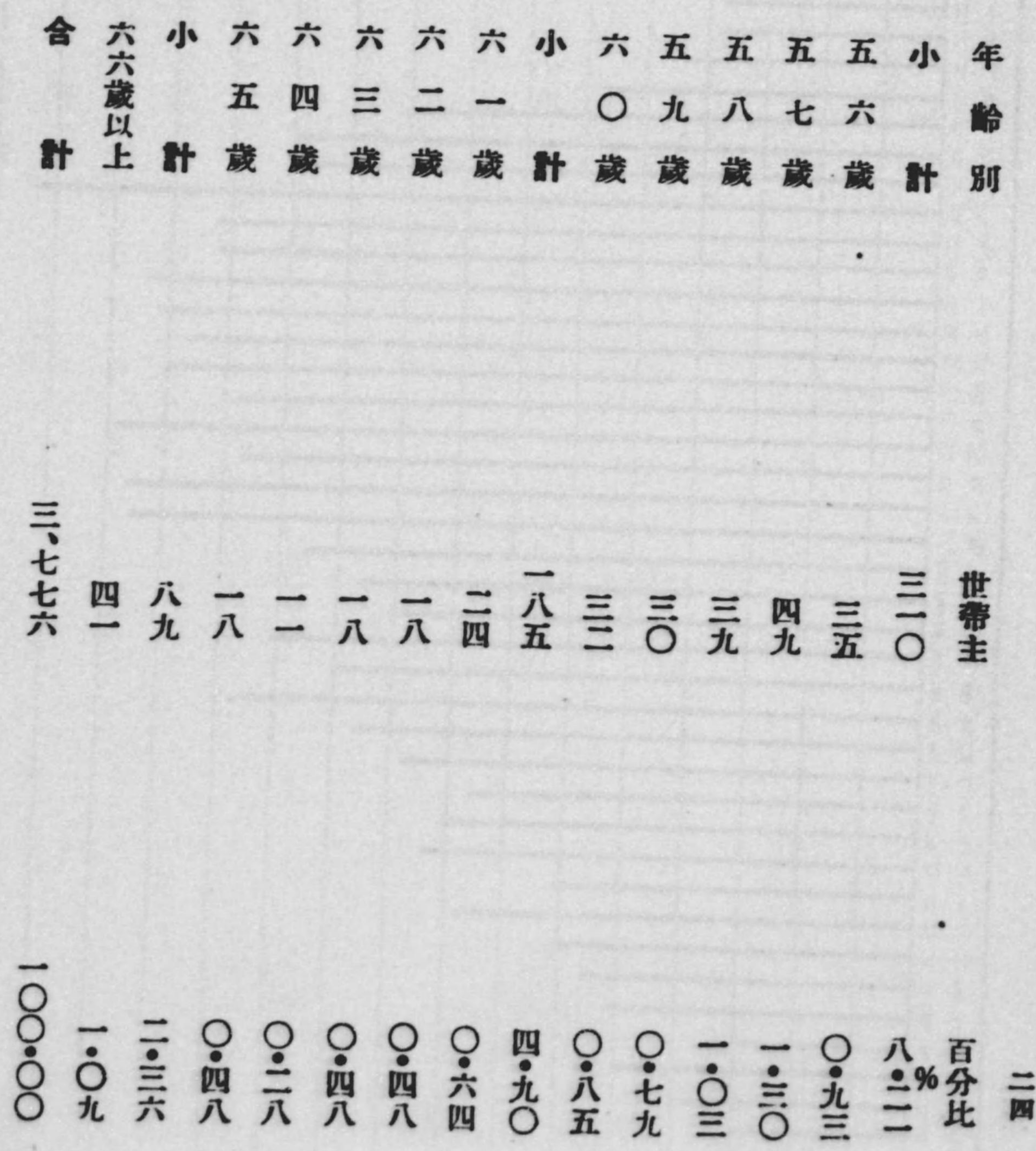
年 齡 別
 四 二 歲
 四 三 歲
 四 四 歲
 四 五 歲
 小 計
 四 六 歲
 四 七 歲
 四 八 歲
 四 九 歲
 五 〇 歲
 小 計
 五 一 歲
 五 二 歲
 五 三 歲
 五 四 歲
 五 五 歲

世 帶 主
 九 一
 一 一 一
 一 〇 〇
 一 一 七
 五 一 五
 九 六
 八 八
 七 六
 八 一
 八 五
 四 二 六
 六 二
 七 九
 六 二
 五 六
 五 一

三 二
 百 分 比
 二 〇 四 一
 二 〇 九 四
 二 〇 六 五
 三 〇 一 〇
 一 三 〇 六 四
 二 〇 五 四
 二 〇 三 三
 二 〇 〇 一
 二 〇 一 五
 二 〇 二 五
 一 一 二 二 八
 一 〇 六 四
 二 〇 〇 九
 一 〇 六 四
 一 〇 四 九
 一 〇 三 五

表 別 齡 年 主 帶 世





ロ、世帯構成員年齢調

世帯構成員(世帯主を含む)を男女別に見ると、男六、三五六總数の五七%三〇、女四、七三六總数の四二%七〇の割合を示してゐる。之を年齢別に見ると、一五歳未満に於いては、女子が男子より多率の数字を示し乍ら年齢の増大につれて女子は減少してゐる。殊に一六歳以上二〇歳迄の男子と、女子との差は激甚なもので當該年齢階級の女子は多く陸上へ出稼ぎとなることを物語るものである。而して年齢階級別に之を見ると、一五歳未満のものが三三三三三、三〇%〇五、一六歳以上二〇歳迄が七三四、六%六一、二一歳以上二五歳迄が九〇一、八%一一、二六歳以上三〇歳迄が一、三二二、一一%八四、三一歳以上三五歳迄が一、一五八、一〇%四三、三六歳以上四〇歳迄が一、〇四七、九%四三、四一歳以上四五歳迄が七九九、七%二〇、四六歳以上五〇歳迄が六五四、五%九〇、五一歳以上五五歳迄が五〇三、四%五三、五六歳以上六〇歳迄が三三六、三%〇四、六一歳以上六五歳迄が一五八、一%四三、六五歳以上が一五七、一%四二、の割合を示してゐるがその年齢別詳細は左記の通りである。

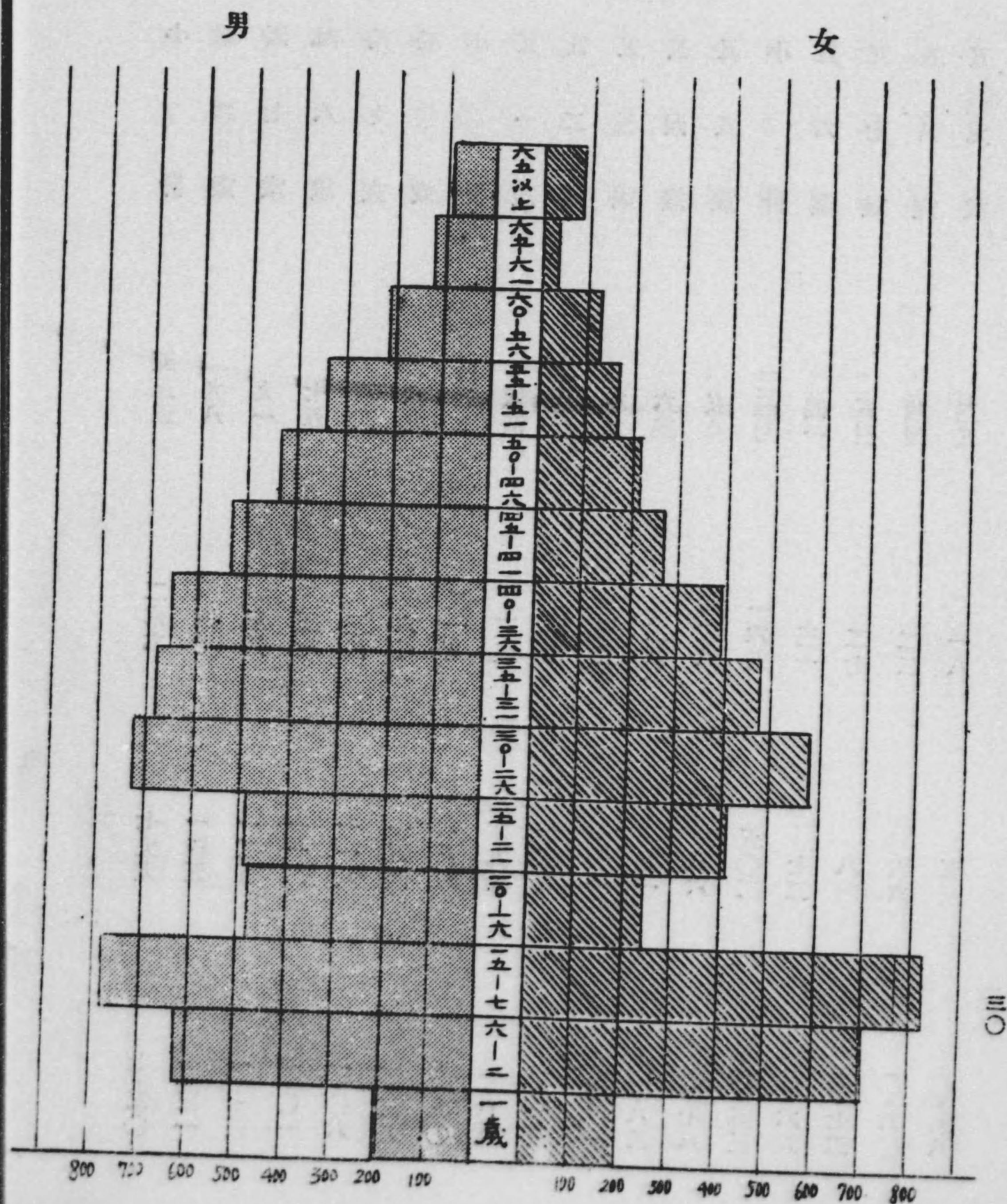
世帯構成員年齢調

| 年齢別 | 男 | 女 | 計 | 百分比 |
|------|-----|-----|-----|-------|
| 一歳未満 | 二〇六 | 二〇三 | 四〇九 | 三・六九% |
| 二歳 | 一九一 | 一八八 | 三七九 | 三・四二% |
| 三歳 | 二二四 | 一三二 | 二五六 | 二・三二% |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 三 | 小 | 三 | 二 | 二 | 二 | 二 | 小 | 二 | 二 | 二 | 二 | 二 | 小 | 二 | 一 | 一 |
| 一 | | 〇 | 九 | 八 | 七 | 六 | | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 | | 〇 | 九 | 八 |
| 歲 | 計 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 計 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 計 | 歲 | 歲 | 歲 |
| 一四六 | 七二五 | 一三五 | 一三八 | 一七六 | 一三一 | 一四五 | 四八六 | 一二一 | 九四 | 九二 | 八一 | 九八 | 四八五 | 九七 | 一二二 | 九七 |
| 一〇七 | 五八八 | 一三九 | 一一〇 | 一四一 | 七八 | 一二〇 | 四一五 | 一〇九 | 九九 | 七八 | 七七 | 五二 | 二四九 | 五三 | 五一 | 三六 |
| 二五三 | 一、三二三 | 二七四 | 二四八 | 三二七 | 二〇九 | 二六五 | 九〇一 | 二三〇 | 一九三 | 一七〇 | 一五八 | 一五〇 | 七三四 | 一五〇 | 一七三 | 一三三 |
| 二二八 | 一一八四 | 二四七 | 二二四 | 二八六 | 一八八 | 二三九 | 八一二 | 二〇七 | 一七四 | 一五三 | 一四三 | 一三五 | 六六一 | 一三五 | 一五六 | 一二〇 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|
| 一 | 一 | 小 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 九 | 八 | 七 | 小 | 六 | 五 | 四 | 年 |
| 七 | 六 | | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 | 〇 | | | | | | | 齡 |
| 歲 | 歲 | 計 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 歲 | 計 | 歲 | 歲 | 歲 | 別 |
| 七六 | 九三 | 七六七 | 五四 | 六一 | 六六 | 一〇一 | 一一二 | 八三 | 九四 | 九七 | 九九 | 六二九 | 一一二 | 九八 | 一〇四 |
| 三二 | 七七 | 八二六 | 四八 | 五六 | 八六 | 一〇三 | 一〇九 | 一〇七 | 一〇五 | 一一〇 | 一〇二 | 七〇二 | 一一九 | 一一八 | 一四五 |
| 一〇八 | 一七〇 | 一、五九三 | 一〇二 | 一一七 | 一五二 | 二〇四 | 二二一 | 一九〇 | 一九九 | 二〇七 | 二〇一 | 一、三三一 | 二三一 | 二二六 | 二四九 |
| 〇九七 | 一五三 | 一四三六 | 〇九二 | 一〇五 | 一三七 | 一八四 | 一九九 | 一七一 | 一八〇 | 一八七 | 一八一 | 一二〇〇 | 二〇八 | 一九五 | 二二四 |
| | | | | | | | | | | | | | | | 百分比 |

世帯構成年齢別調査

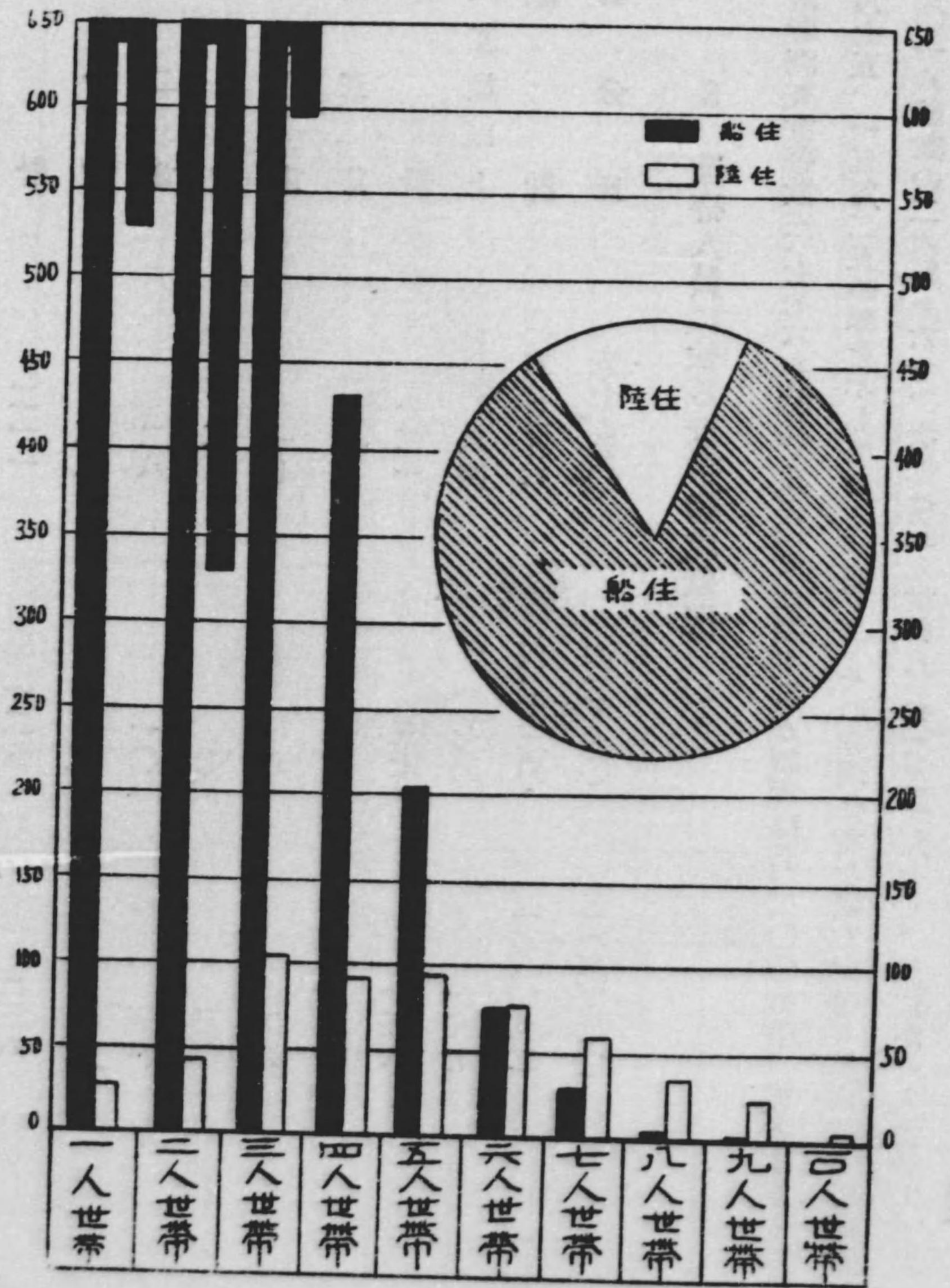


| 年齢別 | 男 | 女 | 計 | 百分比 |
|-------|-----|-----|-----|-------|
| 65歳以上 | 38 | 27 | 65 | 0.59% |
| 60-64 | 111 | 125 | 236 | 0.34% |
| 55-59 | 211 | 215 | 426 | 0.33% |
| 50-54 | 281 | 285 | 566 | 0.29% |
| 45-49 | 281 | 285 | 566 | 0.27% |
| 40-44 | 251 | 255 | 506 | 0.23% |
| 35-39 | 171 | 175 | 346 | 0.23% |
| 30-34 | 111 | 115 | 226 | 0.14% |
| 25-29 | 84 | 87 | 171 | 0.12% |
| 20-24 | 63 | 65 | 128 | 0.09% |
| 15-19 | 42 | 42 | 84 | 0.06% |
| 10-14 | 31 | 31 | 62 | 0.04% |
| 5-9 | 21 | 21 | 42 | 0.03% |
| 0-4 | 15 | 15 | 30 | 0.02% |
| 合計 | 336 | 336 | 672 | 100% |

3 世帯人員に依る世帯構成状況

水上生活者調査世帯数三、七七六を船住と陸住に分類すると前者は三二二〇世帯、後者は五七六世帯で総数に對し八四%七五、一五%二五の率を示してゐる。而してその非現住者を除く世帯人員に依る世帯数は二人世帯が最高で一、〇一八總数の二六%九六で、次位は三人世帯八二二、二一%七七、三位が一人世帯で七九七、二一%一

表 成 構 帶 世 別 員 人 帶 世



○、四位が四人世帯で五二〇、一三%七七、第五位が五人世帯で二九六、七%八四の率を占めてゐる。之を更に船住、陸住別に見ると船住に於ては第一位が二人世帯、第二位が一人世帯、第三位が三人世帯、第四

位が四人世帯、第五位が五人世帯の順位を示してゐるのに反し、陸住は第一位が三人世帯、第二位が五人世帯、第三位が四人世帯、第四位が六人世帯、第五位が七人世帯で、船住と陸住の世帯人員別による世帯は三人世帯を分岐点として前者は下向、後者は上向の状況を示してゐる。而して調査總數の一世帯當り平均人員は二・九四人、船住は二・六〇人、陸住は四・八二人の率を示し、陸住は船住に比して大家族を以て構成してゐることが解る。

世帯人員別世帯構成調

(非現住者ヲ除ク)

| 世帯人員別 | 世帯数 | 百分比 (%) | 男 (人) | 女 (人) | 計 (人) | 百分比 (%) |
|-----------|------|---------|-------|-------|-------|---------|
| 一人世帯 | 797 | 21.10 | 797 | 783 | 1580 | 7.19 |
| 二人世帯 | 1018 | 26.96 | 1253 | 1118 | 2371 | 18.36 |
| 三人世帯 | 822 | 21.77 | 1348 | 1118 | 2466 | 22.23 |
| 四人世帯 | 520 | 13.77 | 1077 | 1003 | 2080 | 18.75 |
| 五人世帯 | 296 | 7.84 | 770 | 710 | 1480 | 13.34 |
| 六人世帯 | 152 | 4.02 | 448 | 464 | 912 | 8.22 |
| 七人世帯 | 95 | 2.52 | 322 | 343 | 665 | 6.00 |
| 八人世帯 | 40 | 1.06 | 159 | 161 | 320 | 2.88 |
| 九人世帯 | 24 | 0.64 | 117 | 99 | 216 | 1.95 |
| 十人世帯 | 12 | 0.32 | 65 | 55 | 120 | 1.08 |
| 合計 | 3776 | 100.00 | 6356 | 4736 | 11092 | 100.00 |
| 一世帯當り平均人員 | | | 2.94 | | | |

同上船住者 (同上)

| 世帯人員別 | 世帯数 | 百分比 | 男 | 女 | 計 | 百分比 |
|-----------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|
| 一人世帯 | 七七〇 | 二四・〇六% | 七七〇 | — | 七七〇 | 九・二六% |
| 二人世帯 | 九七一 | 三〇・三四% | 一、二〇一 | 七四一 | 一、九四二 | 二三・三六% |
| 三人世帯 | 七〇九 | 二二・一六% | 一、一五八 | 九六九 | 二、一二七 | 二五・五八% |
| 四人世帯 | 四三二 | 一三・五〇% | 八九七 | 八三一 | 一、七二八 | 二〇・七八% |
| 五人世帯 | 二〇六 | 六・四四% | 五二一 | 五〇九 | 一、〇三〇 | 一二・三九% |
| 六人世帯 | 七五 | 二・三四% | 二〇九 | 二四一 | 四五〇 | 五・四一% |
| 七人世帯 | 三〇 | 〇・九四% | 八九 | 一一一 | 二一〇 | 二・五三% |
| 八人世帯 | 一六 | 〇・四九% | 二二 | 二六 | 四八 | 〇・五八% |
| 九人世帯 | — | — | — | — | — | — |
| 十人世帯 | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | 三、二〇〇 | 一〇〇・〇〇% | 四、八七二 | 三、四四二 | 八、三一四 | 一〇〇・〇〇% |
| 一世帯當り平均人員 | 二・六〇人 | — | — | — | — | — |

同上陸住者 (同上)

| 世帯人員別 | 世帯数 | 百分比 | 男 | 女 | 計 | 百分比 |
|-------|-----|-------|----|---|----|-------|
| 一人世帯 | 二七 | 四・六九% | 二七 | — | 二七 | 〇・九七% |

| 世帯人員別 | 世帯数 | 百分比 | 男 | 女 | 計 | 百分比 |
|-----------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|
| 二人世帯 | 四七 | 八・一六% | 五二 | 四二 | 九四 | 三・三九% |
| 三人世帯 | 一一三 | 一三・六二% | 一九〇 | 一四九 | 三三九 | 一三・二〇% |
| 四人世帯 | 八八 | 一〇・八二% | 一八〇 | 一七二 | 三五二 | 一三・六七% |
| 五人世帯 | 九〇 | 一〇・六三% | 二四九 | 二〇一 | 四五〇 | 一六・二〇% |
| 六人世帯 | 七七 | 九・六三% | 二二九 | 二二三 | 四五〇 | 一六・二〇% |
| 七人世帯 | 六五 | 八・一六% | 二二二 | 二二二 | 四五五 | 一六・六三% |
| 八人世帯 | 三四 | 四・一八% | 一三七 | 一三五 | 二七二 | 一〇・七九% |
| 九人世帯 | 二三 | 二・八八% | 一一二 | 九五 | 二〇七 | 八・二七% |
| 十人世帯 | 一二 | 一・五〇% | 六五 | 五五 | 一二〇 | 四・七四% |
| 合計 | 五七六 | 一〇〇・〇〇% | 一、四八四 | 一、二九四 | 二、七七八 | 一〇〇・〇〇% |
| 一世帯當り平均人員 | 四・八二人 | — | — | — | — | — |

4 世帯構成状況

世帯に於ける地位別に世帯構成を見るに、夫婦児の世帯が最多数で一、五九六、總数の四二・二七%を占め、第二位が獨身世帯で八七五、二三・一七%、第三位は夫婦二人世帯が七七四、二〇・五〇%の順位である。之を水陸の住居別に見ると、夫婦児の世帯は兩者共に最高率を占めてゐるが、水上居住者より、陸上居住者の方は尊卑族の世帯員、即ち直系家族の世帯員が多数であることが解る。之は水上に於ける生活即ち船住の不便と居室の狭少から来る現象に他ならぬ。

尙この現象は同居人の有無關係から見ても同一で同居人又は雇傭人を有する世帯は、總数の五・六七%を占むるに反し、船住は四・〇三%、陸上は一四・七六%の總數に對する比率で、前述の通り陸上が遙か高率である事が一目

瞭然である。

世帯構成調

| | | | | |
|--------|---------|----------------|-------|---------|
| 構成状態 | 同居人ナキ世帯 | 同居人又ハ履修人ヲ有スル世帯 | 合計 | 百分比 |
| 獨身者 | 七九七 | 七八 | 八七五 | 二二・一七% |
| 夫婦 | 七五〇 | 二四 | 七七四 | 二〇・五〇% |
| 夫婦尊卑 | 一、五三四 | 六二 | 一、五九六 | 四二・二七% |
| 夫婦尊卑族 | 五三 | 四 | 五七 | 一・五一% |
| 夫婦尊卑兒 | 一、二八 | 二四 | 一、五二 | 四・〇二% |
| 夫婦尊卑族兒 | 一四五 | 六 | 一五一 | 四・〇〇% |
| 夫婦尊卑族兒 | 二二七 | 七 | 二三四 | 三・五五% |
| 夫婦尊卑族兒 | 二四 | 九 | 三三 | 〇・八七% |
| 其他 | 四 | 一 | 五 | 〇・〇一% |
| 合計 | 三、五六二 | 二一四 | 三、七七六 | 一〇〇・〇〇% |
| 百分比 | 九四・三三 | 五・六七 | | |

同上船住者

| | | | | |
|------|---------|----------------|-----|--------|
| 構成状態 | 同居人ナキ世帯 | 同居人又ハ履修人ヲ有スル世帯 | 小計 | 百分比 |
| 獨身者 | 七七〇 | 七三 | 八四三 | 二六・三四% |

同上陸住者

| | | | | |
|--------|---------|----------------|-------|---------|
| 構成状態 | 同居人ナキ世帯 | 同居人又ハ履修人ヲ有スル世帯 | 小計 | 百分比 |
| 夫婦 | 七二二 | 一八 | 七三〇 | 二二・八一% |
| 夫婦尊卑 | 一、二五〇 | 二二 | 一二七二 | 三九・七五% |
| 夫婦尊卑族 | 三三 | 三 | 三六 | 一・一三% |
| 夫婦尊卑族兒 | 四九 | 四 | 五三 | 一・六六% |
| 夫婦尊卑族兒 | 一四〇 | 三 | 一四三 | 四・五六% |
| 夫婦尊卑族兒 | 一〇一 | 一 | 一〇二 | 三・二五% |
| 夫婦尊卑族兒 | 一三 | 一 | 一四 | 〇・四一% |
| 其他 | 三 | 一 | 四 | 〇・〇九% |
| 合計 | 三、〇七一 | 二九 | 三、三〇〇 | 一〇〇・〇〇% |
| 百分比 | 九五・九七 | 四・〇三 | | |

| | | | | |
|--------|---------|----------------|-----|---------|
| 構成状態 | 同居人ナキ世帯 | 同居人又ハ履修人ヲ有スル世帯 | 小計 | 百分比 |
| 獨身者 | 二七 | 五 | 三二 | 五・五六% |
| 夫婦 | 三八 | 六 | 四四 | 七・六四% |
| 夫婦尊卑 | 二八四 | 四〇 | 三二四 | 五六・二四% |
| 夫婦尊卑族 | 二〇 | 一 | 二一 | 三・六五% |
| 夫婦尊卑族兒 | 七九 | 一〇 | 八九 | 一七・一九% |
| 夫婦尊卑族兒 | 二六 | 一 | 二七 | 〇・八七% |
| 夫婦尊卑族兒 | 一 | 一 | 二 | 〇・〇七% |
| 其他 | 一 | 一 | 二 | 〇・〇七% |
| 合計 | 一一一 | 九四 | 二〇五 | 一〇〇・〇〇% |
| 百分比 | 一一・一七 | 四六・三二 | | |

構成状態
百分比計

同居人
ナキ世帯
四九一
八五・二四%

同居人又ハ雇傭
人ヲ有スル世帯
八五
一四・七六%

小計
五七六
一〇〇・〇〇%

百分比
一〇〇・〇〇%

四、雇傭制度並びに労働状態概観

四、雇傭制度並びに労働状態概観

1 船の所有関係

一般的に水上労働者と稱しても、労働の主要物たる船舶の所有関係に依つて雇傭の制度若しくは労働状態に顯著な相異を来たすもので、従つてその労働所得の如きも相當複雑に之に支配される状態である。

本調査船舶三、七七六の中、水上労働者自身の所有船は八四三（二二%三三）で、回漕店（會社、問屋、店とも稱してゐる）所有の船舶は二、九三三（七七%六七）である。自己所有船の約八割は、主として糞尿若しくは其の他の肥料を運搬するもので陸上に一定の住居を有する農夫が農作物に利用するため糞尿を運搬するものと、専ら糞尿を販賣する目的の下に汲取り、運搬に用ひるものがその主なるものである。

而して、他の二割は、所謂『風來船』で一定の雇主と、一定の運搬物を有せず、その日々異つた雇主にありつく自營船であるが、最近の如き不況時に際しては、全く此の種の風來船の存在は實際に於て絶無と云つても良い程で、大概は數軒の固定的な取引回漕店と雇傭関係を有してゐる。尤もその労働所得即ち歩合の點は借船に比較して有利であるのは云ふまでもないが、之は好況時の事で不況時に於ては出荷の小量と修繕費、公課等の爲め反つて不利な立場にあるものが多い。

目下府下に於ける船舶回漕店の數は約一〇〇に達する状態で、その營業種目は、一般貨物運搬、砂利、土砂の採取、運搬、砂利、土砂の採取販賣、及び少數の糞尿運搬等がその主なるものである。勿論汽機船、汽帆船等を

多く所有する大回漕店もあるが、本調査の對象とするものは沿海及び河川を上下する小船舶であるため、従つて營業種目も以上の如きものに局限せらるゝのである。いま調査船舶一、〇五〇を噸數階級に依つて大小を見るに左の通りである。

| 噸數別 | 船數 | 百分比% |
|--------|-------|--------|
| 一〇噸未満 | 七 | 〇・六七 |
| 三〇噸未満 | 二四七 | 二三・五二 |
| 五〇噸未満 | 二九四 | 二八・〇〇 |
| 七〇噸未満 | 一〇九 | 一〇・三八 |
| 九〇噸未満 | 九九 | 九・四三 |
| 一〇〇噸未満 | 一〇八 | 一〇・二八 |
| 一三〇噸未満 | 一一六 | 一一・〇五 |
| 一五〇噸未満 | 六二 | 五・九〇 |
| 一七〇噸未満 | 四 | 〇・三八 |
| 一九〇噸未満 | 一 | 〇・一〇 |
| 石數船 | 三 | 〇・二九 |
| 合計 | 一、〇五〇 | 一〇〇・〇〇 |

船の大小は、労働賃銀即ち以下述ぶる處の仕込制度、又は歩合の率に大なる影響を及ぼすことは、船の所有と否とに依りて所得の率に相異を見るの同一理由をなすものである。だがその所得の總額より見て、船舶所有者の自營勞務者は決して凡ての有利な條件を具備してゐるものと斷言することは出来ない。何故ならば船の買入價格と修繕費を收入に比較する時は寧ろ回漕店に從屬する勞務者の方が遙かに有利であらう。

現在に於ける船の價格はその型と種類に依つて相違するが、大體新造船ならば一噸三〇圓乃至五〇圓の相場であり、附屬船具費は三百圓乃至五百圓である。

又普通新造船は使用後二三年を経れば毎年多少の修繕と、船具の手入れをなし、八九年後に於ては大修繕の必要を認めるもので、小修繕は一ヶ月平均七、八圓の費用を要し、大修繕は船價の三分の一を要するから、その修繕費たるや莫大なるものである。

而して船の生命は三〇年乃至四〇年見當で、四〇年後は廢船として使用に適しない。

2 雇傭關係

以上述べたやうに、本調査に於ける船舶の約七割八歩は回漕店即ち業務者に從屬する勞務者であり、二割二歩強が自營の所有船勞務者である。之を嚴密に云へば、業務者に固定的に從屬する勞務者、業務者と雇傭關係にある勞務者、自營の勞務者の三つの分類を見ることが出来る。然らば上記三者の雇傭制度並に所得關係は如何なる状態であるか。

イ、仕込制度

仕込制度とは、業務者がその回漕店に常時從屬せる勞務者に對して一定の前貸しを爲す意味のものであるが、好景氣に恵まれ、勞務者の収入が莫大なる場合は、業務者が勞務者に對して一定限の金額以外に支拂ひを保留する不文律的契約制度である。

この制度は舊幕府時代よりの遺習であるが、殊に之が確立し、いよ／＼全盛となつたのは歐洲大戰後に於ける好景氣時代である。舊幕府時代に於けるこの制度の主眼とする處は業務者が勞務者に對する溫情的、恩惠的乃至親方乾分の親誼の現れとして、出帆前親方は船頭の爲めに米、鹽等の食料品を始め、其他の生活必需品を前貸して彼等の生活上の不便を未然に防備したことが始りである。

更に、具體的に之を詳論すれば左の通りである。

『A回漕店に從屬する勞務者Bは、A所有の船舶に居住し、Aの指圖に從つて物貨運搬に従事する勞務者である。AとBとの間には六〇圓を限度とする不文律的契約の下に雇傭關係を結んだ。Bは好景氣に恵まれ出荷多量のため毎月八〇圓の収益を得るけれども、AのBに支給する實際の金額は仕込契約額六〇圓である。之に反しBは不景氣の爲め毎月四〇圓の収益しかないが、が必要とするならば已に自分の業務者に預けた金額以上においても毎月六〇圓限度の金額前借をAに請求することが可能である。』

以上の様な状態で、歐洲大戰後の如き好景氣時代に於ては出荷豊富に恵まれ、業務者は勞務者の仕込額限度に剩餘する金錢を保管した事實もある。

けれ共現今の如く陸上に於ける運輸交通機關が急速に發達したため、又一般的不況のため出荷僅少の影響に依り勞務者は已定の仕込額に達する所得を得る者は稀れで、最近に於ける仕込關係は勞務者の前借り制度と解釋す

るのが當然で、貸置きの場合は皆無の状態である。それにより最近に於て破産、閉業の状態に墜入つた業務者も尠くない許りか、労働争議が頻發する状態である。

然らば定期仕込ほどの程度の金額のものが多数を占めてゐるか。之を五圓おきに見れば左に示す通りであるが三〇圓以上より三五圓迄が最高で總數の二一%六三、四〇圓以上より四五圓迄が一四%九五、五〇圓以上より五五圓迄が三%一九、三五圓以上より四〇圓迄が九%八五、四五圓以上より五〇圓迄が九%二三の順位を示してゐる。之に依ると定期仕込契約額は三〇圓以上より五五圓迄の階級に多數ある事が解るのである。

定期仕込金額階級調

| 金額階級別 | 世帯數 | 百分比 |
|---------|-----|-------|
| 二〇圓 未滿 | 四四 | 三・八七 |
| 二〇圓—二五圓 | 六九 | 六・〇七 |
| 二五圓—三〇圓 | 八八 | 七・七四 |
| 三〇圓—三五圓 | 二四六 | 二一・六三 |
| 三五圓—四〇圓 | 一一二 | 九・八五 |
| 四〇圓—四五圓 | 一七〇 | 一四・九五 |
| 四五圓—五〇圓 | 一〇五 | 九・二三 |
| 五〇圓—五五圓 | 一五〇 | 一三・一九 |

| | | |
|---------|-------|--------|
| 五五圓—六〇圓 | 五〇 | 四・四〇 |
| 六〇圓—六五圓 | 六〇 | 五・二八 |
| 六五圓—七〇圓 | 四〇 | 三・五二 |
| 七〇圓—七五圓 | 一 | 〇・〇九 |
| 七五圓—八〇圓 | 二 | 〇・一八 |
| 合計 | 一、一三七 | 一〇〇・〇〇 |

ロ、仕込の種類と其他の所得制度

水上労働者の主なる所得制度は仕込制度であるが、仕込制度にも『定期仕込』『積仕込』の二種があり、他に『出来高勘定』『給料』『自營』の三種類がある。

前項に於て述べた仕込制度は『定期仕込』に該當するもので、労働者が業務者より受くる仕込金は、普通毎月五日、十五日、二十五日の三回に分けて支給を受くる場合が多いが『積仕込』は『定期仕込』と異り、積載貨物の種類と、量により、運搬契約度毎に仕込額の變異を來し、仕込金も一航行毎に航行前に於てその何割かの支給を前受けし、残額は歸航後に授受が行はれる。而して定期仕込が業務者と從屬的關係にある労働者に多數あるに反し、積仕込は業務者と雇傭關係にある労働者に多い。前記風來船の固定的取引先とは斯かる雇傭關係の場合を云ふものである。

『出来高勘定』は、自營労働者及び風來船の多く採る制度で雇主、航路、積載貨物種類、量の如きも一定せず、

行き當りばつたり雇主を見付け兩者の協定に依り運賃を決定する方法である。

『給料』は、多く回漕店に非ず、官公署、三菱、三井、住友の様な大倉庫所屬、若しくは石炭運搬船に所屬する勞務者が固定的一定の給料制度に依つて働く者を云ふが、この制度は最も近代的な勞賃方法であり、航行時間、勞務、勞力等も他に比して恵まれてゐる様である。

本調査に依ると左の通りの種類別所得方法が見られる。

| | | |
|--------------|-------|---------|
| 定期仕込 | 一、四八〇 | 四六・三一% |
| 積仕込 | 六九九 | 二一・八七% |
| 出來高勘定 | 二三七 | 七・四二% |
| 給料 | 七八〇 | 二四・四〇% |
| 計 | 三、一九六 | 一〇〇・〇〇% |
| 仕込其他の制度に依るもの | 三、一九六 | 八四・六四% |
| 自營(仕込なきもの) | 五八〇 | 一五・三六% |
| 計 | 三、七七六 | 一〇〇・〇〇% |

以上に依ると、雇傭關係即ち廣範な意味に於ける仕込其他の制度に基くものは、總數の八四%六四の多率を占め、自營のものは僅か一五%三六を占めてゐる状態である。而して仕込其他の制度によるものは定期仕込が絶對多率で總數の四六%三一、給料が二四%四〇、積仕込が二一%八七、出來高勘定が七%四二の順位を示してゐる。

ハ、歩合制度

水上労働者の勞働賃銀は歩合制度に依つて決定されるものであるが、歩合制度は獨立せず前述仕込制度には必ず歩合制が附随してゐる。『歩合』とは航行に先立ち貨物運搬料を業務者(回漕業者)及び勞務者が仕込額契約の實際附隨條件として決定した率に應じて配當を受ける標準の規定で『定期仕込』には必ず一定の歩合率が已に兩者の間に決定されてゐる。而して『積仕込』『出來高勘定』等の如きは、その都度歩合を決定して航行に就く場合が多い。定期仕込は、業務者所有に係る船舶を居住並びに使用に供して居り、その勞務の關係も業務者と從屬關係にあるため、定期仕込者の業務者に配當する歩合額には船舶使用料も同時に含入してゐるものと考へられ、従つてその率も積仕込者よりは業務者の方が有利に見られる。

仕込並びに歩合の關係を例記せば左の通りである。

「A回漕店に定期仕込として從屬せるBは、月額六〇圓が仕込限度で、Aは四分Bは六分の歩合契約である。
BはAの指圖に従ひ一往復(一杯と云ふ)五〇圓の貨物運搬を、本月三回行つたとすれば、本月中に於けるAの収入は六〇圓であり、Bの収入は九〇圓に該當する。けれども本月中AがBに支給する金額は仕込限度額即ち、六〇圓であり、殘餘三〇圓はAの保管となる。」

『甲回漕店に定期仕込として從屬せる乙は、月額八〇圓の仕込、五分(甲)五分(乙)の歩合契約で、本月中四〇圓の積込荷を二往復行つた。本月の収入は甲四〇圓、乙四〇圓となるが、乙が必要のため請求すれば甲は仕込契約額八〇圓を乙に支拂ふ義務がある。四〇圓は、乙の甲に對する前借となる。』

以上は定期仕込の一例に過ぎないが、『積仕込』の歩合は航行都度積載貨物と量に應じて歩合を協定するものであるが、之も大體に於て固定的雇傭關係の立場を免れないので、勞務者困窮の場合は、多少の前借をなしても差支ひがないやうである。

然らば、歩合は如何なる率を以て行はれてゐるか。歩合の率は船舶の噸級、貨物積載量、航路等により分配されることもあるが、本調査による定期仕込一、〇五〇世帯の歩合率は四分六、即ち、業務者が四分、勞務者が六分のもが絶對多數で五〇三、總數の四七％九〇、五分五分が四三四、總數の四一％三三で、殆どこの兩者に定つてゐると見てもよゝ。

歩合率調

| 業務者 | 勞務者 | 世帯數 | 百分比 |
|---------|---------|-----|-------|
| 二 歩 | 八 歩 | 四 | 〇・三八 |
| 三 歩 | 七 歩 | 三八 | 三・六二 |
| 三 歩 五 厘 | 六 歩 五 厘 | 一 | 〇・〇九 |
| 四 歩 | 六 歩 | 五〇三 | 四七・九〇 |
| 四 歩 二 厘 | 五 歩 八 厘 | 七 | 〇・六七 |
| 四 歩 三 厘 | 五 歩 七 厘 | 一 | 〇・〇九 |
| 四 歩 四 厘 | 五 歩 六 厘 | 一 | 〇・一〇 |

| | | | |
|-------------|-------------|-------|--------|
| 四 歩 五 厘 | 五 歩 五 厘 | 五五 | 五・二四 |
| 四 歩 七 厘 | 五 歩 三 厘 | 三 | 〇・二九 |
| 四 歩 七 厘 五 毛 | 五 歩 二 厘 五 毛 | 一 | 〇・〇九 |
| 四 歩 八 厘 | 五 歩 二 厘 | 一 | 〇・一〇 |
| 五 歩 | 五 歩 | 四三四 | 四一・三三 |
| 六 歩 七 厘 | 三 歩 三 厘 | 一 | 〇・一〇 |
| 合 計 | | 一、〇五〇 | 一〇〇・〇〇 |

3 勞資關係と負債問題

仕込制度下にある水上勞働者は、多少の貯金、若しくは財産を所有してゐるものもないではないが、その大部分は業務者に負債を有つてゐると云つても過言ではなからう。この關係を勞務者に言はしめれば親方の方から仕事をなさぬ爲で自分の責任ではないと稱し、業務者側は不況の影響で出荷少量のため所定仕込額まで働く勞務者は皆無であると稱してゐる。茲に最近に於ける仕込制度の悲哀がある。好況時に於て業務者は自らこの制度を奨勵し、仕込額及び歩合率も勞務者の要求に順應したものが、近時不況に直面して勞務者は借り得る範圍に於ては借りる外、他に生活方法がない爲め、多額の負債を持たねばならぬ運命に墜入つてゐる。そして水上に於ける勞務者はその従屬せる業務者より前借りした負債は、窮極に於て業務者より指圖されて就勞する歩合の所得金をおいて他に返済する方法も手段もない状態である。この意味において水上勞働者は親方に生活を保障されてゐるの

が事實であるが、この関係は業務者の事業を萎縮乃至閉止に至らしむる主因となり従つて勞資の軋轢、争議の緒となるのである。

五〇

昭和五年中労働争議發生調

(東京水上警察署調)

| 罷 怠 業 別 | 解雇反對 | 待遇改善要求 | 給料不拂 | 計 |
|------------------|------|--------|------|----|
| 罷怠業 | 八 | 八 | 一 | 一七 |
| 罷怠業ニ至ラザルモノ | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 合 計 | 一五 | 一八 | 一 | 二五 |
| | | 二七 | | 四三 |

昭和六年中 同上

(同上)

| 罷 怠 業 別 | 解雇反對 | 待遇改善要求 | 解雇手當要求 | 仕込金引下反對 | 運賃引下反對 | 給料減對 | 轉勤反對 | 給料不拂 | 計 |
|------------------|------|--------|--------|---------|--------|------|------|------|----|
| 罷怠業 | 二 | 二 | 三 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 | 二一 |
| 罷怠業ニ至ラザルモノ | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 |
| 合 計 | 一五 | 四 | 二 | 三 | 一 | 一 | 一 | 二 | 二二 |
| | | 七 | 五 | 四 | 一 | 一 | 一 | 二 | 三六 |

昭和七年 同上

(昭和七年十一月十日現在調)

| 罷 怠 業 別 | 解雇反對 | 待遇改善要求 | 解雇手當要求 | 仕込金引下反對 | 給料減對 | 減員反對 | 給料不拂 | 計 |
|------------------|------|--------|--------|---------|------|------|------|----|
| 罷怠業 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二 |
| 罷怠業ニ至ラザルモノ | 九 | 五 | 一 | 四 | 二 | 一 | 一 | 二三 |
| 合 計 | 一一 | 五 | 二 | 四 | 三 | 一 | 一 | 二七 |

以上の数字に依ると争議件数は累年減少の傾向を示してゐるが、その参加人員数は増加してゐる様である。而して争議發生の理由に就て嚴密に批判を下せば、要するに水上に於ける勞資兩階級の對立抗争は、兩者それ自體の社會的、經濟的自滅を客觀的に物語る以外の何者でもない。換言すれば水上運輸に携る勞資兩階級の、共に生動的脅威を受けねばならぬ社會的凡ての條件が備つてゐるからであらう。如何なる理由と原因が争議を發生せしめた動機であれ、その争議の經過は、結局兩者妥協の解決を以て他に方法のないのが現今に於ける水上運輸業者共同の時代的悩みではなからうか。

現在府下に於ける水上労働者の階級的立場に於ける労働組合は『日本運輸労働組合』『労働クラブ排撃同盟』『京濱船夫組合』『東京海友同志會』等があり組織總人員は二、〇〇〇名内外である。

尙本調査に於ける水上労働者の業務者に對する負債額を見ると、左に示す通りで一〇〇圓未満が最高で一〇〇圓以上三〇〇圓未満の順位である。而して二、〇〇〇圓以上の多額の者も相當多數あるのは殊に目立つものであ

負債調

| 金額 | 世帯数 | 百分比 |
|---------|-------|--------|
| 五〇圓未満 | 三八 | 一・〇一% |
| 一〇〇圓未満 | 四〇二 | 一〇・六五 |
| 三〇〇圓未満 | 三三三 | 八・八二 |
| 五〇〇圓未満 | 八九 | 二・三六 |
| 七〇〇圓未満 | 一八 | 〇・四八 |
| 一〇〇〇圓未満 | 一五 | 〇・四〇 |
| 一五〇〇圓未満 | 一〇 | 〇・二六 |
| 二〇〇〇圓未満 | 二 | 〇・〇五 |
| 二〇〇〇圓以上 | 四 | 〇・一〇 |
| 自營 | 八四三 | 二二・三二 |
| 調査不明 | 二、〇二二 | 五三・五五 |
| 合計 | 三、七七六 | 一〇〇・〇〇 |

4 現在の職業及び以前の職業経験

水上生活者の職業と云へば運搬業を離れて他にないと云つても良い程で、少数の土砂採取販賣業、若しくは日用品の行商が行はれてゐるが、後者はその多くは陸上に居住を有する關係上嚴密に云へば本調査が主眼とした意味に於ては水上生活者の職業であるとは云ひ難い。勿論運搬業と云つても種々雑多でその數計上し難いが、之を大體に分類すれば食料品類、諸原料品類、機械器具藥品燃料類、古物肥料屑類の運搬並びに、土砂採取品販賣、日用品行商等で、船舶をその勞務の道具に供してゐることは云ふまでもない。

水上勞働者の陸上勞働者との職業的勞作の相異點は大體以上の通りであるが、同一運搬業を営む勞働の中にも二様の勞務状態を見出すことが出来る。即ち荷役の有るもの及び荷役のないものがそれである。

荷役と云つてもその實際的方面に依つて種々相異があるが、運搬以外の勞務即ち積載貨物の積込み、荷揚げには直接關係がないものと、貨物の積込みから運搬、荷揚げまでの勞務を擔當してゐるものがある。尙糞尿船の如く採取、積込み、荷揚げ、販賣又は處分迄を同一人の手で行はねばならぬ場合もあるが、荷役の有無關係は前項に於て述べた仕込歩合率等に相當の影響を及ぼすことは云ふ迄もない。

荷役の關係は上述の通りであるが、陸上勞働と異るいま一つの點を要記せば、即ち、勞務者使用の船舶の獨漕航行能力の有無がそれである。本調査によると、調査總數三、七七六の中二、二四〇、五九%三二が獨漕能力の有るもの、即ち自力により航行が可能のもので、他力即ち他の船舶の曳引力に依つて航行するものが一、五三六、四〇%六八である。之等の關係は水上勞働者の雇傭、勞働、所得の上に重大なる關係を有するものと見なければならぬ。

本調査に於ける現在の職業狀況並に荷役の有無、獨漕力の有無關係を示せば左の通りである。

| 古鋸木 コ ン ク リ ー ト 屑 | 鐵石 炭 ガ | 塵 芥 粕 | 給 キ | 魚 糠 肥 | 馬 カ 肥 | 人 糞 料 | 豆 尿 粕 | 硫 酸 品 | 機 械 品 | 磨 砂 | 陶 器 | 小 計 |
|--|--------------|-------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|--------|
| 1 | 7 | 3 | 7 | 5 | 1 | 1 | 1 | 4 | 7 | 1 | 2 | 28 |
| 1 | 4 | 3 | 2 | 7 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 1 | 1 | 15 |
| 1 | 2 | 6 | 9 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | 5 | 7 | 1 | 39 |
| 1 | 1 | 1 | 7 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 16 |
| 1 | 1 | 1 | 4 | 3 | 8 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 24 |
| 1 | 1 | 1 | 3 | 7 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 23 |
| 1 | 7 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 28 |
| 1 | 1 | 5 | 1 | 7 | 5 | 5 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 25 |
| 1 | 1 | 3 | 1 | 7 | 6 | 3 | 1 | 4 | 3 | 1 | 1 | 32 |
| 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

ニ、古物肥料屑類

| 豆 尿 粕 | 糞 料 | 馬 カ 肥 | 魚 糠 肥 | 給 キ | 塵 芥 粕 | 鐵 石 炭 | 古 鋸 木 | 硫 酸 品 | 機 械 品 | 磨 砂 | 陶 器 | 小 計 |
|-------------|--------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|--------|--------|
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

五七

| 石炭及 コークス | 薪 炭 | 小 製 油 | 魚 子 | 硝 子 | ア ス フ ア ル ト | ゴ ム | 綿 布 | 竹 紙 | 石 灰 | ソ ダ | カ キ | 荒 田 | 泥 土 | 土 砂 | 土 砂 | 残 土 | 職 業 別 |
|-------------|--------|-------------|--------|--------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|
| 1 | 8 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 自力 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 他力 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 小計 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 自力 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 他力 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 小計 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 自力小計 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 他力小計 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 合計 |
| 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 百分比 |

五六

| 職業別 | 荷役アリ | | | 荷役ナシ | | | 合計 | | | 百分比 |
|---------|------|----|----|------|----|----|------|------|----|------|
| | 自力 | 他力 | 小計 | 自力 | 他力 | 小計 | 自力小計 | 他力小計 | 合計 | |
| 其他 | 三三 | 二二 | 五五 | 一五 | 五 | 二〇 | 三三 | 二二 | 五五 | 一〇・三 |
| 糞尿 | 二二 | 二二 | 四四 | 一五 | 一 | 一六 | 三〇 | 二二 | 五二 | 〇・四 |
| 薪炭 | 二二 | 二二 | 四四 | 一五 | 一 | 一六 | 三〇 | 二二 | 五二 | 〇・四 |
| 石炭(販賣) | 一七 | 一七 | 三四 | 一五 | 一 | 一六 | 三〇 | 二二 | 五二 | 〇・四 |
| 残土(販賣) | 七 | 七 | 一四 | 一五 | 一 | 一六 | 三〇 | 二二 | 五二 | 〇・四 |
| 糞尿 | 九 | 九 | 一八 | 一五 | 一 | 一六 | 三〇 | 二二 | 五二 | 〇・四 |
| 砂(販賣採取) | 九 | 九 | 一八 | 一五 | 一 | 一六 | 三〇 | 二二 | 五二 | 〇・四 |
| 其他 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇八 |
| 曳船 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 飲食店 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 燃料拾 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 漁師 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 水上人 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 陸上人 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 船番 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 魚河岸人 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 船大工 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 機手 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 潜水物 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |
| 古物商 | 一 | 一 | 二 | 一 | 一 | 二 | 二 | 二 | 四 | 〇・〇三 |

| 職業別 | 合計 | 百分比 |
|-----|------|--------|
| 石炭拾 | 二 | 〇・〇五 |
| ブリ | 二 | 〇・〇五 |
| 高力職 | 二 | 〇・〇五 |
| 車頭 | 二 | 〇・〇五 |
| 釣船 | 三 | 〇・〇八 |
| 其他 | 九 | 一・一七 |
| 合計 | 一、〇九 | 一〇〇・〇〇 |

次に、上記現在職業に従事してゐるもの、以前の職業に就て調査するに三、七七六の中二、六一三即ち、總数の六九%二〇が前職を有たざるもので一、一六三、三〇%八〇が左記の職業に従事した経験を有するものである。之に依ると總数の約七割は水上に於て出生し、引き続き水上の勞働に従事してゐることを物語るもので、水上生活者の子は矢張り水上を離脱出来ぬものと見へる。

以前の職業は左に掲げる通りであるが、之を大別すると農林業方面が三九三、一〇%四一、物品販賣業方面が八八、二%三三、交通運搬業方面が一、〇%二九、職工職人方面が八二、二%一七、公務自由業方面が一、一%六二、一般自由勞働方面が五二八、一三%九八、前職なしが二、六一三、六九%二〇である。

以前の職業調

| 職業大別 | 職業名 | 人員數 | 百分比 |
|----------|-----|-----|-------|
| 一、農林漁業方面 | 農業 | 三九一 | 一〇・三六 |

職業大別

二、物品販賣業方面

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|------|
| 自轉車商 | 製紙原料商 | 材木商 | 鐵物商 | 機械商 | 文房具商 | 青物商 | 魚類商 | 菓菓子商 | 煙草商 | 酒類商 | 雜貨商 | 薪炭商 | 米穀商 | 小計 | 農業及漁業名 | 人員數 | 百分比 |
| 一 | 一七 | 一 | 一 | 一 | 一〇 | 一〇 | 一 | 一 | 四 | 七 | 五 | 三 | 三 | 三九三 | 二 | 一〇四 | 〇〇五% |
| 〇〇三 | 〇〇三 | 〇一九 | 〇〇三 | 〇〇三 | 〇二六 | 〇二六 | 〇〇三 | 〇〇三 | 〇〇一 | 〇一九 | 〇〇三 | 〇〇八 | 〇〇八 | 一〇四 | 〇〇五 | | |

三、交通運搬業方面

四、職工職人方面

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|
| 製絲工 | 製材工 | 製紙工 | 小計 | 回漕業 | 運送業 | 小計 | 商行 | 食料店 | 飲食品店 | 土砂商 | 乾物商 | 竹材商 | 下駄商 | 石材商 | 海產物商 | 人員數 | 百分比 | |
| 四 | 四 | 一 | 一二 | 三 | 八 | 八 | 八 | 四 | 二 | 九 | 一 | 一 | 三 | 一 | 一 | 五 | 三九三 | 〇〇五% |
| 〇二一 | 〇二一 | 〇〇三 | 〇二九 | 〇〇八 | 〇二一 | 二二 | 〇二一 | 〇〇一 | 〇〇五 | 〇二四 | 〇〇三 | 〇〇三 | 〇〇八 | 〇〇三 | 〇〇三 | 〇二一 | 〇〇五 | |

職業大別

| 職業名 | 人員數 | 百分比 |
|--------|-----|------|
| 鐵道従業員 | 1 | 0.03 |
| 小使 | 1 | 0.03 |
| 小商店員 | 1 | 0.03 |
| 店員 | 15 | 0.40 |
| 奉公員 | 11 | 0.29 |
| 家事手 | 1 | 0.03 |
| 番頭 | 1 | 0.03 |
| 船舶従業員 | 8 | 0.21 |
| 自動車乗務員 | 3 | 0.08 |
| 小計 | 61 | 1.62 |
| 筏師 | 3 | 0.08 |
| 獵師 | 3 | 0.08 |
| 漁師 | 153 | 4.05 |
| 仲仕 | 1 | 0.03 |
| 船頭 | 226 | 5.99 |
| 馬方 | 1 | 0.03 |

六、一般自由労働方面

六六

5. 就労日數及び航行時間

| 七、前職ナシ | 倉方 | 潜水夫 | 水夫 | 舟夫 | 人工夫 | 人夫 | 掃除夫 | 小計 | 合計 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|-------|---------|
| | 1 | 1 | 4 | 0 | 3 | 8 | 1 | 528 | 3,776 |
| | 0.03 | 0.03 | 0.37 | 0.06 | 0.08 | 2.15 | 0.03 | 139.8 | 1,000.0 |
| | 1 | 1 | 4 | 0 | 3 | 8 | 1 | 528 | 3,776 |
| | 0.03 | 0.03 | 0.37 | 0.06 | 0.08 | 2.15 | 0.03 | 139.8 | 1,000.0 |

水上労働者の就労日數及び航行時間は極めて不規則的なものである。積載貨物の積込み、荷揚げの關係と、干満風雨、航路の關係等は直接その就労日數及び航行時間に影響を及ぼすものであるが、所属回漕店に托送荷物のない場合は、何時迄も休業状態であらなければならない。斯様な状態で河川や船溜りの隅に船舶を繋留して無駄話や、晝寝や、勝負事で日が暮れ、若い連中は團平船の上でベースボールの眞似事をしてゐる等全く長閑なものである。本調査によると一五日間就労者が最高で九八五、總數の二六%〇七、次位が二〇日で九一五、二六%〇七、一

六七

〇日以下が五二四、一三%八八、二五日が三七三、九%八八、二六日以上が三五二、九%三〇の順位を示してゐる。

本調査に於ける就労日数は、積載貨物の積込み、荷揚げの日数を包含したもので距離によつて大體の就労日数を測定すれば本船、若しくは倉庫の出荷関係にもよるが、芝浦の本船より荷物を受けて日本橋の倉庫迄運搬するには往復(一杯)五日間の日数を要する状態で、急を要せぬ場合は運賃の低廉と、貨物破損程度の少い點から水上の運搬が多く利用されてゐる状態である。

就 労 日 数 調

| 日 数 別 | 運 搬 | | | | | | 業 | | 運 搬 並 探 取 | 其 他 | 合 計 | 百 分 比 % |
|-------|------|-------|------|-------|-------|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|---------|
| | 食料品類 | 諸原料品類 | 機械器具 | 藥品燃料類 | 古物肥料類 | 其 他 | 小 計 | 其 他 | | | | |
| 一〇日以下 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 一日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 二日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 三日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 四日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 五日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 六日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 七日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 八日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | 8 | 2 | 2 | 5 | 7 | 5 | 3 | 1 | 1 | 3 | 9 | 2.2 |

| 日 数 別 | 食料品類 | 諸原料品類 | 機械器具 | 藥品燃料類 | 古物肥料類 | 其 他 | 小 計 | 運 搬 並 探 取 | 其 他 | 合 計 | 百 分 比 % |
|-------|------|-------|------|-------|-------|-----|-----|-----------|-----|-----|---------|
| 一日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 二日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 三日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 四日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 五日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 六日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 七日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 八日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 九日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 十日 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | 35 | 1 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

なほ水上労働者の船舶航行の時間、即ち、就労時間は前記の如く一定して表示することは到底困難であるが、本調査に依ると、貨物積載並びに荷揚げの時間は之を別として、航行に要する時間は大體左に示す通りである。即ち、その最高を占めるものは六時間で八四二總数の二二%三〇、八時間が次位で七〇九、一八%七八、七時間が五九三、一五%七一、五時間が四五六、一二%〇八、一〇時間が三八一、一〇%〇九の順位を示し大體六時間から一〇時間が平均航行に要する就労時間と見られるのである。だがその就労時間は確定的なものでなく晝夜を問はず、干満、風雨又は荷物の關係で何時でも就労に就く事となるのである。

航 行 時 間 調

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|--------|--------|-----|-------|
| 時間別 | 一時間 | 二時間 | 三時間 | 四時間 | 五時間 | 六時間 | 七時間 | 八時間 | 九時間 | 一〇時間 | 一三時間未満 | 一五時間未満 | 一五時間以上 | 不明 | 合計 |
| 食料 | 八 | 五 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 諸原料 | 六 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 機械器具 | 五 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 古物肥料 | 四 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 其他 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 小計 | 六 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 運搬並 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 其他 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 合計 | 八 | 五 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 三二 |
| 百分比 | 二四・八 | 一五・六 | 九・四 | 六・三 | 三・一 | 三・一 | 三・一 | 三・一 | 三・一 | 三・一 | 一〇・九 | 一〇・九 | 三・一 | 三・一 | 一〇〇・〇 |

尙本項に關聯して現今東京市衛生局清掃課で使役してゐる水上労働者、即ち塵芥船、糞尿船、等に從業してゐる労働者の就勞時間及び労働賃金を、参考の爲め掲げれば左の通りで、一般水上労働者より待遇は比較的有利な地位にあるものと見て差支へない。

東京市塵芥船労働者

| | | | | |
|---------|----------|------|---------------------|-----|
| 種別 | 夫 | 夫 | 夫 | 計 |
| 作業別 | 塵芥船曳船作業 | 同 | 塵芥運搬 | |
| 員數 | 九人 | 一三 | 一九〇 | 二二二 |
| 勤務時間 | 九時間 | 同 | 同 | |
| 給料一日平均額 | 二、〇六 | 二、〇七 | 二、五〇 | |
| 慰勞手當 | 一ヶ年五十一日分 | 同 | 同 | |
| 通勤宿泊ノ別 | 通勤 | 同 | 船中宿泊二二〇名 (家族二五名) | |

同上 糞尿船労働者

| | | | | |
|---------|----------|------|--------------------|----|
| 種別 | 夫 | 夫 | 夫 | 計 |
| 作業別 | 糞尿船曳船作業 | 同 | 糞尿運搬 | |
| 員數 | 四人 | 四 | 三二 | 四〇 |
| 勤務時間 | 九時間 | 同 | 同 | |
| 給料一日平均額 | 二、五二 | 二、四〇 | 二、五四 | |
| 慰勞手當 | 一ヶ年五十一日分 | 同 | 同 | |
| 通勤宿泊ノ別 | 通勤 | 同 | 船中宿泊二六名 (家族二一名) | |

五、經濟生活の内容概観

（一） 人口と労働力
（二） 産業と生産
（三） 貿易と輸出入
（四） 金融と貨幣
（五） 財政と税関
（六） 社会福祉と労働関係
（七） 経済成長と開発

（八） 経済政策と改革
（九） 環境と資源
（十） 結論と展望

ロ、収入對支出

而して一世帯當り平均収入對支出關係は左に示す通りであるが、六人世帯一つをおいて他はすべて支出に比し収入が多い状況である。

収入對支出調

| 計 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | 一〇 | 収入對支出 | | 同上百分比 | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-------|-------|--------|-------|
| | | | | | | | | | | | 平均収入 | 平均支出 | 平均収入 | 平均支出 |
| 計 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇一 | 三三、七八 | 一〇〇、〇〇 | 九〇、五六 |
| 一 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇一 | 三三、七八 | 一〇〇、〇〇 | 九〇、五六 |
| 二 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 三 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 四 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 五 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 六 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 七 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 八 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 九 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |
| 一〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 四二、〇〇 | 三三、七〇 | 一〇〇、〇〇 | 九三、九五 |

ハ、收支過不足關係

今その一ヶ月平均(前月中)収入並びに、支出の過不足關係に就いて見るに支出に比し収入の過多なる者は總數の五一%〇八であり、収入不足の者は四一%四五である。而して過不足のない世帯は僅か七%四七に過ぎぬ。尙一世帯平均収入過多額は一〇圓一錢であり、一世帯當平均収入不足額は七圓一三錢であるが、兩者共世帯人員數の少い世帯が多數の率を占めて居り、その額は多數人員世帯が高額である。

収入支出過不足調

| 世帯人員別 | 世帯數 | 平均額 | 過不足ナキ | | 世帯總數 |
|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | | 過 | 不足 | |
| 一人世帯 | 四五九 | 九、三三三 | 六四 | 七九七 | 四五九 |
| 二人世帯 | 五二一 | 九、八〇一 | 七三 | 一、〇一八 | 五二一 |
| 三人世帯 | 四〇七 | 九、〇五二 | 六三 | 八二二 | 四〇七 |
| 四人世帯 | 二六四 | 九、一五三 | 三六 | 五二〇 | 二六四 |
| 五人世帯 | 一三二 | 一四、七六九 | 二〇 | 二九六 | 一三二 |
| 六人世帯 | 六七 | 一、六五九 | 八 | 一五二 | 六七 |
| 七人世帯 | 四二 | 一三、四三九 | 七 | 九五 | 四二 |
| 八人世帯 | 一九 | 二二、一八四 | 七 | 四〇 | 一九 |
| 九人世帯 | 一一 | 一四、一四五 | 二 | 二四 | 一一 |
| 一〇人世帯 | 七 | 一七、八五七 | 一 | 二 | 七 |
| 計 | 一、九二九 | 一〇、一一三 | 二八二 | 三、七七六 | 一、九二九 |
| 百分比 | 五一%〇八 | 四一%四五 | 七%四七 | 一〇〇%〇〇 | 七、七七 |

2. 収入

収入關係に就て見ると、前月中に於ける總數の平均収入額は一世帯當り四〇圓〇一錢であるが、船住は一世帯當り三カ圓四一錢、陸住は五六圓四三錢で、後者は前者に比し一七圓〇二錢の収入過を示してゐる。而して、その世帯構成員一人當り平均収入額は一四圓三〇錢で、船住は一五圓一七錢、陸住は一四圓七〇錢で、之に依つて見ても船住と、陸住との世帯構成員數の差を自ら充分に物語つてゐる。
之を詳記すれば左の通りである。

イ、収入内譯

A 世帯人員別に依る一世帯當り平均収入調

| 世帯人員別 | 船 | | 陸 | | 計 |
|-------|-----|-------|-----|-------|-------|
| | 口數 | 平均 | 口數 | 平均 | |
| 一人世帯 | 七七〇 | 三七、二〇 | 二七 | 四〇、二七 | 七七七 |
| 二人世帯 | 九七一 | 四〇、二三 | 四七 | 四八、八九 | 一、〇一八 |
| 三人世帯 | 七〇九 | 四〇、八九 | 一一三 | 四八、八九 | 八二二 |
| 四人世帯 | 四三二 | 四〇、四五 | 八八 | 四九、八四 | 五二〇 |
| 五人世帯 | 二〇六 | 三八、九七 | 九〇 | 五八、四六 | 二九六 |
| 六人世帯 | 七五 | 三七、四二 | 七七 | 六一、〇一 | 一五二 |
| 平均 | | | | | 四九、三七 |

—— 船住、陸住、別 ——

| 世帯人員別 | 船 | | 陸 | | 計 |
|-------|----|-------|----|-------|-------|
| | 口數 | 平均 | 口數 | 平均 | |
| 一人世帯 | 三〇 | 二八、四二 | 六五 | 六四、四三 | 九五 |
| 二人世帯 | 一六 | 三二、〇〇 | 三四 | 七一、九一 | 四〇 |
| 三人世帯 | 一 | 五八、〇〇 | 一二 | 七四、〇七 | 一二 |
| 四人世帯 | 一〇 | 三九、四一 | 二二 | 七五、四〇 | 三二 |
| 五人世帯 | 三 | 一五、一七 | 七六 | 五六、四三 | 七九 |
| 六人世帯 | 二 | 二、七七 | 七八 | 一一、七〇 | 八〇 |
| 平均 | | | | | 七三、四〇 |

同上内譯

| 世帯人員別 | 船 | | 陸 | | 計 |
|--------|-----|-------|-----|-------|-------|
| | 口數 | 平均 | 口數 | 平均 | |
| 一人世帯 | 七六八 | 三五、九一 | 二七 | 三七、四八 | 七九五 |
| 二人世帯 | 九七〇 | 三八、八九 | 四七 | 四二、三三 | 一、〇一七 |
| 三人世帯 | 七〇九 | 四〇、〇九 | 一一三 | 四二、九五 | 八二二 |
| 四人世帯 | 四三二 | 三九、〇九 | 八八 | 四四、七六 | 五二〇 |
| 五人世帯 | 二〇六 | 三八、三二 | 九〇 | 四五、五四 | 二九六 |
| 六人世帯 | 七五 | 三六、〇三 | 七七 | 五三、〇〇 | 一五二 |
| 七人世帯 | 三〇 | 二七、四九 | 六五 | 五六、〇二 | 九五 |
| 八人世帯 | 一六 | 二四、〇〇 | 三四 | 五七、六八 | 四〇 |
| 九人世帯 | 一 | 五八、〇〇 | 一二 | 六二、六五 | 一三 |
| 一人當り平均 | | | | | 四九、三七 |

家族勤勞收入

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|---------|-----|--------|
| 一人世帯 | 51 | 21,740 |
| 二人世帯 | 29 | 19,360 |
| 三人世帯 | 21 | 19,450 |
| 四人世帯 | 9 | 9,890 |
| 五人世帯 | 2 | 1,560 |
| 六人世帯 | 2 | 6,500 |
| 七人世帯 | 1 | 18,000 |
| 八人世帯 | 1 | 18,000 |
| 九人世帯 | 1 | 18,000 |
| 一人當り平均 | 123 | 18,160 |
| 一世帯當り平均 | 402 | 5,560 |
| 計 | 188 | 23,440 |

其他

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|----|--------|
| 一人世帯 | 58 | 18,260 |
| 二人世帯 | 18 | 12,830 |
| 三人世帯 | 8 | 11,250 |
| 計 | 84 | 17,720 |

B 收入種類別に依る平均収入調

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|---------|-----|--------|
| 一人世帯 | 9 | 20,110 |
| 二人世帯 | 6 | 7,580 |
| 三人世帯 | 2 | 15,000 |
| 四人世帯 | 1 | 15,000 |
| 五人世帯 | 1 | 15,000 |
| 六人世帯 | 1 | 15,000 |
| 七人世帯 | 1 | 15,000 |
| 八人世帯 | 1 | 15,000 |
| 九人世帯 | 1 | 15,000 |
| 一人當り平均 | 202 | 16,160 |
| 一世帯當り平均 | 206 | 8,000 |
| 計 | 34 | 14,040 |

一人世帯

| 世帯主收入 | 口數 | 平均 |
|--------|-------|--------|
| 世帯主收入 | 768 | 35,910 |
| 家族收入 | 58 | 18,260 |
| 其他收入 | 770 | 37,200 |
| 計 | 1,196 | 37,200 |
| 一人當り平均 | 1,196 | 37,200 |

二人世帯

| | | | | | |
|--------|-----|----|-----|----|-------|
| 世帶主收入 | 九七〇 | 口數 | 九七〇 | 平均 | 三八、八九 |
| 家族收入 | 五一 | 口數 | 五一 | 平均 | 二一、七四 |
| 其他收入 | 一八 | 口數 | 一八 | 平均 | 一一、八三 |
| 計平均 | 九七一 | 口數 | 九七一 | 平均 | 四〇、二三 |
| 一人當り平均 | | 口數 | | 平均 | 二〇、一二 |

三人世帯

| | | | | | |
|--------|-----|----|-----|----|-------|
| 世帶主收入 | 七〇九 | 口數 | 七〇九 | 平均 | 四〇、〇九 |
| 家族收入 | 二九 | 口數 | 二九 | 平均 | 一六、三六 |
| 其他收入 | 八 | 口數 | 八 | 平均 | 一一、二五 |
| 計平均 | 七〇九 | 口數 | 七〇九 | 平均 | 四〇、八九 |
| 一人當り平均 | | 口數 | | 平均 | 一三、六三 |

四人世帯

| | | | | | |
|--------|-----|----|-----|----|-------|
| 世帶主收入 | 四三二 | 口數 | 四三二 | 平均 | 三九、〇九 |
| 家族收入 | 二一 | 口數 | 二一 | 平均 | 一九、四五 |
| 其他收入 | 九 | 口數 | 九 | 平均 | 二〇、一一 |
| 計平均 | 四三二 | 口數 | 四三二 | 平均 | 四〇、四五 |
| 一人當り平均 | | 口數 | | 平均 | 四〇、四五 |

一人當り平均 一〇、一一
一〇、四六
一〇、五一

五人世帯

| | | | | | |
|--------|-----|----|-----|----|-------|
| 世帶主收入 | 二〇六 | 口數 | 二〇六 | 平均 | 三八、三二 |
| 家族收入 | 九 | 口數 | 九 | 平均 | 九、八九 |
| 其他收入 | 六 | 口數 | 六 | 平均 | 七、五八 |
| 計平均 | 二〇六 | 口數 | 二〇六 | 平均 | 三八、九七 |
| 一人當り平均 | | 口數 | | 平均 | 七、七九 |

六人世帯

| | | | | | |
|--------|----|----|----|----|-------|
| 世帶主收入 | 七五 | 口數 | 七五 | 平均 | 三六、〇三 |
| 家族收入 | 九 | 口數 | 九 | 平均 | 一一、五六 |
| 其他收入 | 一 | 口數 | 一 | 平均 | 三、七四 |
| 計平均 | 七五 | 口數 | 七五 | 平均 | 三七、四二 |
| 一人當り平均 | | 口數 | | 平均 | 六、二四 |

七人世帯

| | | | |
|----|------|----|-------|
| 口數 | 一〇一七 | 平均 | 三九、〇五 |
| 口數 | 六一〇 | 平均 | 二一、四六 |
| 口數 | 二一 | 平均 | 一七、一五 |
| 口數 | 一〇一八 | 平均 | 四〇、六三 |
| 口數 | | 平均 | 二〇、三二 |

| | | | |
|----|-----|----|-------|
| 口數 | 八二二 | 平均 | 四〇、四八 |
| 口數 | 六二 | 平均 | 一七、一六 |
| 口數 | 一五 | 平均 | 一一、二〇 |
| 口數 | 八二二 | 平均 | 四二、〇〇 |
| 口數 | | 平均 | 一三、〇〇 |

| | | | |
|----|-----|----|-------|
| 口數 | 五二〇 | 平均 | 四〇、〇五 |
| 口數 | 五〇 | 平均 | 一六、六二 |
| 口數 | 二 | 平均 | 一七、一七 |
| 口數 | 五二〇 | 平均 | 四二、〇四 |
| 口數 | | 平均 | 四二、〇四 |

| | | | |
|----|----|----|-------|
| 口數 | 九〇 | 平均 | 四五、五四 |
| 口數 | 三二 | 平均 | 三四、六七 |
| 口數 | 五 | 平均 | 一〇、六〇 |
| 口數 | 九〇 | 平均 | 五八、四六 |
| 口數 | | 平均 | 一一、六九 |

| | | | |
|----|----|----|-------|
| 口數 | 七七 | 平均 | 五三、〇〇 |
| 口數 | 二四 | 平均 | 二五、二一 |
| 口數 | 二 | 平均 | 五、七五 |
| 口數 | 七七 | 平均 | 六一、〇一 |
| 口數 | | 平均 | 一〇、一七 |

| | | | | | |
|--------|----|---|-------|------|-------|
| 世帯主収入 | 口数 | 船 | 住 | 陸 | 計 |
| 家族収入 | 三〇 | 二 | 二七、四九 | 六五 | 九五 |
| 其他収入 | 二 | 二 | 六、五〇 | 二五 | 二〇、〇四 |
| 計平均 | 三〇 | 二 | 二八、四二 | 五五 | 二〇、〇四 |
| 一人當り平均 | | | 四、〇六 | 九、二〇 | 七、六〇 |

| | | | | | |
|--------|----|---|-------|------|-------|
| 世帯主収入 | 口数 | 船 | 住 | 陸 | 計 |
| 家族収入 | 六 | 二 | 二四、〇〇 | 三九 | 四〇 |
| 其他収入 | 一 | 二 | 一八、〇〇 | 二九 | 二一、三二 |
| 計平均 | 六 | 二 | 二二、〇〇 | 三九 | 二二、六二 |
| 一人當り平均 | | | 四、〇〇 | 七、九一 | 八、二四 |

| | | | | | |
|--------|----|---|-------|------|------|
| 世帯主収入 | 口数 | 船 | 住 | 陸 | 計 |
| 家族収入 | 一 | 一 | 五八、〇〇 | 二二 | 二四 |
| 其他収入 | 一 | 一 | 五八、〇〇 | 一〇 | 一〇 |
| 計平均 | 一 | 一 | 五八、〇〇 | 一〇 | 二四 |
| 一人當り平均 | | | 五八、〇〇 | 七、四〇 | 七、三〇 |

八人世帯

九人世帯

十人世帯

| | | | | | |
|--------|----|---|-------|------|------|
| 世帯主収入 | 口数 | 船 | 住 | 陸 | 計 |
| 家族収入 | 一 | 一 | 五八、〇〇 | 九 | 一〇 |
| 其他収入 | 一 | 一 | 五八、〇〇 | 二 | 二 |
| 計平均 | 一 | 一 | 五八、〇〇 | 二 | 二 |
| 一人當り平均 | | | 五八、〇〇 | 七、五〇 | 七、五〇 |

備考
世帯構成員の職業状況に就て見るに船住家族で剩剰以外の職業を有するものは極僅かで、陸住の家族殆ど全部を占めてゐる状態である。家族の収入は左記職業に基いて得る収入に他ならぬものである。参考の爲め之を掲げておく。

世帯構成員職業調(除世帯主、含非現住者)

- 一、農林漁業方面五六、(男四四、女二二) 一八、七九%
- 農業五二、(男四一、女一一) 農業手傳一、(男一) 養蠶業一、(女一) 漁夫一、(男一) 海苔採集業一、(男一)
- 二、物品販賣業方面三三、(男一〇、女二三) 一一、〇七%
- 駄菓子商一六、(男三、女一三) 荒物雜貨商三、(男二、女一) 薪炭商二、(男一、女一) 魚商一、(男一) 肉商一、(男一) 雜貨行商三、(女三) 煙草商一、(女一) 喫茶店一、(女一) 淺廻行商二、(女二) 酒仲買商一、(男一) 玩具行商一、(女一) 土砂販賣

業一、(男一)

三、交通運搬業方面二七、(男二七)

九・〇%

雜貨運搬業五、(男五) 醬油運搬業一、(男一) 石炭運搬業一、(男一) 泥土運搬業二、(男二) 自動車運轉手二、(男二) 機關

手三、(男三) 交通社員一、(男一) 曳船業二、(男二) 船頭一〇、(男一〇)

四、職工・職人方面四七、(男三一、女二六)

一五・七七

機械職工六、(男六) 鐵職工三、(男三) 煉瓦職工一、(男一) 製材職工一、(男一) 活版職工一、(男一) ワイヤ製造職工一、

(男一) ミシン職工一、(男一) 萬年筆職工一、(男一) 印刷職工一、(男一) 旋盤職工一、(男一) 見習職工二、(男二) 技術師

一、(男一) 鐵工場技師一、(男一) 大工職二、(男二) 石工職一、(男一) 指物職二、(男二) 鋸職人一、(男一) 下駄職一、(男

一) 船大工一、(男一) 女工一二、(女一二) 製本女工二、(女二) 硝子工場女工一、(女一) セルロイド女工一、(女一) 印刷

屋雇人二、(男二)

五、公務自由業方面二三、(男一六、女七)

七・七二

官廳雇人六、(男六) 商店員六、(男四、女二) 會社員二、(男二) 事務員四、(男一、女三) 給仕二、(男一、女一) 日給者一、

(男一) 電話交換手一、(女一) 新聞集金一、(男一)

六、一般自由勞働方面一一二、(男三六、女七六) 三七・五九

人夫三五、(男三五) 内職三〇、(女三〇) 女中奉公二一、(女二一) 食堂ボーイ一、(男一) 派出婦一、(女一) 女給二、(女二)

子守奉公二、(女二) 藝者二、(女二) 遊藝師二、(女二) 古新開整理婦三、(女三) 結髮職二、(女二) 裁縫職一〇、(女一〇) 水

上自由勞働者一、(女一)

計 二九八、(男一六四、女一三四) 一〇〇・〇〇

C 收入階級に依る世帯人員別世帯調

—— 船住、陸住計 ——

| 階級別 | 一人世帯 | 二人世帯 | 三人世帯 | 四人世帯 | 五人世帯 | 六人世帯 | 七人世帯 | 八人世帯 | 九人世帯 | 十人世帯 | 合計 | 百分比 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 一〇圓未満 | 三 | 四 | 七 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 九 | 〇・三 |
| 一〇—一五 | 三 | 三 | 四 | 四 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 一五—二〇 | 四 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 二〇—二五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 二五—三〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 三〇—三五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 三五—四〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 四〇—四五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 四五—五〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 五〇—五五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 五五—六〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 六〇—六五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 六五—七〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 七〇—七五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 七五—八〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 八〇—八五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 八五—九〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 九〇—九五 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 九五—一〇〇 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 二〇 | 一・三 |
| 一〇〇圓以上 | 六 | 七 | 一四 | 九 | 三 | 三 | 二 | 一 | 一 | 一 | 三六 | 二・三 |
| 合計 | 九七 | 一〇八 | 一八三 | 五三〇 | 三六 | 一五 | 九 | 四 | 二 | 八 | 三、七六 | 一〇〇・〇 |

| 階級別 | 附級別 | 世一人 | 世二人 | 世三人 | 世四人 | 世五人 | 世六人 | 世七人 | 世八人 | 世九人 | 世十人 | 合計 | 百分比 |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 100以上 | 100未滿 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 90-100 | 90-100 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 80-90 | 80-90 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 70-80 | 70-80 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 60-70 | 60-70 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 50-60 | 50-60 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 40-50 | 40-50 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 30-40 | 30-40 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 20-30 | 20-30 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 10-20 | 10-20 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 0-10 | 0-10 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 合計 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 |

同
上
陸
住

| 階級別 | 附級別 | 世一人 | 世二人 | 世三人 | 世四人 | 世五人 | 世六人 | 世七人 | 世八人 | 世九人 | 世十人 | 合計 | 百分比 |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 100以上 | 100未滿 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 90-100 | 90-100 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 80-90 | 80-90 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 70-80 | 70-80 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 60-70 | 60-70 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 50-60 | 50-60 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 40-50 | 40-50 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 30-40 | 30-40 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 20-30 | 20-30 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 10-20 | 10-20 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 0-10 | 0-10 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0.5 |
| 合計 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 100.0 |

同
上
船
住

3 支出

支出關係に就ても矢張り船住より陸住の方が高率の支出を爲してゐるが、之は世帯人員數、並びに収入の高率から見て必然的な結果である。

一世帯當り一ヶ月平均(前月中)の支出額、即ち生計費は三九圓八一錢で船住が三七圓四二錢、陸住が五三圓〇八錢の平均を示し、その一人當り一ヶ月平均支出額は一三圓五五錢で船住が一四圓四〇錢、陸住が一四圓〇一錢である。

その人員別生計費支出状況に就て見ると陸上に於ては世帯人員の増加に伴つて生計費が高昇してゐるのに反し、船住に於ては世帯人員の増加にも不拘生計費は一般に均衡を保つてゐる點特に注意に價するものである。而して支出の方面による一世帯並びに一人當り平均支出額を示せば左の通りである。

| 支出種類 | 一世帯當り平均支出 | | 一人當り平均支出 | |
|-------|-----------|-------|----------|-------|
| | 船住 | 陸住 | 船住 | 陸住 |
| 住居費 | 七、六五 | 一一、二三 | 一〇、〇三 | 二、九〇 |
| 飲食物費 | 二、九一 | 三〇、〇〇 | 二、三一 | 六、二二 |
| 被服費 | 二、六二 | 四、〇七 | 二、八四 | 〇、八四 |
| 薪炭灯火費 | 二、一五 | 三、三六 | 二、三四 | 〇、七〇 |
| 其他雜費 | 一一、五九 | 一〇、九六 | 一一、五〇 | 四、五三 |
| 計平均 | 三七、四二 | 五三、〇八 | 三九、八一 | 一一、〇一 |

備考(其他雜費中には仕送費、兒童教育諸費、新聞雜誌代、湯錢、理髮料、娛樂費、交際費等を含入す)

イ 支出内譯

A 世帯人員別に依る一世帯平均支出調

— 船住、陸住別 —

| 世帯人員別 | 船 | | 陸 | | 計 |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 口數 | 平均 | 口數 | 平均 | |
| 一人世帯 | 七七〇 | 三三、五三 | 二七 | 四二、四〇 | 七九七 |
| 二人 | 九七一 | 三七、八六 | 四七 | 四四、八三 | 一、〇一八 |
| 三人 | 七〇九 | 三九、七六 | 一一三 | 四六、五四 | 八二二 |
| 四人 | 四三二 | 三八、六八 | 八八 | 四八、五九 | 五二〇 |
| 五人 | 二〇六 | 三六、八九 | 九〇 | 五四、二四 | 二九六 |
| 六人 | 七五 | 四三、四七 | 七七 | 五五、七四 | 一五二 |
| 七人 | 三〇 | 三七、八〇 | 六五 | 六〇、三八 | 九五 |
| 八人 | 六 | 三五、二二 | 三四 | 六四、六九 | 四〇 |
| 九人 | 一 | 七一、〇〇 | 二三 | 七一、七七 | 二四 |
| 十人 | 一 | 三七、四二 | 一二 | 六九、七七 | 一二 |
| 計平均 | 三、二〇〇 | 一四、四〇 | 五七、六 | 一一、〇一 | 三、七七六 |
| 一人當り平均 | 八、三一四 | 二、七七八 | 二、七七八 | 一一、〇九二 | 一三、五五 |

同上内譯
住居費

| 世帯人員別 | 一人當平均 | 計 |
|-------|-------|-------|
| 一人 | 八、二四七 | 一、〇一 |
| 二人 | 三、一八二 | 二、六二 |
| 三人 | 一、〇 | 三、〇〇 |
| 四人 | 一、六 | 二、八三 |
| 五人 | 二、八 | 三、二五 |
| 六人 | 七、五 | 三、四〇 |
| 七人 | 二〇、三 | 二、八一 |
| 八人 | 四二、七 | 二、九〇 |
| 九人 | 七〇、七 | 二、八八 |
| 十人 | 九六、五 | 二、五九 |
| 計 | 七、七〇 | 二、一一 |
| 一人當平均 | 八、二四七 | 二、七六九 |

被服費

| 世帯人員別 | 一人當平均 | 計 |
|-------|-------|--------|
| 一人 | 八、三一四 | 二、七七八 |
| 二人 | 三、二〇〇 | 五、七六 |
| 三人 | 一、六 | 四、二二 |
| 四人 | 三〇 | 三、四 |
| 五人 | 七、五 | 二、三 |
| 六人 | 二七、三六 | 六、五 |
| 計 | 二、二〇〇 | 三、二、五三 |
| 一人當平均 | 八、三一四 | 二、七七八 |

飲食物費

| 世帯人員別 | 一人當平均 | 計 |
|-------|-------|-------|
| 一人 | 四、三五 | 一、四五四 |
| 二人 | 一、六五 | 三、二五 |
| 三人 | 一、一 | 二、六八 |
| 四人 | 一、三 | 一、六 |
| 五人 | 一、七 | 二、四 |
| 六人 | 一、九 | 三、五 |
| 七人 | 一、六 | 五、六 |
| 八人 | 一、四 | 八、五 |
| 九人 | 一、二 | 一〇、〇 |
| 十人 | 一、四 | 九、五八 |
| 計 | 一、六五 | 二、五 |
| 一人當平均 | 四、三五 | 一、四五四 |

| 世帯人員別 | 一人當平均 | 計 |
|-------|-------|--------|
| 一人 | 二〇、六 | 二、九〇 |
| 二人 | 四、三二 | 二、四、八一 |
| 三人 | 七〇、九 | 二、四、二七 |
| 四人 | 九七、一 | 二、二、二一 |
| 五人 | 七、七〇 | 一、六、五七 |
| 六人 | 二、七〇 | 二、二、二一 |
| 計 | 二、七〇 | 二、二、二一 |
| 一人當平均 | 二〇、六 | 二、九〇 |

一人世帯

| 種別 | 口數 | 平均 |
|-------|----|------|
| 住居費 | 四 | 六、二八 |
| 飲食費 | 四〇 | 一、六五 |
| 被服費 | 七〇 | 二、一一 |
| 薪炭燈火費 | 七六 | 一、六八 |
| 其他生計費 | 七三 | 一、四七 |
| 計平均 | 七〇 | 三、五三 |
| 一人當平均 | 七〇 | 三、五三 |

| 種別 | 口數 | 平均 |
|-------|----|------|
| 住居費 | 二 | 九、五八 |
| 飲食費 | 二七 | 二、六七 |
| 被服費 | 二七 | 三、三〇 |
| 薪炭燈火費 | 二七 | 二、六〇 |
| 其他生計費 | 二四 | 一、九〇 |
| 計平均 | 二七 | 四、二四 |
| 一人當平均 | 二七 | 四、二四 |

| 種別 | 口數 | 平均 |
|-------|----|------|
| 計 | 五七 | 六、九七 |
| 一人當平均 | 五七 | 六、九七 |

B 支出方面別に依る平均支出調

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|------|------|
| 一人世帯 | 一 | 九、七四 |
| 二人世帯 | 二 | 八、八四 |
| 三人世帯 | 三 | 一、五五 |
| 四人世帯 | 四 | 九、七一 |
| 五人世帯 | 五 | 四、二八 |
| 六人世帯 | 六 | 一、〇〇 |
| 七人世帯 | 七 | 一、五〇 |
| 八人世帯 | 八 | 一、〇〇 |
| 九人世帯 | 九 | 一、一三 |
| 十人世帯 | 十 | 一、九六 |
| 計平均 | 二、八六 | 四、五九 |
| 一人當平均 | 七、三二 | 二、二五 |

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|------|------|
| 一人世帯 | 一 | 九、七〇 |
| 二人世帯 | 二 | 二、四四 |
| 三人世帯 | 三 | 二、五四 |
| 四人世帯 | 四 | 一、五七 |
| 五人世帯 | 五 | 一、八二 |
| 六人世帯 | 六 | 一、三三 |
| 七人世帯 | 七 | 一、二二 |
| 八人世帯 | 八 | 一、〇八 |
| 九人世帯 | 九 | 一、七三 |
| 十人世帯 | 十 | 一、一三 |
| 計平均 | 四、九二 | 二、二五 |
| 一人當平均 | 二、三九 | 一、〇六 |

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|------|------|
| 一人世帯 | 一 | 四、四六 |
| 二人世帯 | 二 | 二、五二 |
| 三人世帯 | 三 | 一、三二 |
| 四人世帯 | 四 | 一、二二 |
| 五人世帯 | 五 | 一、三二 |
| 六人世帯 | 六 | 一、二二 |
| 七人世帯 | 七 | 一、三二 |
| 八人世帯 | 八 | 一、二二 |
| 九人世帯 | 九 | 一、三二 |
| 十人世帯 | 十 | 一、二二 |
| 計平均 | 三、五四 | 一、九七 |
| 一人當平均 | 九、七一 | 三、九七 |

其他雜費

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|------|------|
| 一人世帯 | 一 | 一、四七 |
| 二人世帯 | 二 | 一、七九 |
| 三人世帯 | 三 | 一、一三 |
| 計平均 | 七、三二 | 一、一三 |
| 一人當平均 | 八、五七 | 一、一三 |

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|------|------|
| 一人世帯 | 一 | 一、九〇 |
| 二人世帯 | 二 | 一、三〇 |
| 三人世帯 | 三 | 一、〇〇 |
| 計平均 | 四、〇〇 | 一、〇〇 |
| 一人當平均 | 六、二四 | 一、〇〇 |

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|------|------|
| 一人世帯 | 一 | 七、五六 |
| 二人世帯 | 二 | 八、九七 |
| 三人世帯 | 三 | 七、二一 |
| 計平均 | 七、五二 | 一、〇六 |
| 一人當平均 | 三、二一 | 一、〇六 |

其他雜費

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|-------|------|
| 一人世帯 | 一 | 二、六八 |
| 二人世帯 | 二 | 二、二九 |
| 三人世帯 | 三 | 二、三三 |
| 四人世帯 | 四 | 二、二七 |
| 五人世帯 | 五 | 二、二一 |
| 六人世帯 | 六 | 二、二七 |
| 七人世帯 | 七 | 二、二一 |
| 八人世帯 | 八 | 二、二七 |
| 九人世帯 | 九 | 二、二一 |
| 十人世帯 | 十 | 二、二七 |
| 計平均 | 三、一九〇 | 二、一五 |
| 一人當平均 | 八、二八六 | 〇、八三 |

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|-------|------|
| 一人世帯 | 一 | 二、九一 |
| 二人世帯 | 二 | 二、九一 |
| 三人世帯 | 三 | 二、九一 |
| 四人世帯 | 四 | 二、九一 |
| 五人世帯 | 五 | 二、九一 |
| 六人世帯 | 六 | 二、九一 |
| 七人世帯 | 七 | 二、九一 |
| 八人世帯 | 八 | 二、九一 |
| 九人世帯 | 九 | 二、九一 |
| 十人世帯 | 十 | 二、九一 |
| 計平均 | 二、七四八 | 〇、七〇 |
| 一人當平均 | 八、二八六 | 〇、七〇 |

| 世帯人員別 | 口數 | 平均 |
|-------|-------|------|
| 一人世帯 | 一 | 七、九四 |
| 二人世帯 | 二 | 二、九一 |
| 三人世帯 | 三 | 二、九一 |
| 四人世帯 | 四 | 二、九一 |
| 五人世帯 | 五 | 二、九一 |
| 六人世帯 | 六 | 二、九一 |
| 七人世帯 | 七 | 二、九一 |
| 八人世帯 | 八 | 二、九一 |
| 九人世帯 | 九 | 二、九一 |
| 十人世帯 | 十 | 二、九一 |
| 計平均 | 三、七六〇 | 一、〇三 |
| 一人當平均 | 八、二八六 | 一、〇三 |

薪炭燈火費

二人世帯

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 住 |
| 住居 | 四二 | 八、七〇 |
| 飲食 | 九七一 | 二、二一〇 |
| 被服 | 九六五 | 二、二五九 |
| 薪炭 | 九六九 | 二、二九 |
| 灯火 | 八五七 | 一、七九 |
| 其他 | 九七一 | 三、七、八六 |
| 計平均 | | 一八、九三 |
| 一人當平均 | | |

三人世帯

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 住 |
| 住居 | 四二 | 八、二一 |
| 飲食 | 七〇九 | 二、四、二七 |
| 被服 | 七〇七 | 二、二、八八 |
| 薪炭 | 七〇七 | 二、三、四 |
| 灯火 | 六二四 | 一、一、三 |
| 其他 | 七〇九 | 三、九、七六 |
| 計平均 | | 一三、二五 |
| 一人當平均 | | |

四人世帯

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 住 |
| 住居 | 四二 | 八、二一 |
| 飲食 | 七〇九 | 二、四、二七 |
| 被服 | 七〇七 | 二、二、八八 |
| 薪炭 | 七〇七 | 二、三、四 |
| 灯火 | 六二四 | 一、一、三 |
| 其他 | 七〇九 | 三、九、七六 |
| 計平均 | | 一三、二五 |
| 一人當平均 | | |

五人世帯

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 住 |
| 住居 | 一六 | 八、〇〇 |
| 飲食 | 四三二 | 二、四、八一 |
| 被服 | 四二七 | 二、九〇 |
| 薪炭 | 四三〇 | 二、二七 |
| 灯火 | 三七五 | 九、七四 |
| 其他 | 四三二 | 三、八、六八 |
| 計平均 | | 九、六七 |
| 一人當平均 | | |

六人世帯

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 住 |
| 住居 | 九 | 七、四四 |
| 飲食 | 二〇六 | 二、三、九〇 |
| 被服 | 二〇三 | 二、二、八一 |
| 薪炭 | 二〇六 | 二、二、一 |
| 灯火 | 一七九 | 八、八四 |
| 其他 | 二〇六 | 三、六、八九 |
| 計平均 | | 七、三八 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|----|--------|
| 種 | 口數 | 陸 |
| 住居 | 三〇 | 一〇、四二 |
| 飲食 | 四七 | 二、三、三二 |
| 被服 | 四六 | 四、三三 |
| 薪炭 | 四六 | 二、九一 |
| 灯火 | 四〇 | 一〇、三〇 |
| 其他 | 四七 | 四、四、八三 |
| 計平均 | | 二二、四二 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 陸 |
| 住居 | 八五 | 一、二、三七 |
| 飲食 | 一一三 | 二、四、三六 |
| 被服 | 一一三 | 三、二九 |
| 薪炭 | 一一三 | 二、九七 |
| 灯火 | 九七 | 七、七一 |
| 其他 | 一一三 | 四、六、五四 |
| 計平均 | | 一五、五一 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|----|--------|
| 種 | 口數 | 陸 |
| 住居 | 五六 | 一、一、一三 |
| 飲食 | 八八 | 二、七、二八 |
| 被服 | 八八 | 三、二六 |
| 薪炭 | 八六 | 三、二一 |
| 灯火 | 七一 | 九、七〇 |
| 其他 | 八八 | 四、八、五九 |
| 計平均 | | 一二、一五 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|----|--------|
| 種 | 口數 | 陸 |
| 住居 | 五三 | 一、一、五三 |
| 飲食 | 九〇 | 二、九、七〇 |
| 被服 | 九〇 | 四、〇四 |
| 薪炭 | 九〇 | 三、六一 |
| 灯火 | 七三 | 一、二、四四 |
| 其他 | 九〇 | 五、四、二四 |
| 計平均 | | 一〇、八五 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 計 |
| 住居 | 七二 | 九、四一 |
| 飲食 | 一一八 | 二、二、二六 |
| 被服 | 一一一 | 二、六七 |
| 薪炭 | 一一一 | 二、三二 |
| 灯火 | 八九七 | 一、一、七三 |
| 其他 | 一一八 | 三、八、一七 |
| 計平均 | | 一九、〇九 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 計 |
| 住居 | 一二七 | 一〇、九九 |
| 飲食 | 八二二 | 二、四、二八 |
| 被服 | 八二〇 | 二、九四 |
| 薪炭 | 八二〇 | 二、四三 |
| 灯火 | 七二一 | 一〇、六七 |
| 其他 | 八二二 | 四〇、七〇 |
| 計平均 | | 一三、五七 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 計 |
| 住居 | 七二 | 一〇、四三 |
| 飲食 | 五二〇 | 二、五、二三 |
| 被服 | 五一五 | 二、九六 |
| 薪炭 | 五一六 | 二、四二 |
| 灯火 | 四四六 | 九、七三 |
| 其他 | 五二〇 | 四〇、三六 |
| 計平均 | | 一〇、〇九 |
| 一人當平均 | | |

| | | |
|-------|-----|--------|
| 種 | 口數 | 計 |
| 住居 | 六二 | 一〇、九四 |
| 飲食 | 二九六 | 二、五、六六 |
| 被服 | 二九三 | 三、一九 |
| 薪炭 | 二九六 | 二、六四 |
| 灯火 | 二五二 | 九、八九 |
| 其他 | 二九六 | 四二、三一 |
| 計平均 | | 八、四六 |
| 一人當平均 | | |

十
人
世
帶

| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 種 類 | 住 居 | 飲 食 | 被 服 | 薪 炭 | 其 他 | 計 平 | 一 人 |
| 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 均 | 均 |
| 口 數 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 平 均 | 五〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 三〇,〇〇〇 | 一五,〇〇〇 | 七一,〇〇〇 | 七,九〇〇 | 七,九〇〇 |

| | | |
|--------|-------|-------|
| 種 類 | 陸 | 住 |
| 口 數 | 8 | 1 |
| 平 均 | 一三,二五 | 四三,三九 |
| 均 | 七,七七 | 七一,七七 |

| | |
|--------|-------|
| 種 類 | 計 |
| 口 數 | 8 |
| 平 均 | 一三,二五 |
| 均 | 七一,七七 |

九九

九
人
世
帶

| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 種 類 | 住 居 | 飲 食 | 被 服 | 薪 炭 | 其 他 | 計 平 | 一 人 |
| 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 均 | 均 |
| 口 數 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 平 均 | 二〇,〇〇 | 二四,三三 | 二,八三 | 一,六五 | 四,二八 | 三五,二二 | 四,四三 |

| | | |
|--------|------|-------|
| 種 類 | 陸 | 住 |
| 口 數 | 1 | 1 |
| 平 均 | 九,九七 | 四一,四四 |
| 均 | 八,〇九 | 六一,八一 |

| | |
|--------|-------|
| 種 類 | 計 |
| 口 數 | 1 |
| 平 均 | 九,九七 |
| 均 | 七一,七七 |

八
人
世
帶

| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 種 類 | 住 居 | 飲 食 | 被 服 | 薪 炭 | 其 他 | 計 平 | 一 人 |
| 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 均 | 均 |
| 口 數 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 平 均 | 六,〇〇 | 二二,六三 | 三,二五 | 三,二四 | 九,七一 | 三七,八〇 | 五,四〇 |

| | | |
|--------|-------|-------|
| 種 類 | 陸 | 住 |
| 口 數 | 2 | 2 |
| 平 均 | 一〇,四八 | 三六,八五 |
| 均 | 八,六三 | 六一,三八 |

| | |
|--------|-------|
| 種 類 | 計 |
| 口 數 | 2 |
| 平 均 | 九,九八 |
| 均 | 七一,七七 |

七
人
世
帶

| | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 種 類 | 住 居 | 飲 食 | 被 服 | 薪 炭 | 其 他 | 計 平 | 一 人 |
| 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 費 | 均 | 均 |
| 口 數 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 7 | 7 |
| 平 均 | 七,九一 | 二七,三六 | 三,四〇 | 二,二七 | 一,五五 | 四三,四七 | 七,二五 |

| | | |
|--------|------|-------|
| 種 類 | 陸 | 住 |
| 口 數 | 3 | 3 |
| 平 均 | 九,八一 | 三二,五三 |
| 均 | 九,二九 | 五五,七四 |

| | |
|--------|-------|
| 種 類 | 計 |
| 口 數 | 4 |
| 平 均 | 九,四九 |
| 均 | 七一,七七 |

九八

| 世帯主 | イ 船 住 | | | | | | 計平均 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | A世帯 | B世帯 | C世帯 | D世帯 | E世帯 | F世帯 | |
| 収入 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 |
| 支出 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 |
| 計平均 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 | 110.00 |

以上收支関係に依つて、水上生活者の一般的生計内容が窺はれるが、参考の爲めその實際の例に就いて之を見
ると左に示す通りである。

4 經濟生活内容の一例

| 階級別 | 世一人 | 世二人 | 世三人 | 世四人 | 世五人 | 世六人 | 世七人 | 世八人 | 世九人 | 世十人 | 合計 | 百分比 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 一〇圓未満 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一〇圓—一五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一五圓—二〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 二〇圓—二五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 二五圓—三〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 三〇圓—三五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 三五圓—四〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 四〇圓—四五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 四五圓—五〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 五〇圓—五五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 五五圓—六〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 六〇圓—六五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 六五圓—七〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 七〇圓—八〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 八〇圓—九〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 九〇圓—一〇〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一〇〇圓以上 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 合計 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 100 | 100.0% |

| 階級別 | 世一人 | 世二人 | 世三人 | 世四人 | 世五人 | 世六人 | 世七人 | 世八人 | 世九人 | 世十人 | 合計 | 百分比 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 一〇圓未満 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一〇圓—一五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一五圓—二〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 二〇圓—二五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 二五圓—三〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 三〇圓—三五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 三五圓—四〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 四〇圓—四五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 四五圓—五〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 五〇圓—五五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 五五圓—六〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 六〇圓—六五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 六五圓—七〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 七〇圓—八〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 八〇圓—九〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 九〇圓—一〇〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一〇〇圓以上 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 合計 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 100 | 100.0% |

同上

| 階級別 | 世一人 | 世二人 | 世三人 | 世四人 | 世五人 | 世六人 | 世七人 | 世八人 | 世九人 | 世十人 | 合計 | 百分比 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 一〇圓未満 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一〇圓—一五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一五圓—二〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 二〇圓—二五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 二五圓—三〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 三〇圓—三五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 三五圓—四〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 四〇圓—四五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 四五圓—五〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 五〇圓—五五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 五五圓—六〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 六〇圓—六五圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 六五圓—七〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 七〇圓—八〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 八〇圓—九〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 九〇圓—一〇〇圓 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 一〇〇圓以上 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 10 | 10.0% |
| 合計 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 100 | 100.0% |

| | A世帯 | B世帯 | C世帯 | D世帯 | E世帯 | F世帯 | 計平均 |
|-------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 家族 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.3 |
| 其他 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1.3 |
| 支出 | 3.5 | 1.9 | 3.0 | 5.0 | 3.0 | 3.5 | 3.5 |
| 住居費 | 1.5 | 1.5 | 2.0 | 3.5 | 3.0 | 2.6 | 2.0 |
| 飲食物費 | 1.5 | 1.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| 被服費 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 3.5 | 2.5 | 1.7 |
| 薪炭灯火費 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 3.0 | 2.5 | 1.7 |
| 其他 | 5.0 | 2.0 | 10.0 | 3.5 | 4.0 | 3.0 | 4.7 |

A世帯、世帯主は茨城縣の者であるが妻子を關東大震災の爲めに失ひ、六二歳の老境に至つても一人の身寄もない爲め尙生來の職業に従事してゐる。

現在では二十噸の傳馬船を借りて宿泊し深川區に定繋して石炭コークスの運搬に従事して生活して居る。廻送料は業務者との分配率は五分五分である。月二回に分けて支給されるのであるが目及び耳が少し不自由の爲めかせぎ少く二十圓にしか達しない。支出は前掲の表の如くであるが家族がない爲め割合に負債も少く月五圓位のものである、唯酒を好む爲めに其他の支出が少し多い。船は自分で漕ぐのであるが荷役はなし。

B世帯、世帯主は東京府下の生れで生來この職業に従事してゐるが現在に於ては城東區にあつて残土の運搬を爲して生活してゐる。一ヶ月の就勞日数は約二十日で一日平均就勞時間は約六時間である。

家族は妻及び娘が三人あるが妻は他家に奉公し三女は妻と共に奉公先に住込んで學校に通學してゐる。

長女及び次女は藝者であつて各々務め先より二、三圓宛仕送りしてゐる。之が其他の収入となつてゐるのである、本人は月六杯の運搬により一杯二圓宛支給され計十二圓となるわけである。

支出は前掲の通りで収入も又僅少であるから子女の教育も又思ふにまかせず従つて長女及び次女は何れも小學半途退學の止むを得ざるの状態である。

C世帯 世帯主は千葉縣の出であるが田舎に家を持つて老父母が農作に従事して子供が一人ある。子供は父母の許に託して通學せしめ自分等夫婦が船に宿泊して生活してゐるのである。現在は四〇噸の傳馬船を江戸川區に定繋してゐるが京橋方面に廻航してゐる、運賃の勘定は出來高勘定で四分六の分配率である。

一ヶ月就勞日数は十五日で四〇圓の収入がある。夫婦二人きりならば生活も樂であるが田舎にある兩親及び子供の爲め毎月十圓の仕送りをしなければならないので左程餘裕がないわけである然し借金をする程には至つてゐない。

D世帯 世帯主は茨城縣の出であるが八〇噸のタルマ船を借りて現在横濱に定繋して雜貨の運搬に従事してゐる。収入は月給であつて六〇圓支給されてゐるのであるから割合に生活は豊であると思はれるのに借金が一七〇圓もあると云ふのは田舎にある兩親並に兄弟の扶養に向けて毎月二十五圓の仕送りをしなければならないと云ふ負擔があるからである。然も仕込制でない爲め負債は比較的明瞭となつてゐるので返済も亦しなければならず従つて生活も餘裕がないのである。

E世帯 世帯主は千葉縣の出であるが三十三噸の傳馬船を借りて隅田驛附近に於て鑛石の運搬に従事してゐる。収入は積仕込であつて四分六の分配率を以て三十四圓の支給を受けてゐるのであるが夫婦と學齡に達せぬ

二男一女を抱えてゐるので雑費として比較的多額の費用を要するので稼高が支出に間に合はず多少なり共毎月業務者より借入してゐる。

然し仕込制であるから其の負債は必ずしも至急に返済するわけではなく會計年度末には概ね次年度に繰越すか又は免除して貰へるのであるから兎に角生活文は保證されてゐる。この家族は五人で二疊敷の處に雑居してゐるのである。

F世帯 世帯主は千葉縣で漁業に従事してゐたのであるが八年前からこの職業に轉じたのである、現在では京橋區の月島方面で鐵材の運搬に従事してゐるがその収入方法は日給制であつて一日九十錢の割合で荷の有無に關せず支給されてゐる。

然し乍ら家族は夫婦と一男三女を抱えてゐるので生活は苦しく長女の如きは現に義務教育期間中にも不拘小學校を半途で退學してゐる状態である他の三兒は未だ學齡期に達しないけれ共諸費用が相當要するのでは是が學齡期に達した曉には益々經濟上の壓迫に襲はれる事だらうと惱んでゐる。

陸 住

| 收 | A世帯 | B世帯 | C世帯 | D世帯 | E世帯 | F世帯 | 計平均 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 世帯主 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 | 500 |
| 家族 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 | 400 |
| 其他 | 800 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 367 |

| 支 | A世帯 | B世帯 | C世帯 | D世帯 | E世帯 | F世帯 | 計平均 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 住居費 | 400 | 500 | 500 | 500 | 400 | 400 | 433 |
| 食物費 | 1600 | 700 | 1000 | 1800 | 700 | 500 | 892 |
| 被服費 | 3000 | 2000 | 2000 | 3000 | 3000 | 3000 | 2843 |
| 薪炭灯火費 | 500 | 200 | 600 | 500 | 500 | 300 | 433 |
| 其他 | 100 | 300 | 100 | 200 | 200 | 500 | 212 |
| 計 | 2000 | 3000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2000 | 2170 |

A世帯 世帯主は千葉縣の者で家は千葉市に在るが石炭の運搬の爲めに荒川區に廻航して居る。以前は陸上の自由労働者であつたが、歐洲大戰の好景氣時代に此の職業に轉じた者である。一ヶ月就勞日数は十五日で仕事のない時は自宅に宿泊するのである。

家族は夫婦二人きりであるから積仕込に依る五分五分の分配による四十八圓の収入は充分なもので然も家の二間を友人に間貸して八圓の別途収入もあるから借金などは全くなく、預金が百圓程あるのである。住居費の十六圓は家賃であつて支出の金額の四十四圓五十錢を控除しても十一圓餘の餘裕を持つて居る次第である。しかも船は達摩船であつて航行は曳船に依つて爲され荷役は他の人夫に依つて爲されるのであるからこの不況時代に在つても現に満足してゐる。

B世帯 この世帯主も千葉縣の出であるが現在では深川區に家を借りて寄留し芝浦方面に於て百二十噸の達摩船を借りて雜貨の運搬に従事してゐる。就勞日数は月平均十日位で仕事は少いが定期仕込になつてゐるので冬に角四十五圓は毎月貰へるのである。

家族は夫婦に一男あつてこの兒童は深川の學校に家から通學してゐる。支出の方面では家賃として七圓

飲食物費として二十四圓、被服費二圓薪炭灯火費三圓授業料などを含んだ其他の費用三圓、計三十九圓で収入の方が遙かに支出よりも多いのであるが不況の爲め荷少く従つて仕込額と實際の稼ぎ高との差が大きいため業務者に對する負債が累計百圓に及んで居る状態である。

C世帯 世帯主は葛飾區の者で自宅を有し、自己所有の三十噸の高瀬船に依つて糞尿の運搬に従事してゐるのであるが何しろ夫婦と二男六女の大家族を有し而も長男の如きは病氣臥床してゐる状態なので出来高勘定に依る三十五圓の収入では經濟が立たず七百圓の借金をしてゐる状態である。

従つて子女の如きも尋常小學半途退學するの止むなき現状で實に憫れむべき有様である。

D世帯 此の世帯主は埼玉縣の者で深川區に於て材木の運搬に従事してゐる。収入は積仕込に依る五分五分の分配率で三十六圓外に其他の収入として十四圓あるのは家作を持つてゐるのでそれからの収入である。

支出は住居費としての十八圓は地代であつて家は自己所有のものである。家族は夫婦に一男二女を有し其の中二人は自宅より尋常小學校に通學してゐる。

E世帯 世帯主は鹿兒島縣の者であるが以前は機織職工であつたが財界の不況のため失業しこの職業に轉じた者で深川區に家を借りて藁屑等の運搬に従事してゐる。家族は夫婦に二男二女を有してゐるが特に船賃を出して十二噸の傳馬船を借りて出来高勘定に依つて四十圓の収入を得てゐる、支出中の住居費七圓は家賃四圓船賃三圓を包含してゐる。

F世帯 此の世帯主は千葉縣の出で日本橋に家を借りて寄留して居る。三十二噸の傳馬船を借りて魚油の運搬に従事してゐるが、月に十日位しか仕事がないので平常は家に徒食してゐる譯である。家族は夫婦に一男四

女を有し妻はあさりの行商をして家計の足しにしてゐる。収入は積仕込に依つて五分五分の分配率で四十圓の収入あり、外に妻のあさり行商に依る収益が九圓になつて居る。支出の住居費は家賃であつて飲食物費の多額なのは家族数の多い爲である。又其他の費用の比較的多いのも又子女が學校へ通つてゐる關係及び本人が酒を飲むからである。右の如く家族が多いにも拘はらず生計が割合に樂なのは妻の収入によつて齎らされる處である。

六、住居並びに生活状況

40x

六、住居並びに生活状況

1 現居住地

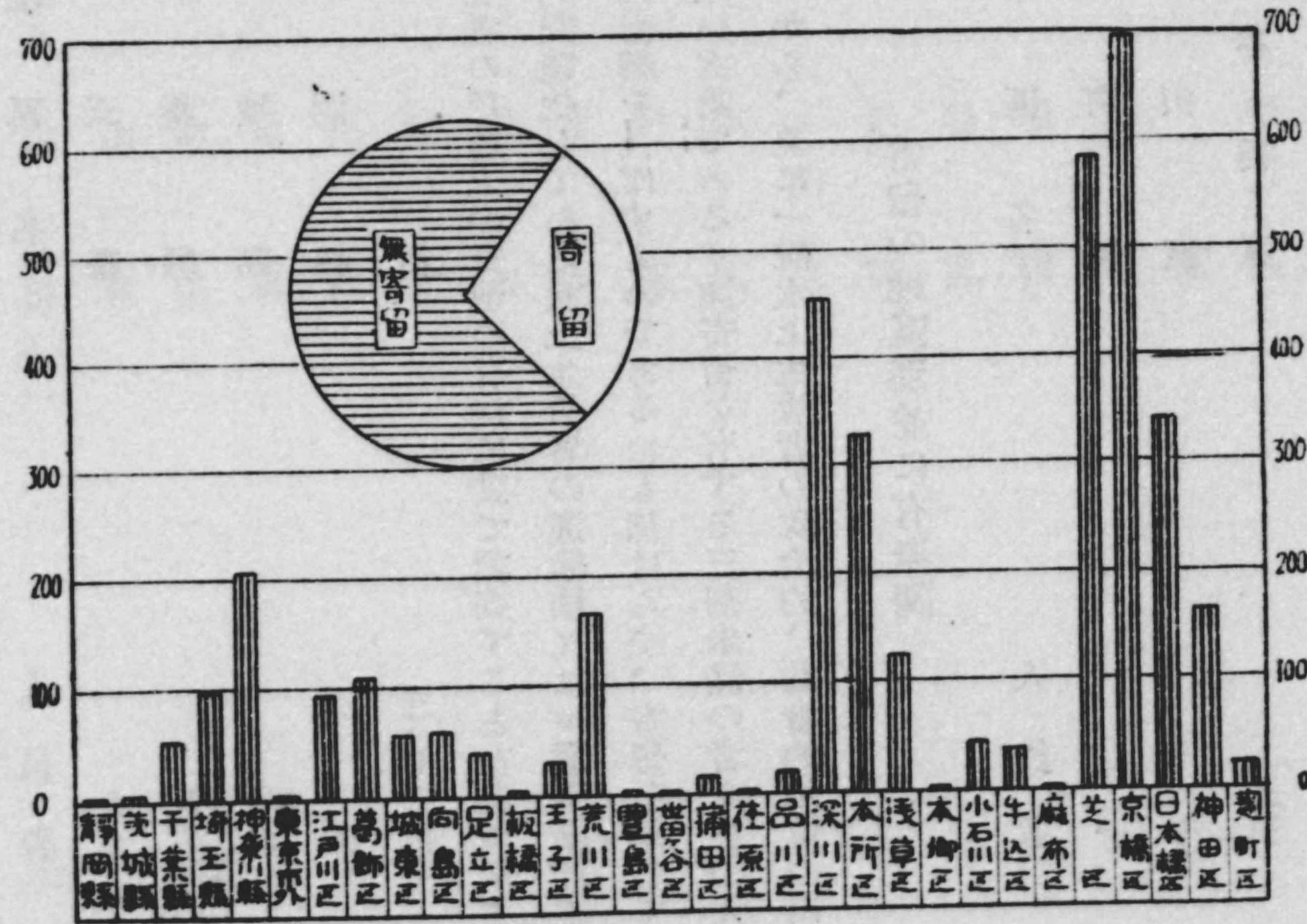
本調査に依る水上生活者の現居住地は左に示す通りであるが、現居住地とは陸住者の場合は現在の自分の現居住地を意味し、船住者の場合は船舶の所有者即ち自分の従属又は固定的取引回漕店の所在地を中心としたる常時的定繋場を意味するものに他ならぬ。之に依るときは、その最高を示してゐるのが、京橋區で六九八、總數の一九%四九次位が芝區で五八四、一五%四七、三位が深川區で四五六、一二%〇八、四位が日本橋區の三三八、八%九五、五位が本所區の三二六、八%六三の順位を示してゐる。而して、他府縣に現居住を有するものは三七八、總數の一〇%〇〇、即ち、一割を占めてゐる状態で最高は神奈川縣で五%六三に該當してゐる。

現居住地調

| 地名 | 人員數 | 百分比 |
|------|-----|-------|
| 麴町區 | 二五 | 〇%六六 |
| 神田區 | 一五九 | 四%二一 |
| 日本橋區 | 三三八 | 八%九五 |
| 京橋區 | 六九八 | 一八%四九 |

| | | |
|------|-----|-------|
| 芝區 | 五八四 | 一五%四七 |
| 麻布區 | 二 | 〇%〇五 |
| 赤坂區 | 一 | 一 |
| 四谷區 | 三四 | 〇%九〇 |
| 牛込區 | 四六 | 一%二二 |
| 小石川區 | 二 | 〇%〇五 |
| 本郷區 | 二 | 〇%〇五 |
| 下谷區 | 一 | 一 |
| 淺草區 | 一二〇 | 三%一八 |
| 本所區 | 三三六 | 八%六三 |
| 深川區 | 四五六 | 一二%〇八 |
| 品川區 | 一九 | 〇%五〇 |
| 目黒區 | 一 | 〇%〇三 |
| 荏原區 | 一 | 〇%〇三 |
| 大森區 | 一 | 〇%〇三 |
| 蒲田區 | 一八 | 〇%四八 |
| 世田谷區 | 一 | 〇%〇三 |

表 地 住 居 現



神奈川縣 東京市 戸川區 葛飾區 城東區 向島區 足立區 板橋區 王子區 荒川區 瀧野區 豐島區 杉並區 中野區 淀橋區 澁谷區 地 區 名

二一三 一 九四 一二二 五九 六〇 三八 三三 三三 一六七 一 二 一 一 一 人員數

五・六三 〇・〇三 二・四九 二・九七 一・五六 一・五九 一・〇一 〇・〇八 〇・八七 四・四二 〇・〇五 一 一 一 一 百分比

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 京 | 芝 | 麻 | 赤 | 四 | 牛 | 小 | 本 | 下 | 淺 | 本 | 深 | 品 | 目 | 荏 | 大 | 浦 |
| 橋 | | 布 | 坂 | 谷 | 込 | 石 | 郷 | 谷 | 草 | 所 | 川 | 川 | 黒 | 原 | 森 | 田 |
| 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 | 區 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|---|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 人員數 | 五〇 | 一 | 一 | 三 | 三 | 一 | 一 | 一九 | 六七 | 一七五 | 七 | 一 | 二 | 二 | 七 |
| 百分比 | 四・五八 | 一・三二 | 〇・〇三 | 一 | 一 | 〇・〇八 | 〇・〇八 | 〇・〇三 | 〇・〇三 | 〇・五〇 | 一・七七 | 四・六四 | 〇・一九 | 〇・〇五 | 〇・〇五 |

一一七

尙、被調査者の戸籍上の寄留の有無に就て調査すると左表に示す通りであるが、寄留は學齡期の兒童の就學問題並に近時社會的問題化してゐる水上生活者の選舉權又は被選舉權行使の問題、または一般市民としての公民權行使の上に直接重大な影響を及ぼすものであるにも係はらず、寄留を爲してゐるものは總數の僅か二八・一八・三割未滿とは餘りにも心細い次第である。該寄留を有する三割未滿の者もその大部分は陸上に居住を有するもので船住の者は極少數に過ぎないから、更に一般水上生活者の政治的、社會的地位の向上發展のため憂慮せざるを得ないものである。

寄留の地區別並に有無調

| | | |
|------|-------|--------|
| 地區名 | 人員數 | 百分比 |
| 埼玉縣 | 九九 | 二・六二 |
| 千葉縣 | 五六 | 一・四八 |
| 茨城縣 | 六 | 〇・一六 |
| 靜岡縣 | 四 | 〇・一一 |
| 合計 | 三、七七六 | 一〇〇・〇〇 |
| 麴町區 | 一 | 〇・〇三 |
| 神田區 | 六 | 〇・一六 |
| 日本橋區 | 三三 | 〇・八七 |

| 地 区 | 人員 數 | 百 分 比 |
|-------|------|-------|
| 世田ヶ谷區 | 1 | 0.03 |
| 澁谷區 | 1 | 0.03 |
| 淀橋區 | 1 | 0.03 |
| 中野區 | 1 | 0.03 |
| 杉並區 | 2 | 0.05 |
| 豐島區 | 2 | 0.05 |
| 瀧野川區 | 9 | 0.24 |
| 荒川區 | 15 | 0.40 |
| 王子區 | 1 | 0.03 |
| 板橋區 | 1 | 0.03 |
| 足立區 | 1 | 0.03 |
| 向島區 | 3 | 0.08 |
| 葛飾區 | 4 | 0.12 |
| 江戸川區 | 3 | 0.08 |
| 神奈川縣 | 19 | 0.51 |

| 地 区 | 人員 數 | 百 分 比 |
|------|------|--------|
| 埼玉縣 | 15 | 0.40 |
| 千葉縣 | 47 | 1.25 |
| 茨城縣 | 5 | 0.14 |
| 無寄留計 | 127 | 71.82 |
| 合 計 | 377 | 100.00 |

2 出生地

被調査者三、七七六名の出生地に就て調査するに、その最高を占めてゐるのは、千葉縣で一、五二八、總數の四〇%四七、次位が東京府で六四一、一六%九八、三位が茨城縣で五一四、一三%六一、四位が埼玉縣で三六二、九%五九、五位が神奈川縣で二二四、五%六七、六位が栃木縣で一三〇、三%四四を占めてゐる状態を概して本府隣接各縣である。而して、出生地の市郡別に就て見ると、市に於て出生したものは八五六、總數二二%六七で二、九二〇、七七%三三は半都市、農村若くは漁村の出生者である。

| 道府縣名 | 市 | 郡 | 合計 | 百分比 |
|------|-----|----|-----|-------|
| 東京都府 | 五八四 | 五七 | 六四一 | 一六%九八 |
| 東京府 | — | — | — | — |
| 京都府 | — | — | — | — |
| 合計 | — | — | — | — |
| 合計 | — | — | — | — |

| 病名 | 昭和五年 | | 昭和六年 | |
|--------|------|----|------|----|
| | 發生 | 死亡 | 發生 | 死亡 |
| 腸チフス | 九 | 四 | 四 | 一 |
| パラチフス | 一 | 一 | 一 | 一 |
| チフテリヤ | 四 | 一 | 五 | 二 |
| 赤痢(疫痢) | 三 | 一 | 八 | 六 |
| 猩紅熱 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 計 | 一六 | 五 | 一八 | 八 |

| 所屬 | 船數 |
|----|----|
| 船 | 二二 |
| 組合 | 七一 |
| 計 | 九三 |

| 所屬 | 船數 |
|----|-------|
| 船 | 一、三四九 |
| 組合 | 一、三六 |
| 計 | 一、四八五 |

尙東京水上警察署に依る衛生状況に就て調べ見ると左の通りで、糞尿船は特に之を衛生問題に關聯して考察する關係上参考の爲めその數を掲げておく

| 病名其他 | 皮病 | | 關節炎 | | 骨膜炎 | | 老衰 | | 虛弱 | | 負傷 | | 不具 | | 不明 | | 小計 | | 百分比 |
|---------|----|---|-----|---|-----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 二〇歳以下 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 二一歳至二五歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 二六歳至三〇歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 三一歳至三五歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 三六歳至四〇歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 四一歳至四五歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 四六歳至五〇歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 五一歳至五五歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 五六歳至六〇歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 六一歳至六五歳 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 六六歳以上 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |
| 合計 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 二.〇% |

5 教育程度並に就學狀況

イ、世帯主

水上生活者(世帯主)の教育程度に就て調査するに、その最高を占めてゐるのは尋常小學校卒業者で一、五七三、總數の四一%六六で、次位が尋常小學校半途退學者一、〇二五二七%一五である。而して第三位は不就學者で五二七、一三%九六であるが、その八割五分は小學校卒業程度以下の者で、就學者と言つても陸上労働者に比して、讀書能力等に實力が乏しい状態である。之を詳記すれば左表の通りである。

教育程度調

| 修 別 | 一六歳以下 | 二〇歳以下 | 二五歳以下 | 三〇歳以下 | 四〇歳以下 | 五〇歳以下 | 六〇歳以下 | 六一歳以上 | 合計 | 百分比 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|------|
| 不 就 學 | 11 | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 | 22 | 1.8% |
| 寺 小 學 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 0.6% |
| 尋 常 小 學 (卒業) | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 | 0.7% |
| 尋 常 小 學 (半途退) | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 9 | 0.7% |
| 高 等 小 學 (卒業) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 0.6% |
| 高 等 小 學 (半途退) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 0.6% |
| 補 習 學 校 (卒業) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 0.6% |
| 補 習 學 校 (半途退) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 | 0.6% |

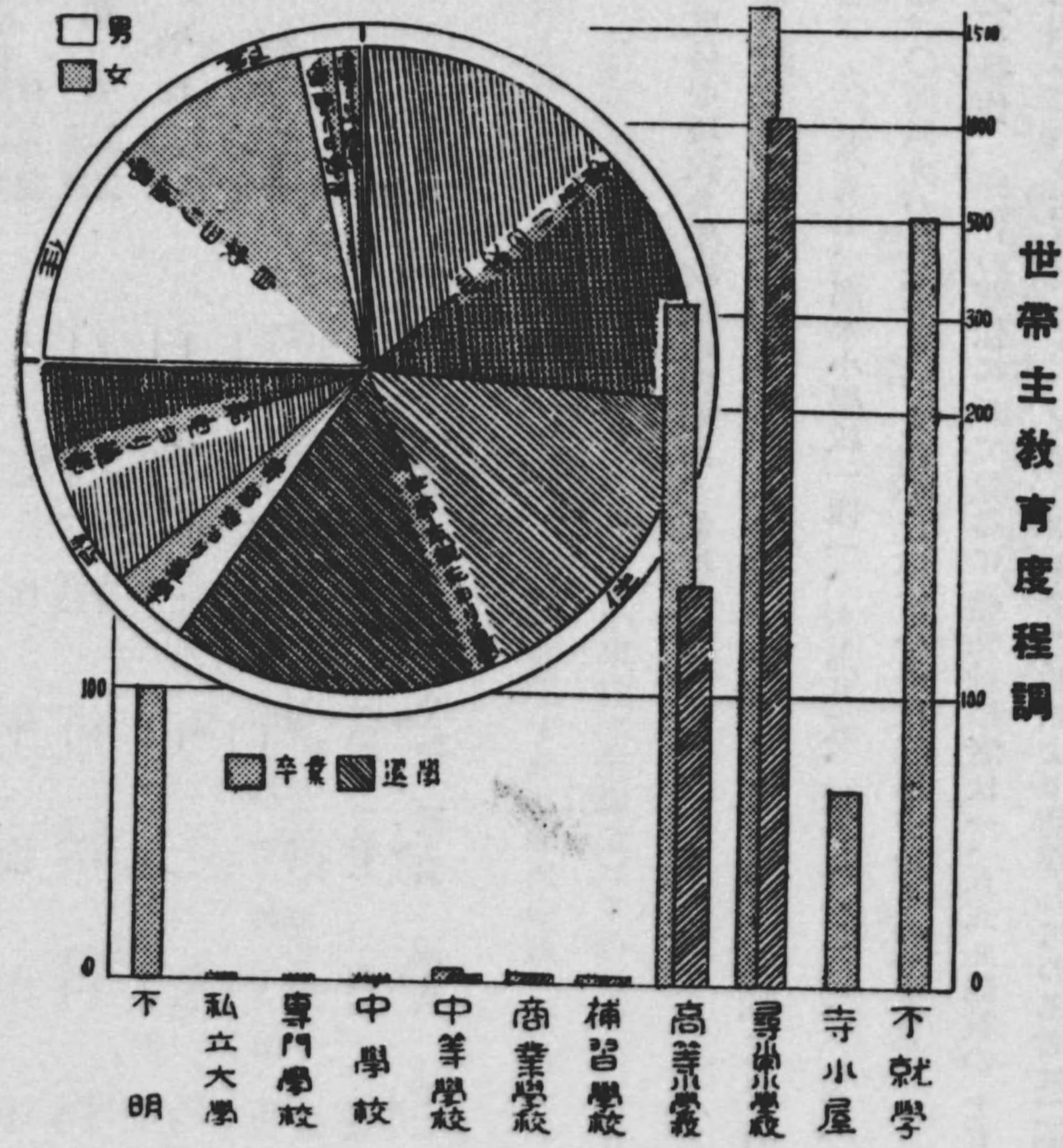
| 百 分 比 | 合 計 | 不 明 | 私 立 大 學 (卒業) | 專 門 學 校 (卒業) | 中 學 校 (卒業) | 中 等 學 校 (卒業) | | 中 等 學 校 (卒業) | 中 等 學 校 (卒業) | 中 等 學 校 (卒業) |
|-------|-------|-----|--------------|--------------|------------|--------------|----------|--------------|--------------|--------------|
| | | | | | | 其 他 (卒業) | 其 他 (卒業) | | | |
| 0.0% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 1.4% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 7.3% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 16.3% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 36.6% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 49.2% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 13.2% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 3.5% | 100.0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

ロ、世帯構成員就學狀況

世帯構成員中現在各學校並に託兒所、幼稚園等に就學中のものは二、〇五九名で男一、〇七八名、五二%三六女九八一名、四七%六四である。之を就學別に見ると、託兒所四、〇%一九、幼稚園三、〇%一四、尋常小學校一、八七三、九〇%九七、高等小學校一四一、六%八五、補習學校一四、〇%六八、中等學校一四、〇%六八、女學校一〇、〇%四九の状態でその大部分は尋常小學校在學中のものである。

尙、之を船住、陸住の關係に就て見るに船住就學者は一、五五九總數の七五%七二であり、陸住就學者は五〇〇、二四%二八を占めてゐる。又船住世帯者の船舶より通學してゐる者は二四三總數の一五%五九を占めてゐ

就學者通學狀況調



る状態で、一、三一六、八四
 %四一は陸上に寄宿して通學
 するものであるが、本調査に
 於ける水上生活者世帯の就學
 者二、〇五九の中二四三、一
 一%八〇は水上より通學する
 ものであり、八一六、八八
 %二〇は陸上に於て通學する
 ものである。
 之を詳記すれば左の通りで
 ある。

就學者通學狀況調

(非現住者を含む)

| 種別 | 陸住世帯 | | 船住世帯 | |
|--------|------|------|------|------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 自宅より通學 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 託兒所 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 幼稚園 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 小尋常 | 125 | 125 | 125 | 125 |
| 小高等 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 補習校 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 中等女學校 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 137 | 137 | 137 | 137 |
| 百分比 | 6.6% | 6.6% | 6.6% | 6.6% |

| 種別 | 他家より通學 | | 寄留地より通學 (水上學校を含む) | | 合計 | | 百分比 |
|-------|--------|----|----------------------|---|----|----|--------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 託兒所 | | | | | | | 0.9% |
| 幼稚園 | | | | | | | 0.4% |
| 尋常小學校 | | | | | | | 0.9% |
| 高等小學校 | | | | | | | 0.5% |
| 補習學校 | | | | | | | 0.6% |
| 中等學校 | | | | | | | 0.6% |
| 女學校 | | | | | | | 0.9% |
| 計 | 37 | 37 | 3 | 3 | 40 | 40 | 100.0% |

ハ、學齡兒童の就學狀況

義務教育年限にある者、即ち満七歳より十四歳迄の學齡兒童を有する世帯は一、二七二で、その人員數は一、八七三である。但し本調査に於ては通學の不便並びに貧困、病弱、其他の理由の爲め十五歳以上の者で現在義務教育、即ち尋常小學校在學中の者が一六あるが、之は學齡期の兒童と認めて統計に附した次第である。之を男女及年齢別に見ると、男は總數の五一%六三を占め、女は四八%三七である。而して年齢別に見ると、その最高は八歳の兒童で總數の一七%九四であり、總體的に見て八、九、十、十一歳期の兒童が高率を占めてゐる。

年齢別就學狀況調

(非現住者を含む)

| 學年別 | 尋常一 | | 尋常二 | | 尋常三 | | 尋常四 | | 尋常五 | | 尋常六 | | 合計 | | 男女合計 | 百分比 |
|-----|-----|----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|---|------|--------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 七歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 4.0% |
| 八歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 17.9% |
| 九歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 14.4% |
| 一〇歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 16.5% |
| 一一歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 16.5% |
| 一二歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 1.4% |
| 一三歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 2.2% |
| 一四歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 1.9% |
| 一五歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.6% |
| 一六歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.2% |
| 一七歳 | | | | | | | | | | | | | | | | 0.5% |
| 計 | 37 | 37 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 100.0% |

ニ、半途退學並びに不就學狀況

義務教育の年齢期にある者で尋常小學校を半途で退學したものは、六六(男三六女三〇)、總數の三三%三五である。而して全然不就學状態にあるものは一三八(男六九、女六九)六七%六五である。

あるが、前者は目下五〇名の児童を收容し、食費、宿泊料、學用品の貸與又は給與をなして一ヶ月八圓の費用を徴收し、後者は一六名を收容し、食費、宿泊料、衣服、學用品等を給與して一ヶ月八圓の費用を徴收して、それ〴〵小學校程度の教育を施してゐる。

6 信教狀況

水上生活者の信教關係に就いて見るに、信教を有するものは二、一九四總數の六〇%七六を占め、有しないものは一、四八二、三九%二四である。而して一定の宗教即ち佛教若くはキリスト教等よりも、その大部分は水に關係ある神様を信するものが多い。之は板一枚を生命線として生活を營んでゐる關係上、その信教の如きも水を主とすることは何等不思議がない。いまその信教狀況に就いて年齢別に見ると左表の通りである。

信 教 調

| 種 別 | 年齢階級 | | | | | | | | | | 計 | 百分比 |
|------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|----|-------|
| | 二〇才以下 | 二〇才至二五才 | 二五才至三〇才 | 三〇才至三五才 | 三五才至四〇才 | 四〇才至四五才 | 四五才至五〇才 | 五〇才至五五才 | 五五才至六〇才 | 六〇才以上 | | |
| 神様(神道天) | 1 | 2 | 8 | 8 | 3 | 3 | 8 | 7 | 0 | 4 | 26 | 1.7% |
| 天照皇太神宮 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 明治神宮 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大黒様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 鹿島神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 香取神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 八坂神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 水天宮 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 八幡様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 水神様(船魂様) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 富士神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 水川神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 高尾様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大山様(阿夫利) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 氏神(登戸神社) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 淡島様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大杉様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大住様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大佛様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 天台宗 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 眞言宗 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大日如来 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大師様(弘川法崎) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 善光寺 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 淨土宗 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 阿彌陀如来 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 法然上人 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 淨土眞宗(眞宗門徒) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |

| 種 別 | 年齢階級 | | | | | | | | | | 計 | 百分比 |
|------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|---|-------|
| | 二〇才以下 | 二〇才至二五才 | 二五才至三〇才 | 三〇才至三五才 | 三五才至四〇才 | 四〇才至四五才 | 四五才至五〇才 | 五〇才至五五才 | 五五才至六〇才 | 六〇才以上 | | |
| 八坂神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 水天宮 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 八幡様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 水神様(船魂様) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 富士神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 水川神社 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 高尾様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大山様(阿夫利) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 氏神(登戸神社) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 淡島様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大杉様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大住様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大佛様 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 天台宗 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 眞言宗 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大日如来 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 大師様(弘川法崎) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 善光寺 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 淨土宗 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 阿彌陀如来 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 法然上人 | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |
| 淨土眞宗(眞宗門徒) | | | | | | | | | | | 1 | 0.04% |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|----------|
| 煙草・酒・浪花節 | 煙草・酒・活動寫眞 | 煙草・酒・甘い物 | 煙草・酒・御茶 | 煙草・酒・植物 | 煙草・酒・野球 | 煙草・酒・賭博 | 煙草・酒・園藝 | 煙草・酒・將棋 | 煙草・酒・雜誌 | 煙草・酒・尺八 | 煙草・酒・寄席 | 煙草・酒・藩語 | 煙草・酒・芝居 | 煙草・酒・讀書 | 煙草・酒・新聞 | 煙草・酒・雜誌 | 煙草・酒・寄席 | 煙草・酒・芝居 | 煙草・酒・甘い物 | 煙草・酒・活動寫眞 | 煙草・酒・浪花節 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 |

一四三

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|----------|
| 煙草・酒・浪花節 | 煙草・酒・活動寫眞 | 煙草・酒・甘い物 | 煙草・酒・御茶 | 煙草・酒・植物 | 煙草・酒・野球 | 煙草・酒・賭博 | 煙草・酒・園藝 | 煙草・酒・將棋 | 煙草・酒・雜誌 | 煙草・酒・尺八 | 煙草・酒・寄席 | 煙草・酒・藩語 | 煙草・酒・芝居 | 煙草・酒・讀書 | 煙草・酒・新聞 | 煙草・酒・雜誌 | 煙草・酒・寄席 | 煙草・酒・芝居 | 煙草・酒・甘い物 | 煙草・酒・活動寫眞 | 煙草・酒・浪花節 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 | 1.05 |

一四二

| | | | | | | | | |
|--------|-------|-----------|------|---|---------|-----|-----|---------|
| 魚釣 | 四 | (0.07%) | 義太夫 | 三 | (0.05%) | 八雀 | 三 | (0.05%) |
| ヲオ | 三 | (0.05%) | 落語 | 二 | (0.03%) | 尺雀 | 二 | (0.03%) |
| 剣道 | 二 | (0.03%) | 編物 | 二 | (0.03%) | 犬 | 二 | (0.03%) |
| 長唄 | 一 | (0.02%) | 音楽 | 一 | (0.02%) | 演藝 | 一 | (0.02%) |
| 小説 | 一 | (0.02%) | 文藝 | 一 | (0.02%) | 聯珠 | 一 | (0.02%) |
| 撞球 | 一 | (0.02%) | 寫眞 | 一 | (0.02%) | 散步 | 一 | (0.02%) |
| 刺繍 | 一 | (0.02%) | 繪畫 | 一 | (0.02%) | レビユ | 一 | (0.02%) |
| ヴァイオリン | 一 | (0.02%) | 食道 | 一 | (0.02%) | 汁粉 | 一 | (0.02%) |
| 魚肉 | 一 | (0.02%) | 甘蔗 | 一 | (0.02%) | 貯金 | 一 | (0.02%) |
| 勝負事 | 一 | (0.02%) | 機械運轉 | 一 | (0.02%) | 無シ | 一 | (0.02%) |
| 延合計 | 五、七九七 | (100.00%) | | | | | 五〇六 | (8.72%) |

8 室並びに疊狀況

使用してゐる室並びに疊數に就いて見るに、室は船住は一室が最高で三、一八五總數の九九%五三で二室、三室は僅か一五世帯に過ぎぬ。陸住に於ては二室が最高で二二九、總數の三九%七六、二位が一室で一三三、二三%四四、三位が三室で二二八、二二%二二を占めてゐる状態に比すれば多くの室を所有してゐる。疊數に於いても室數と同じく船住は陸住に比して極めて小率の疊を所有してゐるに過ぎない状態、船住世帯の一人當平均疊數は〇、九一疊であり陸住は二、二五疊であるから之に依つて見ても船住世帯がその使用部屋の狭少のため如何に不便を感じてゐるか解るのである。而してその疊數別に依ると船住は二疊以下が最高で二、一三二總數の六六%六三を示してゐるに反し、陸住は十疊以下が最高で一八三、三一%七七を占めてゐる。之に

依ると船住世帯に於ける一世帯平均室數は一・〇一室、疊數は二・三六疊であり、陸住は室數二・三一室、疊數一・〇八五疊の率を占めてゐる。之を詳記せば左の通りである。

| 船住 | 陸住 | 平均一世帯人員 | 平均一世帯室數 | 平均一世帯疊數 | 平均一人當室數 | 平均一世帯當居住費 | 平均一人當居住費 |
|------|------|---------|---------|---------|---------|-----------|----------|
| 二・六四 | 四・八二 | 二・〇一 | 二・三一 | 二・三六 | 〇・九一 | 七・六五 | 二・九〇 |
| 二・〇一 | 二・二五 | 一・〇一 | 一・〇八五 | 一・〇八五 | 一・〇八五 | 一・二二 | 二・五二 |

室數調

| 世帯人員別 | 船住 | 陸住 | 計 | 百分比 |
|-------|------|------|------|--------|
| 一人 | 一 | 一 | 二 | 九・五% |
| 二人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 三人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 四人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 五人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 六人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 七人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 八人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 九人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 十人 | 一 | 一 | 二 | 〇・九% |
| 計 | 三、一五 | 三、一五 | 六、三〇 | 一〇〇・〇% |

室數調

— 陸 — 住 —

| 世帯人員別 | 室数別 | 計 | 一人當り平均室数 |
|-------|-----|-------|----------|
| 世帯一人 | 一室 | 一九 | 二・三三 |
| 世帯二人 | 二室 | 一四 | |
| 世帯三人 | 三室 | 二八 | |
| 世帯四人 | 四室 | 二〇 | |
| 世帯五人 | 五室 | 二一 | |
| 世帯六人 | 六室 | 二七 | |
| 世帯七人 | 七室 | 一〇 | |
| 世帯八人 | 八室 | 三 | |
| 世帯九人 | 九室 | 二 | |
| 世帯十人 | 十室 | 一 | |
| 計 | | 一三五 | |
| | | 二二・九 | |
| | | 三九・七六 | |
| | | 二二・二二 | |
| | | 一一・八一 | |
| | | 二・〇八 | |
| | | 〇・六九 | |
| | | 〇・〇〇 | |
| | | 〇・〇〇 | |
| | | 〇・〇〇 | |

疊 數 調

| 世帯人員別 | 疊数別 | 計 | 一人當り平均疊数 |
|-------|-----|-------|----------|
| 世帯一人 | 一疊 | 三 | 〇・九一 |
| 世帯二人 | 二疊 | 二 | |
| 世帯三人 | 三疊 | 一 | |
| 世帯四人 | 四疊 | 二 | |
| 世帯五人 | 五疊 | 一 | |
| 世帯六人 | 六疊 | 一 | |
| 世帯七人 | 七疊 | 一 | |
| 世帯八人 | 八疊 | 一 | |
| 世帯九人 | 九疊 | 一 | |
| 世帯十人 | 十疊 | 一 | |
| 計 | | 二〇・二二 | |
| | | 六六・六三 | |
| | | 二九・〇三 | |
| | | 二・八一 | |
| | | 一・〇〇 | |

住 船

| 世帯人員別 | 疊数別 | 計 | 一人當り平均疊数 |
|-------|------|--------|----------|
| 世帯一人 | 一疊以下 | 一 | 〇・九一 |
| 世帯二人 | 二疊以下 | 三 | |
| 世帯三人 | 三疊以下 | 一 | |
| 世帯四人 | 四疊以下 | 二 | |
| 世帯五人 | 五疊以下 | 二 | |
| 世帯六人 | 六疊以下 | 一 | |
| 世帯七人 | 七疊以下 | 一 | |
| 世帯八人 | 八疊以下 | 一 | |
| 世帯九人 | 九疊以下 | 一 | |
| 世帯十人 | 十疊以上 | 一 | |
| 計 | | 一三・二〇〇 | |
| | | 一〇〇・〇〇 | |
| | | 一〇〇・〇〇 | |

疊 數 調

| 世帯人員別 | 疊数別 | 計 | 一人當り平均疊数 |
|-------|------|-------|----------|
| 世帯一人 | 一疊以下 | 二 | 二・二五 |
| 世帯二人 | 二疊以下 | 一 | |
| 世帯三人 | 三疊以下 | 一 | |
| 世帯四人 | 四疊以下 | 一 | |
| 世帯五人 | 五疊以下 | 一 | |
| 世帯六人 | 六疊以下 | 一 | |
| 世帯七人 | 七疊以下 | 一 | |
| 世帯八人 | 八疊以下 | 一 | |
| 世帯九人 | 九疊以下 | 一 | |
| 世帯十人 | 十疊以上 | 一 | |
| 計 | | 一四・二四 | |
| | | 一八・三 | |
| | | 二八・六五 | |
| | | 一三・一九 | |
| | | 七・六四 | |
| | | 四・五一 | |
| | | 二・〇〇 | |
| | | 〇・〇〇 | |
| | | 〇・〇〇 | |

9 司法及び保安に関する資料

水上生活者の生活を側面から観察する上に必要な司法及び保安に関する諸参考資料を掲げれば左の通りで本調査は東京水上警察署の施行したものであることを附記しておく。

イ、港内船舶出入状況

| 昭 和 年 | 入 | | 出 | |
|------------------|-------|-----|-------|-----|
| | 汽船 | 帆船 | 汽船 | 帆船 |
| 昭 和 五 年 | 二、一〇〇 | 五〇三 | 二、一四四 | 四八一 |
| 昭 和 六 年 | 二、五三二 | 五二五 | 二、五一九 | 五〇八 |

ロ、犯罪被害並びに檢舉件数

| 昭 和 年 | 重要犯罪 | | 窃盗 | | 其他 | | 合 計 |
|------------------|------|----|-----|-----|-----|-----|--------|
| | 被害 | 檢舉 | 被害 | 檢舉 | 被害 | 檢舉 | |
| 昭 和 五 年 | 二 | 二 | 五〇四 | 四九九 | 三〇五 | 五六三 | 八一〇 |
| 昭 和 六 年 | 三 | 二 | 四〇〇 | 四九五 | 三四六 | 五一二 | 七四九 |

ハ、變死體檢視数

| 昭 和 年 | 自投自殺身 | | 墜過落失 | | 因游泳溺死 | | 其他 | | 計 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----|
| | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | |
| 昭 和 五 年 | 一〇二 | 三九 | 二七 | 一一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一七九 |
| 昭 和 六 年 | 一二三 | 三二 | 一四 | 三〇 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一九九 |

ニ、交通事故状況

| 昭 和 年 | 汽船ト汽船 | | 汽船ト帆船 | | 汽船ト他船 | | 其他 | | 計 |
|------------------|-------|----|-------|----|-------|----|----|----|----|
| | 衝突 | 接觸 | 沈没 | 其他 | 衝突 | 接觸 | 沈没 | 其他 | |
| 昭 和 五 年 | 二八 | 一四 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 三六 |
| 昭 和 六 年 | 四六 | 一四 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 六〇 |

昭
和
六
年

ホ、營業者状況

| 昭 和 年 | 料 理 店 | | 飲 食 店 | | 汽 船 營 業 | | 乘 合 船 營 業 | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|
| | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 | 昭 和 五 年 | 昭 和 六 年 |
| 昭 和 五 年 | 一 | 一 | 六 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 昭 和 六 年 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |

渡船營業
貨船營業
食肉營業
計

昭和五年
四〇
八八一
一六一
一、二一一

昭和六年
四一
九九二
一四
一、二一八

一五六

（一）夏季水泳場設置其他調

水泳場設置數
水面使用出願數
端艇競漕度數

昭和五年
五九
二、一八八
六二

昭和六年
六三
二、四三五
七八

七、結語

七、結 語

一五八

『板子一枚下は地獄よ、死んで花實がなるものか』之は水上生活者の折に觸れて唄ふ歌謡の一節であるが、その生活に對する空虚と、廢頹的氣分を全幅的に表現する思想の斷片とも見ることが出来るものである。陸上労働者の間においても、斯る意味に基く歌謡が絶無だとは言へぬが、生活の基礎を水上に於てあるといふ特殊な意味から考へると、より以上の深刻な同情の念を之に注がずにはゐられぬものである。

實際に於て、水上生活者が、前項に述べた通りその所得制度に依つて最低生活の保障を受けつゝあるにしても、文化的現代の労働者とし、又は、その將來に於ける向上發展の上から見て、尙多くの社會的保護を必要としてゐることは多言を要しないことである。

彼等の現實生活に就いて見るに、最も重大性を帯びるものは、何をおいても住居問題がそれであらう。船舶住居の狹隘から強ひられる家族の分散、即ち、家族制度の不自然的破壊と、雜居、雜寢から來る少年少女の早熟不良化、一六歳より二二、三歳に至る青年期の男女の顯著な陸上奉公、及び家出の事實は、その間の事情を詳かに物語るものである。又住居の不便のため發生する問題に就て見ると、義務教育の不遂行、即ち學齡期にある兒童の就學率の僅少と、幼兒の墜落溺死の頻發、文化的修養向上等の機會の皆無等がそれで、之は彼等の生活を無味乾燥乃至空虚廢頹に導く何よりの原因である。

以上の事實に鑑みれば水上生活者に對する目下の緊急事は、災害扶助法の制定、並びに労働雇傭制度の合理化、

各種社會的施設の設置が必要である。即ち、水上方面委員を設置して、老弱幼少者にして扶養義務者のなき者等の救護を爲すと同時に、學齡期兒童の育英施設を設置して遺憾なき義務教育の實施と、巡回醫療機關の設置、巡回公設市場並びに公益質屋等の經濟的保護機關の設置が何よりの急務である。又岸壁に面した場所に飲料水の給水設備を爲して、精神上、經濟上の兩方面より彼等の生活の安定と、向上を計ることが何よりであると信ずるものである。(金)

一五九

水上生活者調査票

東京府社会課

No.

| | | | | | | | | |
|---------------|--------------|-----------|-------|----------|------|-----------|------|----|
| (1) 世帯主二開スル調査 | 氏名 | 年齢 | 歳 | 出生地 | 道府 | 市郡 | | |
| | 現居住地 | 寄留地 | | | | | | |
| | 以前ノ職業 | 一ヶ月平均就労日数 | | | | | | |
| | 現在ノ仕事 | 信 教 | | | | | | |
| | 水上生活年限 | 趣味、嗜好、娯楽 | | | | | | |
| 一日平均就労時間 | 備 考 | | | | | | | |
| (2) 収入支出状態 | (イ) 収入 (先月中) | 世帯主勤勞収入 | 円 | (ロ) 支出 | 住居費 | 円 | | |
| | | 家族勤勞収入 | | | 飲食物費 | | | |
| | | 其 他 | | | 被服費 | | | |
| | 合 計 | | 薪炭灯火費 | | | | | |
| | | | 其他生計費 | | | | | |
| | | | 出 合 計 | | | | | |
| (3) 世帯構成状態 | 世帯主トノ続柄 | 男女別 | 年 齡 | 職 業 | 收 入 | 教育程度及就學狀況 | 健康狀況 | 備考 |
| | 本人 | | | | 円 | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| (4) 住居状況 | 船住カ否カ | 船 | 否 | 船ノ種類、其噸數 | 持 借 | | | |
| | 室 數 | 室 | 持船カ否カ | 持 借 | | | | |
| (5) 備考 | 船 數 | 船ノ使用方面 | | | | | | |
| | 臺 數 | | | | | | | |

調査者名 () 月 日 調査月日

調 査 證

○注意 本票は調査済みの證であり、必ずから後日調査員再来の場合提出の爲め御保管下さい。

東京府社会課 (調査員氏名)

調査番號 調査月日 月 日 番 (才)

本人の氏名 家族數 船の種類

東 京 府

水上生活者調査に就て

今般東京府社会課で水上に生活してゐる人を調査することになり、これは水上生活者のための對策を講ずる上に必要な資料を得るため、決して決して個人の問題を發表したり、又他の目的に利用するたためではあり、調査員が出張した時には何卒ありのまゝを御答へ下さい。

昭和七年十月 日

昭和八年四月十八日印刷
昭和八年四月二十一日發行

東京府學務部社會課

印刷人 今井 彦太郎
東京市深川區牡丹町二丁目七番地

印刷所 今井印刷所
東京市深川區牡丹町二丁目七番地
電話本所 二〇〇七三
電話本所 一〇〇七八

F 219

579
365